Canon

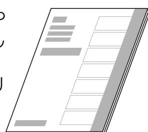
レーザビームプリンタ

Satera LBP5400

かんたん操作ガイド

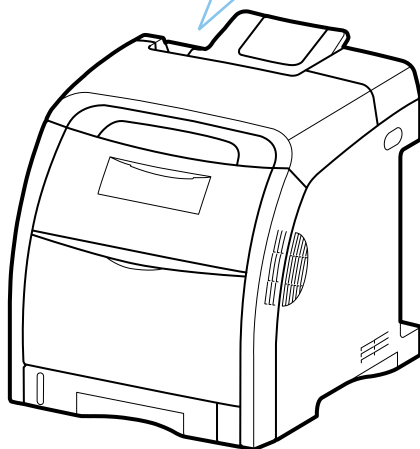
かんたん操作ガイドについて

本書は簡単なプリンタの使いかたやトラブルの解決方法について紹介しています。
いつでもお読みになれるようにプリンタの近くに置いてご活用ください。



おことわり

本書にはプリンタを取り扱うための注意事項や制限事項は記載されていませんので、必ず取扱説明書CD-ROMに収められている取扱説明書もあわせてお読みください。



次ページに目的別索引を掲載しています。あわせてご覧ください。

どんなことで困ってますか？

どんなことが知りたいですか？

取扱説明書 CD-ROM について

取扱説明書 CD-ROM に収められている取扱説明書の概要

取扱説明書名（PDF ファイル名）	概要
設置ガイド（STG.pdf）	プリンタの設置、コンピュータとの接続、オプション品の取り付けなど、プリンタのハード的なセットアップについて記載されています。
ユーザーズガイド（USG.pdf）	プリンタの各部名称、基本的な使用方法、消耗品の交換方法、トラブルシュート、おもな仕様など、プリンタをお使いになるときにお読みいただきたい事項が記載されています。
ネットワークガイド（NWG_3.pdf）	各種ネットワークの設定方法やネットワーク使用時のトラブルシュートなど、プリンタをネットワーク環境で使用するための設定方法について記載されています。
LIPS 機能ガイド（LKG.pdf）	プリンタの操作パネルの操作方法や操作パネルで行える設定項目の概要説明など、プリンタの操作パネルで行える設定について記載されています。
リモート UI ガイド（RUG_3.pdf）	Web ブラウザを使ってプリンタの設定をする方法について記載されています。

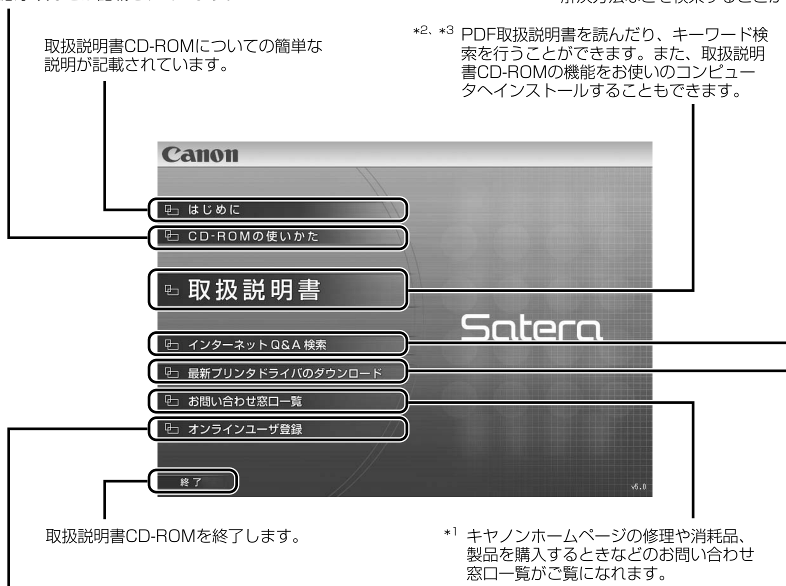
※ PDF 取扱説明書をご覧になるには、Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader が必要です。ご使用のシステムに Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader がインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードし、インストールしてください。

※ PDF 取扱説明書は PDF フォルダ内にある以下のフォルダに収められています。
・「common3」フォルダ：ネットワークガイド、リモート UI ガイド
・「LBP5400」フォルダ：設置ガイド、ユーザーズガイド、LIPS 機能ガイド

取扱説明書 CD-ROM メニューについて

本製品に付属の取扱説明書 CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブにセットすると、下のメニュー画面が表示されます。（ここでは、Windows の画面を例にしています。）

* Macintosh をお使いの場合、「Satera」アイコンをダブルクリックして、お使いのOS が Mac OS X の場合は「OSX_START」アイコンを、お使いのOS が Mac OS 8/9 の場合は「OS8_9_START」アイコンをダブルクリックするとメニュー画面が表示されます。お使いのOS と異なるアイコンをダブルクリックすると正常に動作しない場合があります。



*1 インターネットをご利用できる環境のみアクセスすることができます。

*2 PDF 取扱説明書またはCD-ROM の使いかたをご覧になるには、Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader が必要です。ご使用のシステムに Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader がインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードし、インストールしてください。

*3 キーワード検索（キーワードを使ってプリンタについて知りたいことをPDF 取扱説明書の中から検索し、該当ページを表示させる機能）は、Windows のみの機能です。ただし、Adobe Reader 6 以降では、該当ページを正しく表示することができません。該当ページを正しく表示するには、Adobe Reader 6 以前のAdobe Acrobat Reader をご使用ください。

規制について

商標について

Canon、Canon ロゴ、LBP、LIPS、NetSpot は、キヤノン株式会社の商標です。

Adobe、Adobe Acrobat、Adobe Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の商標です。

Apple、AppleTalk、Mac OS、Macintosh、TrueType は、米国およびその他の国で登録されている Apple Inc. の商標です。

HP、HP-GL は、米国 Hewlett-Packard Company の米国の商標です。

Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

UNIX は、The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

Ethernet は、米国 Xerox Corporation の商標です。

ESC/P は、セイコーエプソン株式会社の商標です。

BMLinkS は、社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会（JBMIA）の商標です。

その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

原稿などを読み込む際の注意事項

以下を原稿として読み込むか、あるいは複製し加工すると、法律により罰せられる場合がありますのでご注意ください。

●著作物など

他人の著作物を権利者に無断で複製などすることは、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲においての使用を目的とする場合を除き違法となります。また、人物の写真などを複製などする場合には肖像権が問題となることがあります。

●通貨、有価証券など

以下のものを本物と偽って使用する目的で複製すること、またはその本物と紛らわしいものを作成することは法律により罰せられます。

- 紙幣、貨幣、銀行券（外国のものを含む）
- 国債証券、地方債証券
- 郵便為替証書
- 郵便切手、印紙
- 株券、社債券
- 手形、小切手
- 定期券、回数券、乗車券
- その他の有価証券

●公文書など

以下のものを本物と偽って使用する目的で偽造することは法律により罰せられます。

・公務員または役所が作成した免許証、登記簿謄本その他の証明書や文書

・私人が作成した契約書その他権利義務や事実証明に関する文書

・役所または公務員の印影、署名または記号

・私人の印影または署名

関係法律	• 刑法	• 郵便法
	• 著作権法	• 郵便切手類模造等取締法
	• 通貨及証券模造取締法	• 印紙犯罪処罰法
	• 外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律	• 印紙等模造取締法

プリンタの操作

Chapter

1

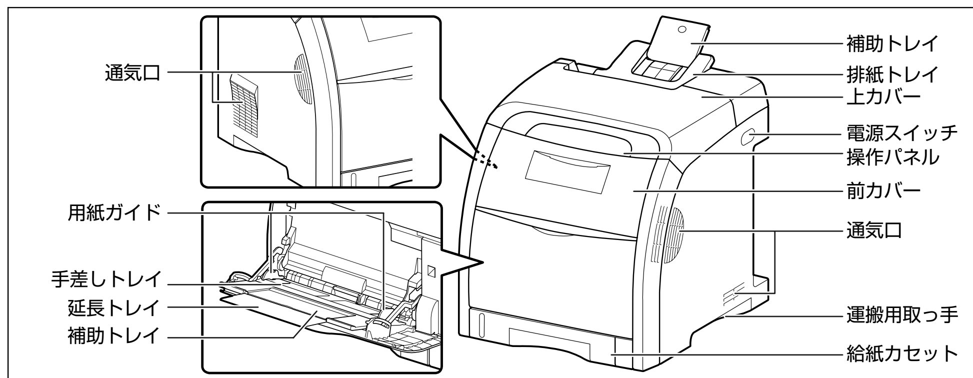
各部の名称

本体

プリンタ本体の各部の名称を説明しています。

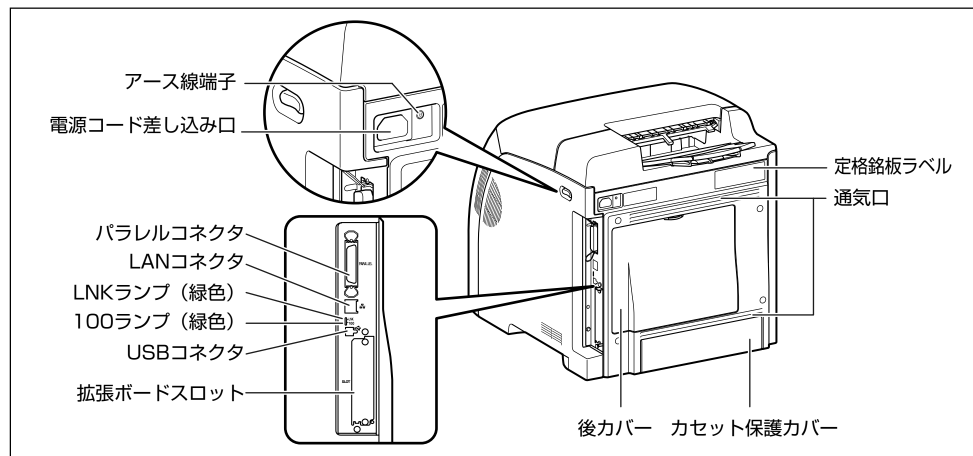
前面

前面の各部の名称を説明しています。



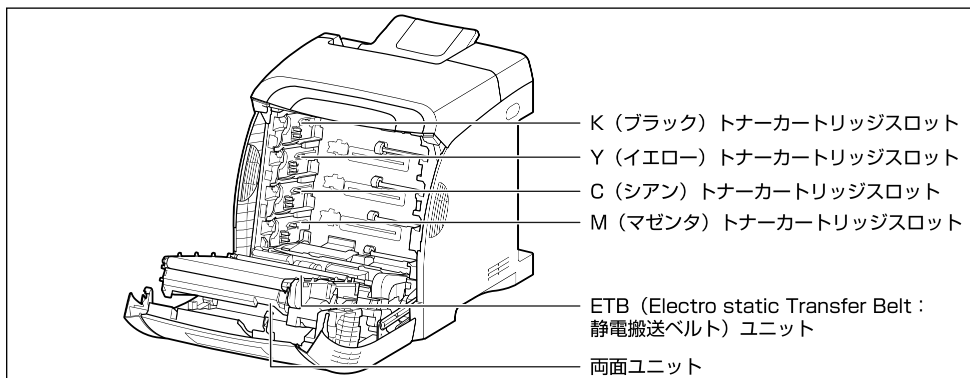
背面

背面の各部の名称を説明しています。



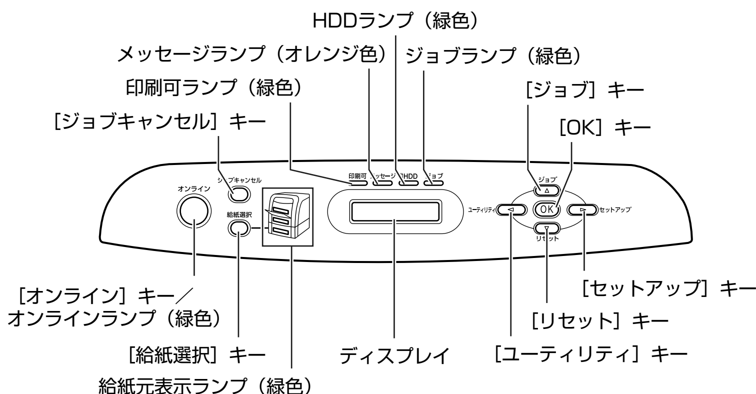
プリンタ内部

プリンタ内部の各部の名称を説明しています。



操作パネル

本プリンタの上部には下図のような操作パネルがあり、この操作パネルで本プリンタの状態を知ったり、本プリンタの持つ各種の機能を使うことができます。



ディスプレイ

本プリンタの操作パネルには下図のようなディスプレイがあり、プリンタの状態やメッセージ、メニュー機能の設定項目や設定値を表示します。

操作パネルのキーの機能

操作パネルのキーはプリンタの設定や印刷ジョブの操作、トラブルの対処などに使われます。
操作パネルのキーは以下の機能と役割を持っています。

キー	機能		
（オンライン）	オンライン状態とオフライン状態を切り替えます。キーが点灯しているときがオンライン状態、消灯しているときがオフライン状態です。本文中では［オンライン］と表記します。		
	オンライン状態	オフライン状態	メニュー表示中
（ジョブキャンセル）	ジョブランプが点灯・点滅している状態（データ処理中・データ受信中）で押すと、現在処理中のジョブをキャンセルします。本文中では［ジョブキャンセル］と表記します。		動作しません。
（給紙選択）	給紙選択メニューを表示します。本文中では［給紙選択］と表記します。		動作しません。
（ユーティリティ）	ユーティリティメニューを表示します。本文中では［ユーティリティ］と表記します。	動作しません。	同じ階層の左側の項目を表示します。項目が数値の場合は数値が減ります。そのまま押し続けると、数値の減る速度が速くなる項目もあります。本文中では［◀］と表記します。
（ジョブ）	ジョブメニューを表示します。本文中では［ジョブ］と表記します。	動作しません。	上の階層の項目を表示します。本文中では［▲］と表記します。
（リセット）	リセットメニューを表示します。本文中では［リセット］と表記します。		選択した項目を実行します。または次の階層に進みます。本文中では［▼］と表記します。［OK］と同じ動作をします。
（セットアップ）	セットアップメニューを表示します。本文中では［セットアップ］と表記します。 ただし、オンライン状態ではユーザメンテナンスグループの設定はできません。		同じ階層の右側の項目を表示します。項目が数値の場合は数値が増えます。そのまま押し続けると、数値の増す速度が速くなる項目もあります。本文中では［▶］と表記します。
（OK）	動作しません。		選択した項目を実行します。または次の階層に進みます。本文中では［OK］と表記します。［▼］と同じ動作をします。

印刷の中止方法

印刷を中止するには、コンピュータ側で中止の操作を行います。

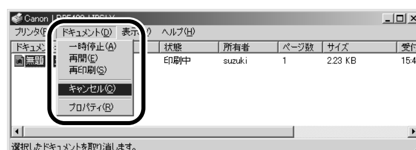
ここでは Windows を例にしています。Macintosh の場合については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

1 **コントロールパネルから [プリンタと FAX] または [プリンタ] フォルダを表示します。**

2 **印刷中のプリンタのアイコンをダブルクリックします。**



3 **中止するジョブを選択して、「ドキュメント」メニューから「キャンセル」（または「印刷中止」）を選択します。**



- プリンタにデータが残ってしまい、ジョブが正しく終了しない（ジョブランプが点灯している）ときは次の手順で「ソフト　リセット」または「ハード　リセット」の操作を行います。

4 **ソフトリセットやハードリセットは以下の操作で行います。**

（リセット）を押します。

リセットメニューが表示されます。

リセット
▼
ソフト リセット →

▼

ユーティリティ または セットアップ で「ソフト　リセット」を選択します。

ソフト リセット →

▼

ソフトリセットする場合は、OK を押します。

ソフト リセット
▼
03 ソフト リセット

ハードリセットする場合は、OK を押し続け、「ハード　リセット」と表示されたら離します。

ハード リセット
▼
03 ハード リセット

●ソフトリセット・ハードリセットについて

○ソフトリセット

現在実行中の処理を中止したいときに、「ソフト　リセット」を実行します。すべてのインタフェースに受信された印刷データや処理中のジョブ、プリンタメモリ内の印刷データを消去します。
ソフトリセットを行うと、そのとき印刷中のデータやすべてのインタフェースで受信中のデータは消去されますので、再度コンピュータから印刷しなおしてください。また、ネットワークで使用しているときは、他のコンピュータからのデータに影響しないようにこの操作を行ってください。

○ハードリセット

何らかの理由で、すべての処理やすでにメモリに受信されたデータを消去したいときに、「ハードリセット」を実行します。すべてのインタフェースに受信された印刷データや処理中のジョブ、プリンタメモリ内の印刷データを消去します。
データの受信中にリセットした場合、まだメモリに受信していないデータはリセット処理後に受信されます。ただし、正しく印刷されないことがあります。また、ネットワークで使用しているときは、他のコンピュータからのデータに影響しないようにこの操作を行ってください。

メンテナンス

Chapter

2

用紙について

本プリンタの性能を十分に引き出していただくため、用紙は適切なものを使用してください。用紙が適切でないと印字品質の低下や紙づまりの原因になります。

使用できる用紙

本プリンタでは次の用紙を使用できます。表中の◎は片面印刷と自動両面印刷が可能、○は片面印刷のみ可能、×は不可です。

用紙の種類	給紙元		
	手差しトレイ	カセット１	カセット２（オプション）
A4	◎	◎	◎
B5	○	○	○
A5	○	○	○
リーガル	◎	◎	◎
レター	◎	◎	◎
エグゼクティブ	○	○	○
ユーザ設定用紙	○ *1	○ *2	○ *2
はがき 100.0mm × 148.0mm	○	×	×
往復はがき 148.0mm × 200.0mm	○	×	×
４面はがき 200.0mm × 296.0mm	○	×	×
封筒 洋形４号 105.0mm × 235.0mm	○	×	×
封筒 洋形２号 114.0mm × 162.0mm	○	×	×

*1 以下のユーザ設定用紙をセットすることができます。
・用紙を縦置きにセットした場合：幅 76.2 ～ 215.9mm、長さ 127.0 ～ 355.6mm
・用紙を横置きにセットした場合（LIPS LX プリンタドライバ使用時のみ）：幅 127.0 ～ 215.9mm、長さ 127.0 ～ 215.9 mm

*2 以下のユーザ設定用紙をセットすることができます。
・用紙を縦置きにセットした場合：幅 148.0 ～ 215.9mm、長さ 210.0 ～ 355.6mm
・用紙を横置きにセットした場合（LIPS LX プリンタドライバ使用時のみ）：幅 210.0 ～ 215.9mm、長さ 210.0 ～ 215.9 mm

Check!

- 印刷速度は、用紙サイズ、用紙タイプ、印刷枚数の設定により遅くなることがあります。
  - 郵便はがき、郵便往復はがき、郵便４ 面はがき：約 5.8 ページ／分
  - 封筒：約 3.2 ページ／分
- 幅が 210.0mm 未満の用紙を連続印刷した場合、熱による故障などを防止する安全機能が働き、印刷速度が段階的に遅くなることがあります。（最終的に約 1.6 ページ／分まで遅くなることもあります。）

使用できない用紙

紙づまりやプリンタ本体の故障、トラブルを防ぐため、次にあげるような用紙はお使いにならないでください。

●紙づまりを起こしやすい用紙

- 厚すぎる用紙、薄すぎる用紙
- 不規則な形の用紙
- 湿っている用紙、濡れている用紙
- 破れている用紙
- 表面が粗い用紙、つるつるしすぎている用紙
- バインダ用の穴やミシン目のある用紙
- カールした用紙や折り目のある用紙
- 紙の表面に特殊なコーティングを施した用紙（インクジェットプリンタ専用コーティング用紙など）
- 裏紙が簡単にはがれてしまうラベル紙
- 複写機や他のレーザプリンタで一度使用した用紙（裏面も不可。ただし、本プリンタで一度印字した用紙の裏面に、手差しトレイを使用して手動で両面印刷することはできます。一度印字した同一面に再度印字することはできません。）
- バリのある用紙
- しわのある用紙
- 角折れのある用紙

●高温によって変質する用紙

- 定着器の加熱温度（約 275 ℃）以下で溶解、燃焼、蒸発したり有毒なガスを発するインクを使用した用紙
- 感熱用紙
- 表面加工したカラー用紙
- 紙の表面に特殊なコーティングを施した用紙（インクジェットプリンタ専用コーティング用紙など）
- 糊などがついた用紙

●プリンタ本体の故障や損傷の原因となる用紙

- カーボン紙
- ステイプル針、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
- 複写機や他のレーザプリンタで一度使用した用紙（裏面も不可。ただし、本プリンタで一度印字した用紙の裏面に、手差しトレイを使用して手動で両面印刷することはできます。一度印字した同一面に再度印字することはできません。）

●トナーが定着しにくい用紙

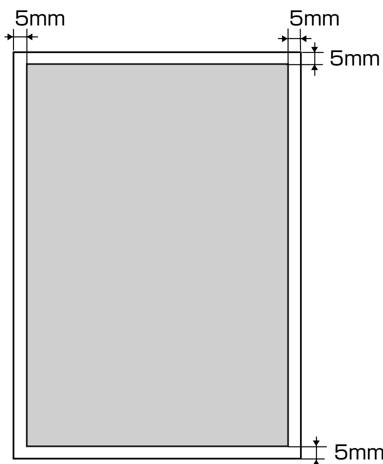
- ざら紙、和紙のように表面がざらざらしている用紙
- 紙の表面に特殊なコーティングを施した用紙（インクジェットプリンタ専用コーティング用紙など）
- 繊維の粗い用紙

印刷できる範囲

本プリンタで印刷できる領域は、次の範囲です。LIPS プリンタドライバの［仕上げ詳細］ダイアログボックスで［印字領域を広げて印刷する］にチェックマークを付けた場合は、有効印字領域を用紙の端近くまで広げることができます。ただし、印刷する原稿によっては、用紙の端が一部欠けて印刷されたり、カラー印刷時に用紙の端がにじんだように印刷されることがあります。詳しくは、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

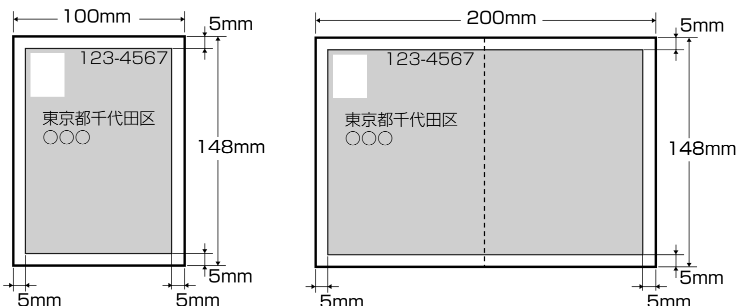
●普通紙 / 厚紙 /OHP フィルム / ラベル紙 / コート紙

用紙の周囲 5mm より内側の範囲に印刷できます。



●はがき / 往復はがき /4 面はがき

はがきの周囲 5mm より内側の範囲に印刷できます。



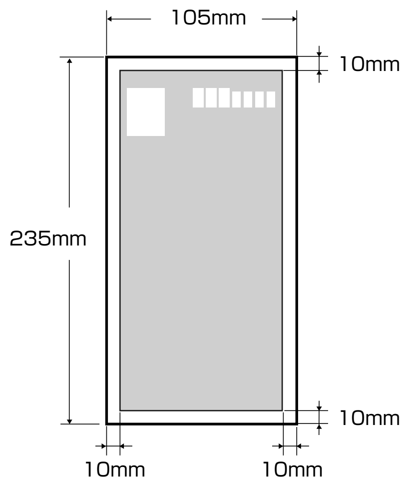
Point

はがきの有効印字領域いっぱいのデータを印刷した場合、最適な印字品質が得られない場合があります。データをはがきの有効印字領域より少し小さ目に設定することをおすすめします。

●封筒

封筒の周囲 10mm より内側の範囲に印刷できます。
お使いのアプリケーションによっては、印刷時に位置を調整してお使いください。

（洋形4号封筒の例）



Point

封筒に印刷した場合、郵便番号欄の文字が欠けて印刷される場合があります。このような場合は、LIPS プリンタドライバの［仕上げ詳細］ダイアログボックスで［印字領域を広げて印刷する］にチェックマークを付けることで、文字が欠けずに印刷することができます。ただし、印刷する原稿によっては、カラー印刷時に用紙の端がにじんだように印刷されることがあります。

給紙カセットに用紙をセットして印刷する

「11　XXX　ヨウシガ　アリマセン」は給紙元の用紙がなくなった場合に表示されます。

用紙がなくなると表示されます。
11　A4ヨウシガ　アリマセン

用紙のなくなった給紙元に、用紙をセットしてください。
また、セットする用紙を変更したいときも次の手順で用紙をセットしてください。

用紙をセットするときは、プリンタが次のいずれかの状態のときに行ってください。

- ジョブランプが消灯しているとき
- プリンタの電源がオフのとき
- 用紙なしメッセージが表示されているとき

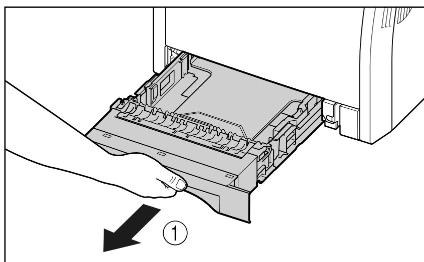
使用できる用紙については、「P.2-2」を参照してください。
使用できない用紙については、「P.2-3」を参照してください。

Point

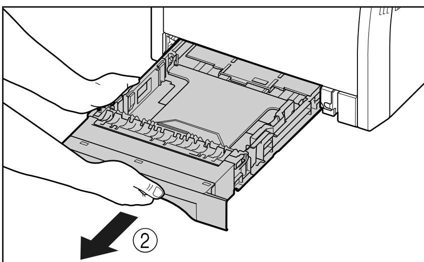
BMLinkS プリンタドライバから印刷する場合は、給紙カセットにセットされた用紙タイプと「デフォルト用紙タイプ」の設定を必ず一致させてください。プリンタドライバを使用できない OS（MS-DOS や UNIX など）から印刷する場合は、給紙カセットにセットされた用紙サイズ／用紙タイプと「デフォルト用紙サイズ」／「デフォルト用紙タイプ」の設定を必ず一致させてください。
詳しくは、LIPS 機能ガイド「第３章 共通セットアップメニューの設定項目」を参照してください。

1 給紙カセットを引き出します。

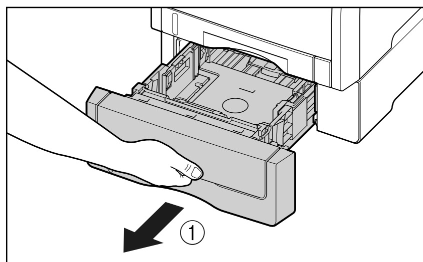
カセット 1
給紙カセットをゆっくりと引き出します①。



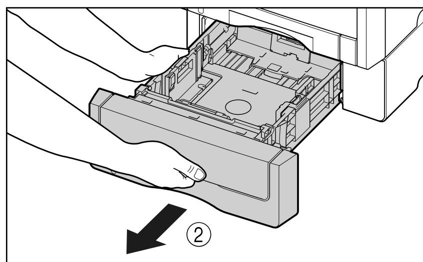
図のように両手で持って、プリンタ本体から取り外します②。



カセット 2
給紙カセットをゆっくりと引き出します①。



図のように両手で持って、ペーパーフィーダから取り外します②。

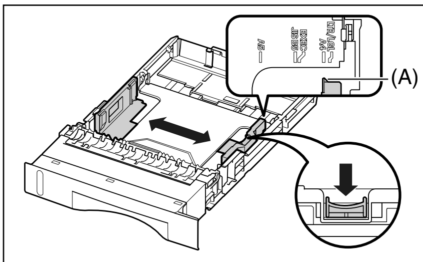


2 セットする用紙のサイズを変更するときは、給紙カセットの長さと用紙ガイドの位置を変更します。

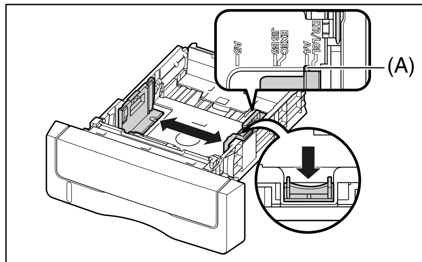
a 側面の用紙ガイドのロック解除レバーをつまみながら、セットする用紙サイズの位置に合わせて用紙ガイドを移動します。

側面の用紙ガイドは左右が連動しています。（A）の部分をセットする用紙サイズに合わせます。

カセット 1



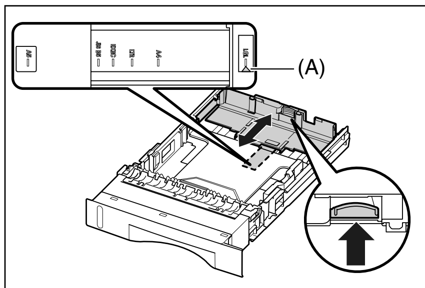
カセット2



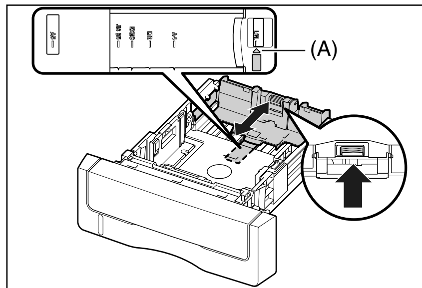
b 後端の用紙ガイドのロック解除レバーをつまみながら、セットする用紙サイズの位置に合わせて用紙ガイドを移動します。

（A）の部分をセットする用紙サイズに合わせます。

カセット 1



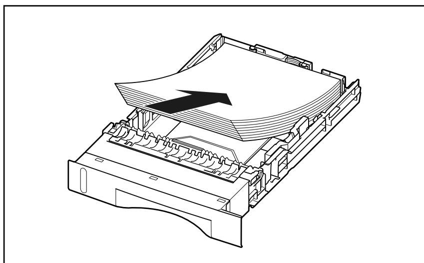
カセット2



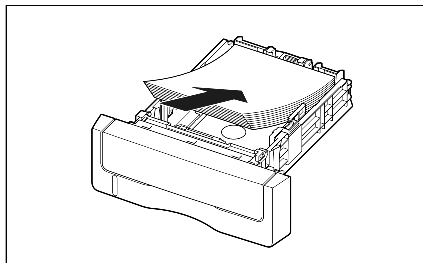
3 用紙の後端を用紙ガイドに合わせてセットします。

セットする用紙の向きについては、「用紙のセット向きについて」（→ P.2-29）を参照してください。

カセット 1



カセット 2

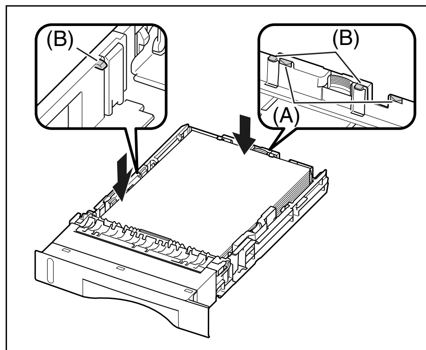


4 用紙を図のように下へ押さえ、積載制限マーク（A）を超えていないか確認し、用紙ガイドに付いているツメ（B）の下に用紙を入れます。

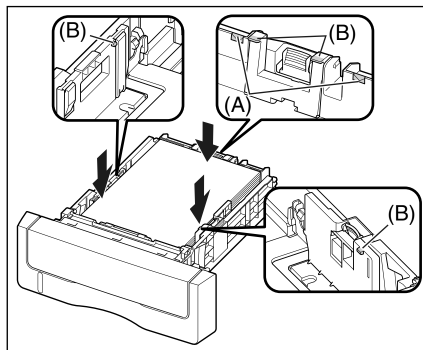
用紙ガイドのツメと用紙の間に十分すき間があることを確認してください。すき間が十分にない場合は用紙を少し減らします。

カセット 1 にセットできる用紙の枚数は、普通紙（64g/m^2 の場合）で約 250 枚、カセット 2 にセットできる用紙の枚数は、普通紙（64g/m^2 の場合）で約 500 枚です。

カセット 1



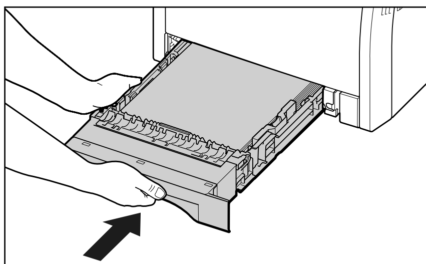
カセット 2

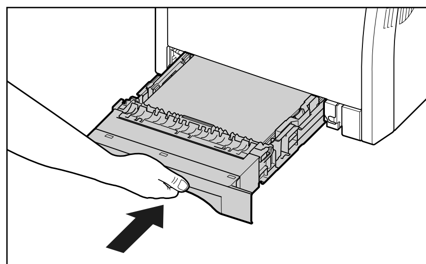


5 給紙カセットをプリンタにセットします。

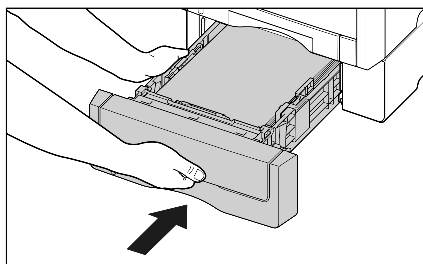
給紙カセット前面が、プリンタの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます。

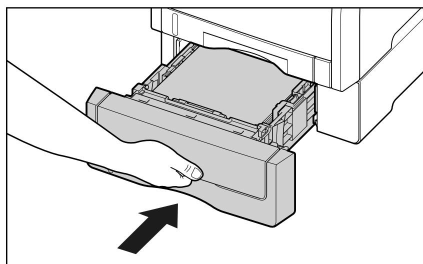
カセット 1





カセット 2





6 セットした用紙サイズの設定を操作パネルで行います。

セットした用紙のサイズを設定します。給紙カセットから印刷するときは、ここで設定した内容と、プリンタドライバの設定を一致させてください。

[セットアップ]（セットアップ）を押します。

セットアップメニューが表示されます。

セットアップ゜
カクチョウ キノウ →

[ユーティリティ] または [セットアップ] で「キュウシ」を選択します。

キュウシ →

[OK] を押します。

テサ゛シトレイ ヨウシサイス゛→

[ユーティリティ] または [セットアップ] で「カセット N　ヨウシサイズ」（N=1、2）を選択します。

カセット1 ヨウシサイス゛ →

[OK] を押します。

=A4 →

[ユーティリティ] または [セットアップ] で給紙カセットにセットした用紙サイズを選択します。

B5 →

[OK] を押します。

用紙サイズの左に「=」が表示され、給紙カセットの用紙サイズが設定されます。

=B5 →

● 給紙カセットの用紙タイプを変更する場合は、「カセット N　ヨウシタイプ」（N＝1、2）も設定してください。

7 以降は、プリンタドライバの設定を行いますので、コンピュータの前に移動します。

● プリンタドライバの設定は、お使いの OS、プリンタドライバの種類およびバージョンによって画面が異なることがあります。
ここでは Windows を例に説明しています。Macintosh の設定方法については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。
BMLinkS プリンタドライバをお使いの場合については、BMLinkS プリンタドライバに添付されている「ユーザーズマニュアル」を参照してください。
プリンタドライバを使用できない OS（MS-DOS や UNIX など）から印刷する場合は、給紙カセットにセットされた用紙サイズ／用紙タイプと「デフォルト用紙サイズ」／「デフォルト用紙タイプ」の設定を必ず一致させてください。
詳しくは、LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」を参照してください。

8 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。次に［名前］または［プリンタ名］で本プリンタを選択し、［プロパティ］をクリックします。



9 ［ページ設定］ページをクリックし、［原稿サイズ］でアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズ、［出力用紙サイズ］でセットした用紙のサイズを選択します。



10 ［給紙］ページをクリックし、［給紙部］で使用するカセット、［用紙タイプ］でセットした用紙のタイプを選択します。



［用紙タイプ］は以下のように設定します。

普通紙（60 ～ 105g/m^2）	［普通紙］
	［普通紙 H］ *1
	［ラフ紙］ *2

*1 普通紙（75 ～ 105g/m^2）を印刷するとき、光沢感を出したい場合に設定します。

*2 表面の粗い用紙（75 ～ 105g/m^2）を［普通紙］に設定して印刷した結果、紙づまりが起こったときや定着性をより改善したいときに設定します。

11 ［OK］をクリックして、プロパティダイアログボックスを閉じます。



12 ［OK］をクリックして、印刷を実行します。



手差しトレイに用紙をセットして印刷する

「11　XXX　ヨウシガ　アリマセン」は給紙元の用紙がなくなった場合に表示されます。

用紙がなくなると表示されます。

11 A4ヨウシカ゛ アリマセン

用紙のなくなった給紙元に、用紙をセットしてください。
また、セットする用紙を変更したいときも次の手順で用紙をセットしてください。

手差しトレイには、以下のような用紙をセットすることができます。

<table>
<tr><th colspan="2">用紙のタイプ</th><th>用紙のサイズ</th><th>積載枚数</th></tr>
<tr><td>普通紙</td><td>60～105g/m²</td><td rowspan="3">・定形サイズ
A4、B5、A5、リーガル、レター、エグゼクティブ
・はがきサイズ
はがき（100.0mm × 148.0mm）
往復はがき（148.0mm × 200.0mm）
４面はがき（200.0mm × 296.0mm）
・ユーザ設定用紙 *2</td><td>約 100 枚
（64g/m² の場合）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">厚紙</td><td>106～120g/m²</td><td rowspan="3">約 50 枚
（128g/m² の場合）</td></tr>
<tr><td>121～176g/m²</td></tr>
<tr><td>177～220g/m²*1</td><td>・定形サイズ
A4、B5、A5、リーガル、レター、エグゼクティブ
・ユーザ設定用紙 *2</td></tr>
<tr><td colspan="2">OHP フィルム
（モノクロ印刷時のみ使用可能）</td><td>A4、レター</td><td>約 50 枚</td></tr>
<tr><td colspan="2">ラベル用紙</td><td rowspan="2">・定形サイズ
A4、B5、A5、リーガル、レター、エグゼクティブ
・ユーザ設定用紙 *2</td><td>約 40 枚</td></tr>
<tr><td>コート紙</td><td>105～160g/m²</td><td>約 50 枚</td></tr>
<tr><td colspan="2">はがき</td><td>はがき（100.0mm × 148.0mm）
往復はがき（148.0mm × 200.0mm）
４面はがき（200.0mm × 296.0mm）
キヤノン推奨４面はがき（200.0mm × 296.0mm）</td><td>約 50 枚</td></tr>
<tr><td colspan="2">封筒</td><td>洋形４号（105.0mm × 235.0mm）
洋形２号（114.0mm × 162.0mm）</td><td>約 10 枚</td></tr>
</table>

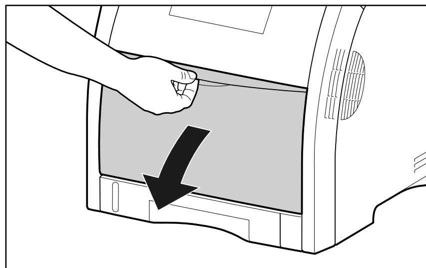
*1 177～220g/m² の厚紙（郵便はがき、郵便往復はがき、郵便４面はがき以外）への印刷はおすすめしませんが、やむを得ず印刷しなければならない場合は、［用紙タイプ］の設定を［厚紙３］に設定して印刷してください。

*2 ユーザ設定用紙については、「ユーザ設定用紙（不定形用紙）に印刷する」（→ P.2-17）を参照してください

● 紙の厚さについて
紙の厚さは、1m²* あたりの重さがどれくらいかということで表され、一般的に g/m² という単位が使われます。
*1m² = A4 サイズ 16 枚分

1 手差しトレイを開けます。

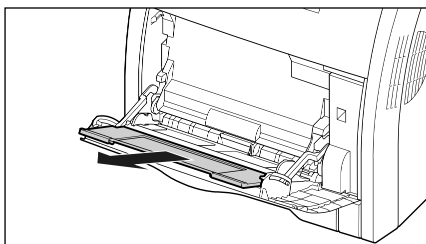
手差しトレイは中央の取っ手を持って開けます。



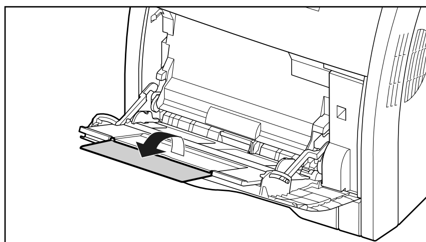
Point

必ず給紙カセットをセットしてください。給紙カセットがセットされていないと、手差しトレイから印刷できません。

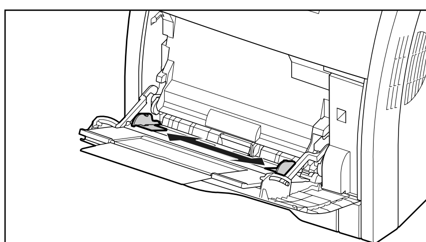
2 補助トレイを引き出します。



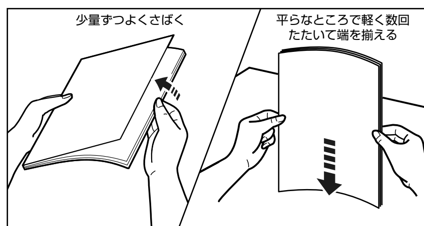
A4 などの長いサイズの用紙をセットするときは､延長トレイを開けます。



3 用紙ガイドの幅を紙幅より少し広めにセットします。



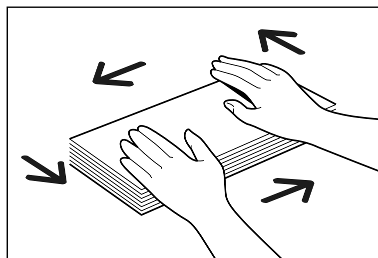
4 OHP フィルムやラベル用紙、コート紙をセットする場合は、用紙を少量ずつさばき、端を揃えます。



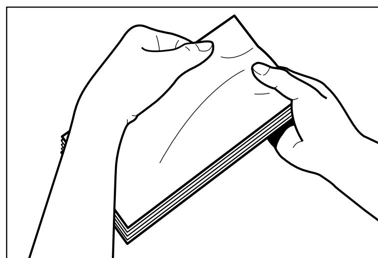
Point

封筒は次の手順で揃えます。

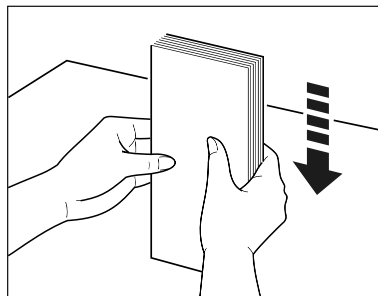
a 封筒の束を平らな場所へ置き、上面を押して空気を抜いてから、縁の折り目をきちんと付けて、平らにします。



b 封筒の四隅の固い部分を図のように取り除き、カールをなおします。



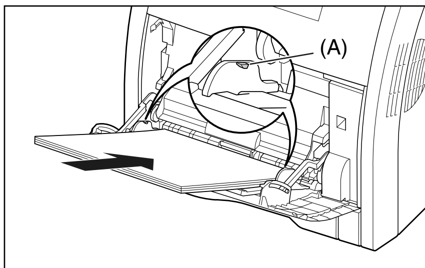
c 封筒を平らな場所で揃えます。



5 用紙の印刷面を下にして、奥に当たるまでゆっくりと差し込みます。

用紙束は積載制限ガイド（A）の下を通してください。

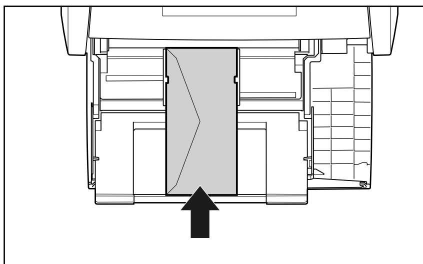
セットする用紙の向きについては、「用紙のセット向きについて」（→P.2-29）を参照してください。



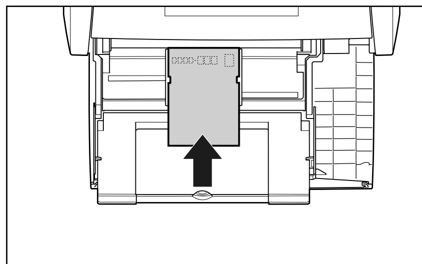
Point

封筒、はがきの場合は以下のようにセットします。

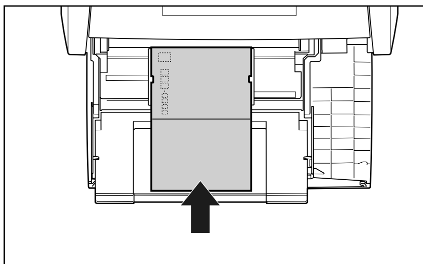
・封筒　洋形４号／洋形２号
ふたがプリンタを前面から見て左側になるようにセットします。

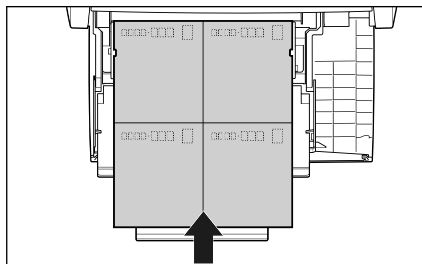


・はがき／４面はがき
はがきの上端がプリンタを前面から見て奥側になるようにセットします。

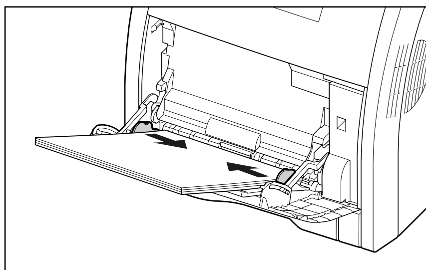


・往復はがき
はがきの上端がプリンタを前面から見て左側になるようにセットします。



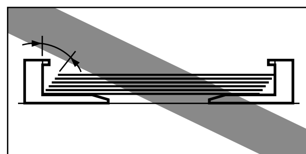


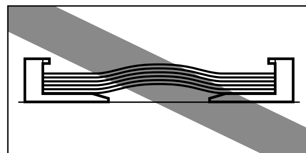
6 用紙ガイドを、用紙の左右にぴったりと合わせます。

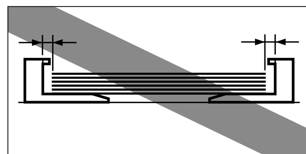


Check!

必ず用紙ガイドを用紙の幅に合わせてください。ゆるすぎたりきつすぎたりすると、正しく送られなかったり、紙づまりの原因になります。







7 セットした用紙サイズと用紙タイプの設定を操作パネルで行います。

セットした用紙サイズを設定したあと、用紙タイプを設定します。手差しトレイから印刷するときは、ここで設定した内容と、プリンタドライバの設定を一致させてください。

（セットアップ）を押します。

セットアップメニューが表示されます。

セットアップ°
カクチョウ キノウ →

 または［セットアップ］で「キュウシ」を選択します。

キュウシ →

を押します。

テサ゛シトレイ ヨウシサイス゛→

 または［セットアップ］で「テザシトレイ　ヨウシサイズ」を選択します。

テサ゛シトレイ ヨウシサイス゛→

を押します。

=A4 →

 または［セットアップ］で手差しトレイにセットした用紙サイズを選択します。

B5 →

OK を押します。 =B5 →

用紙サイズの左に「=」が表示され、手差しトレイの用紙サイズが設定されます。

ユーティリティ ◁ または ▷ セットアップ で「テザシトレイ　ヨウシタイプ」を選択します。 テザ゛シトレイ ヨウシタイフ゜→

OK を押します。 =フツウシ →

ユーティリティ ◁ または ▷ セットアップ で用紙タイプを選択します。 アツガ゛ミ →

OK を押します。 =アツガ゛ミ →

用紙タイプの左に「=」が表示され、手差しトレイの用紙タイプが設定されます。

8 以降は、プリンタドライバの設定を行いますので、コンピュータの前に移動します。

● プリンタドライバの設定は、お使いの OS、プリンタドライバの種類およびバージョンによって画面が異なることがあります。
ここでは Windows を例に説明しています。Macintosh の設定方法については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。
BMLinkS プリンタドライバをお使いの場合については、BMLinkS プリンタドライバに添付されている「ユーザーズマニュアル」を参照してください。
DOS や UNIX など、プリンタドライバが使用できない OS から印刷する方法についてはユーザーズガイド「第3 章 手差しトレイから印刷する」を参照してください。

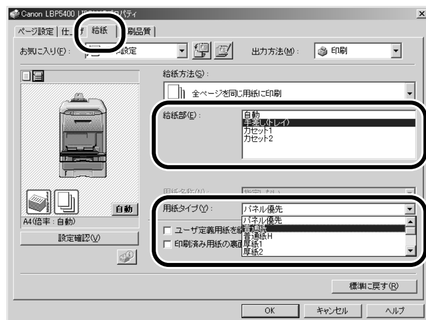
9 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。次に［名前］または［プリンタ名］で本プリンタを選択し、［プロパティ］をクリックします。



10 ［ページ設定］ページをクリックし、［原稿サイズ］でアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズ、［出力用紙サイズ］でセットした用紙のサイズを選択します。



11 ［給紙］ページをクリックし、［給紙部］で［手差し（トレイ）］、［用紙タイプ］でセットした用紙のタイプを選択します。



［用紙タイプ］は以下のように設定します。

普通紙	60 ～ 105g/m2	［普通紙］
		［普通紙 H］*1
		［ラフ紙］*2
厚紙	106 ～120g/m2	［厚紙 1］
	121 ～176g/m2	［厚紙 2］
	177 ～220g/m2*3	［厚紙 3］
OHP フィルム		［OHP フィルム］
ラベル用紙		［ラベル用紙］
コート紙	105 ～120g/m2	［コート紙］*4
はがき		［はがき］
封筒		*5

*1 普通紙（75 ～ 105g/m2）を印刷するとき、光沢感を出したい場合に設定します。

*2 表面の粗い用紙（75 ～ 105g/m2）を［普通紙］に設定して印刷した結果、紙づまりが起こったときや定着性をより改善したいときに設定します。

*3 177 ～ 220ｇ/m2 の厚紙（郵便はがき、郵便往復はがき、郵便４面はがき以外）への印刷はおすすめしませんが、やむを得ず印刷しなければならない場合は、［厚紙 3］に設定して印刷してください。

*4 121 ～160g/m2 のコート紙を印刷するときは、［用紙タイプ］の設定を［コート紙］にしてから、［仕上げ］ページの［仕上げ詳細］ボタンをクリックして、［仕上げ詳細］ダイアログボックスの［処理オプション］ボタンをクリックし、［処理オプション］ダイアログボックスにある［特殊印字処理］の設定を［する］にします。

*5 封筒の場合は、［ページ設定］ページの［出力用紙サイズ］を設定すると自動的に封筒に適した印刷モードで印刷されます。

12 ［OK］をクリックして、プロパティダイアログボックスを閉じます。



13 ［OK］をクリックして、印刷を実行します。



ユーザ設定用紙（不定形用紙）に印刷する

本プリンタには以下のユーザ設定用紙をセットすることができます。

- 給紙カセット
  - ・用紙を縦置きにセットした場合：
    幅 148.0 ～ 215.9mm、長さ 210.0 ～ 355.6mm
  - ・用紙を横置きにセットした場合（LIPS LX プリンタドライバ使用時のみ）：
    幅 210.0 ～ 215.9mm、長さ 210.0 ～ 215.9 mm
- 手差しトレイ
  - ・用紙を縦置きにセットした場合：
    幅 76.2 ～ 215.9mm、長さ 127.0 ～ 355.6mm
  - ・用紙を横置きにセットした場合（LIPS LX プリンタドライバ使用時のみ）：
    幅 127.0 ～ 215.9mm、長さ 127.0 ～ 215.9 mm

ユーザ設定用紙を印刷する場合は、以下の操作を行ってください。

● ユーザ設定用紙の登録する（→ P.2-17）
● ユーザ設定用紙をセットする
　・給紙カセットにセットする場合（→ P.2-19）
　・手差しトレイにセットする場合（→ P.2-23）
● プリンタドライバを設定して、ユーザ設定用紙を印刷する（→ P.2-25）

ユーザ設定用紙の登録方法

ユーザ設定用紙を印刷する場合は、以下の手順でユーザ設定用紙をプリンタドライバに登録する必要があります。

1 コントロールパネルから［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダを表示します。

2 ［印刷設定］または［プロパティ］ダイアログボックスを表示します。

3 ［ページ設定］ページを表示し、［ユーザ定義用紙］をクリックします。

4 必要に応じて各項目を設定します。

［用紙一覧］：　定形用紙と登録済みのユーザ設定用紙の［名前］と［サイズ］が表示されます。

［ユーザ定義用紙名］：　登録するユーザ設定用紙の名称を入力します。

［単位］：　ユーザ設定用紙のサイズを設定するときに使用する単位（［ミリメートル］または［インチ］）を選択します。

［用紙サイズ］：　ユーザ設定用紙の高さと幅（［高さ］≧［幅］）を設定します。用紙サイズは、縦長（［高さ］≧［幅］）かつ、定義可能な範囲内で指定してください。

5 ［登録］をクリックして、［OK］をクリックします。

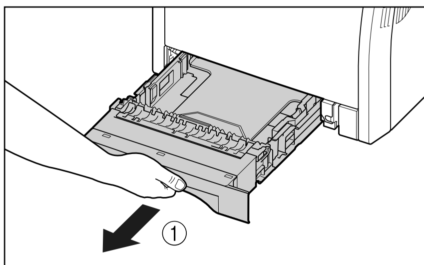


給紙カセットにユーザ設定用紙をセットする

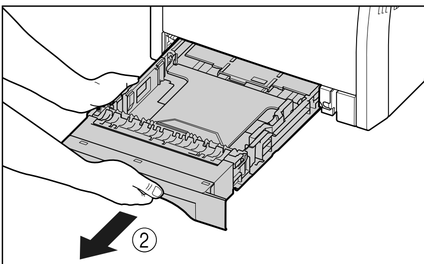
給紙カセットにユーザ設定用紙をセットするときは、次の手順でセットします。

1 給紙カセットを引き出します。

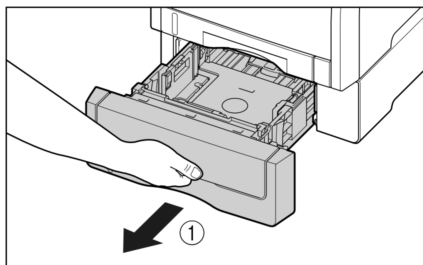
カセット 1
給紙カセットをゆっくりと引き出します①。



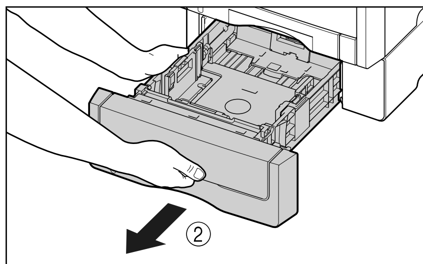
図のように両手で持って、プリンタ本体から取り外します②。



カセット 2
給紙カセットをゆっくりと引き出します①。



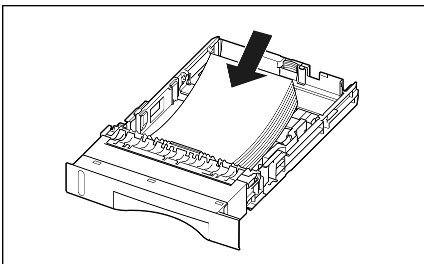
図のように両手で持って、ペーパーフィーダから取り外します②。



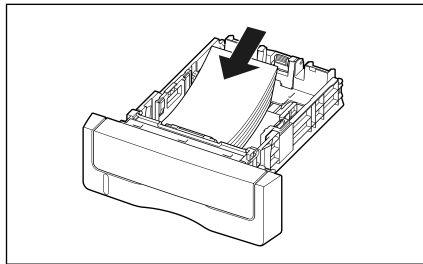
2 用紙を給紙カセットの手前側に合わせてセットします。

セットする用紙の向きについては、「用紙のセット向きについて」（→ P.2-29）を参照してください。

カセット 1



カセット 2



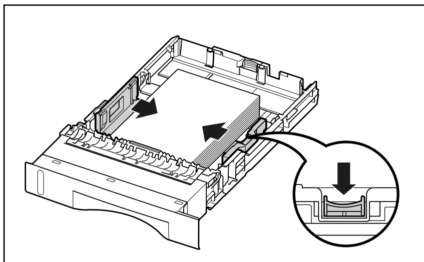
Point

ユーザ設定用紙を印刷する場合に、LIPS LX プリンタドライバから印刷するときは、縦置き、横置きにセットすることが可能です。ただし、「カセット N（N=1、2）用紙サイズ」を「フリー」に設定している場合に、長辺が 215.9mm 以下のユーザ設定用紙を印刷するときは、横置きにセットしてください。また、LIPS LX プリンタドライバから印刷しない場合は、縦置きにセットしてください。

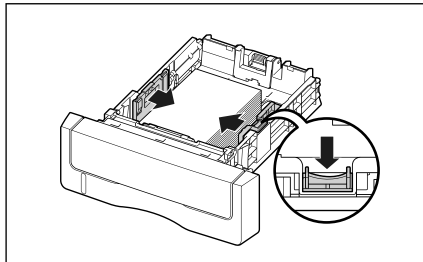
3 側面の用紙ガイドのロック解除レバーをつまみながら、セットした用紙のサイズの位置に合わせて用紙ガイドを移動します。

側面の用紙ガイドは左右が連動しています。

カセット 1

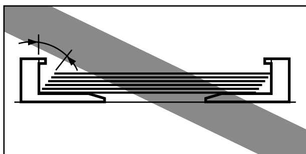


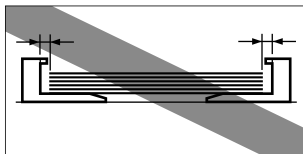
カセット 2

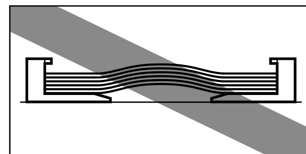


Point

必ず用紙ガイドを用紙の幅に合わせてください。ゆるすぎたりきつすぎたりすると、正しく送られなかったり、紙づまりの原因になります。

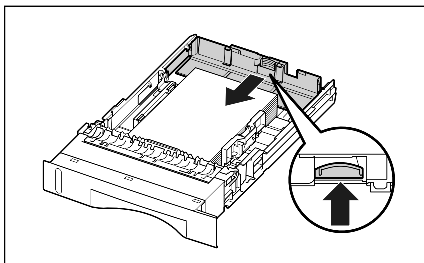




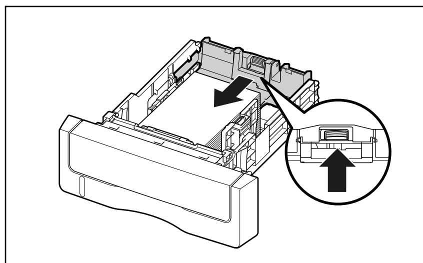


4 後端の用紙ガイドのロック解除レバーをつまみながら、セットした用紙のサイズの位置に合わせて用紙ガイドを移動します。

カセット 1



カセット 2

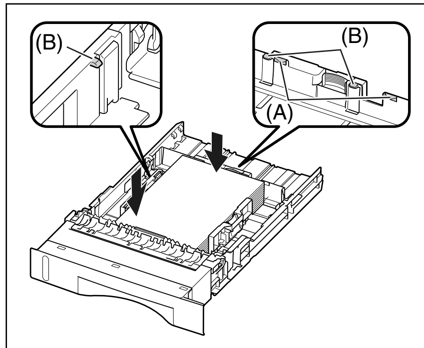


5 用紙を図のように下へ押さえ、積載制限マーク（A）を超えていないか確認し、用紙ガイドに付いているツメ（B）の下に用紙を入れます。

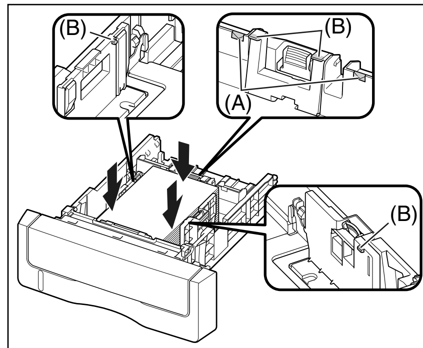
用紙ガイドのツメと用紙の間に十分すき間があることを確認してください。すき間が十分にない場合は用紙を少し減らします。

カセット 1 にセットできる用紙の枚数は、普通紙（64g/m^2 の場合）で約 250 枚、カセット 2 にセットできる用紙の枚数は、普通紙（64g/m^2 の場合）で約500 枚です。

カセット 1



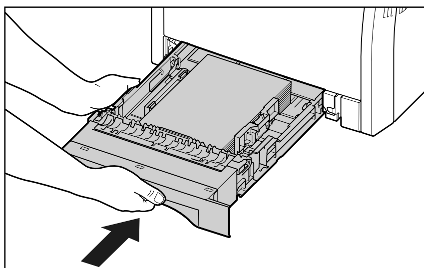
カセット 2

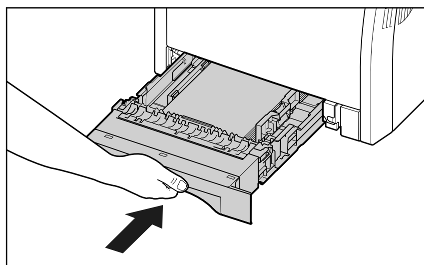


6 給紙カセットをプリンタにセットします。

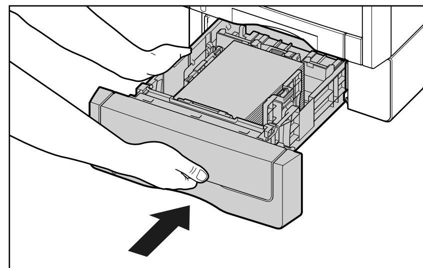
給紙カセット前面が、プリンタの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます。

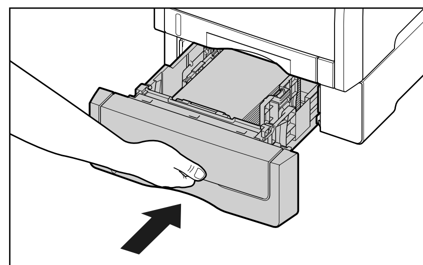
カセット 1



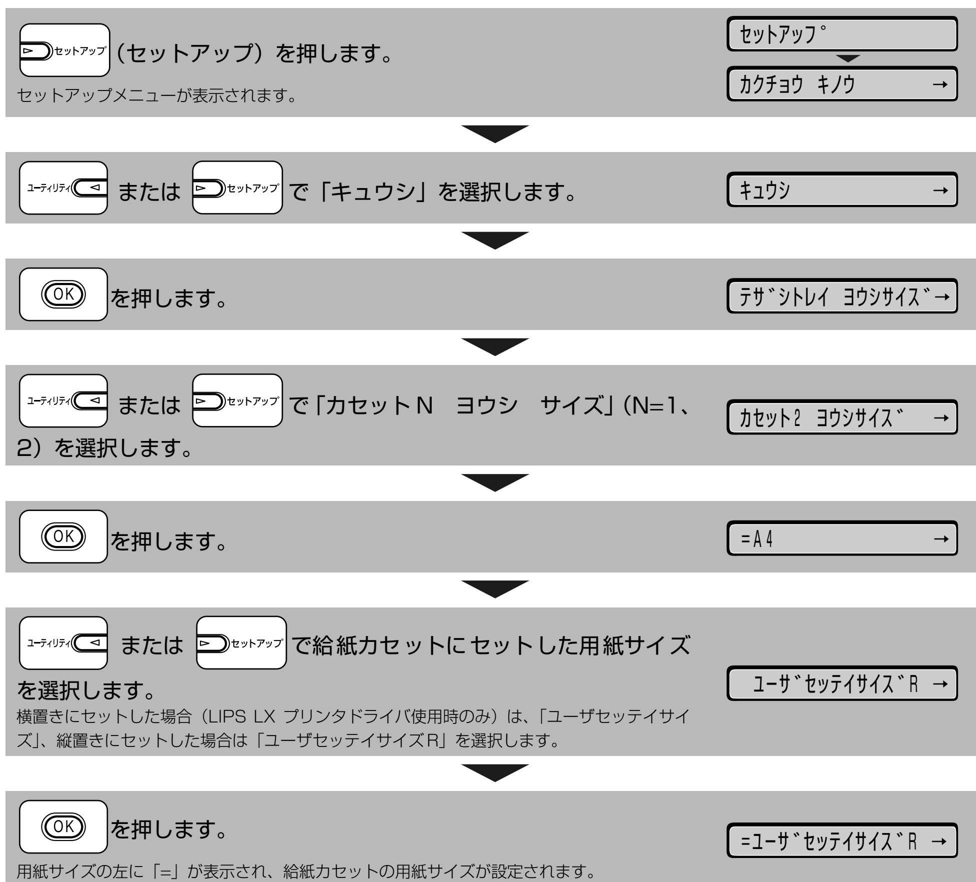


カセット 2





7 セットした用紙の置きかたの設定を操作パネルで行います。



● 給紙カセットの用紙タイプを変更する場合は、「カセットN　ヨウシタイプ」（N ＝ 1、2）も設定してください。

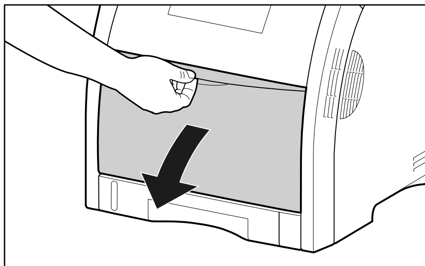
引き続きプリンタドライバの設定を行います（→ P.2-25）。

手差しトレイにユーザ設定用紙をセットする

手差しトレイにユーザ設定用紙をセットするときは、次の手順でセットします。

1 手差しトレイを開けます。

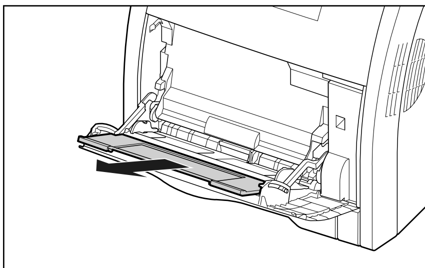
手差しトレイは中央の取っ手を持って開けます。



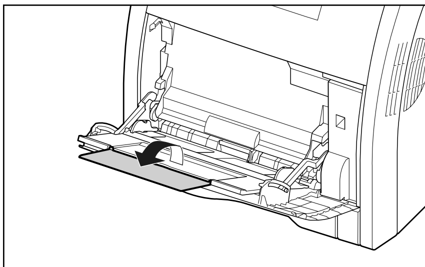
Point

必ず給紙カセットをセットしてください。給紙カセットがセットされていないと、手差しトレイから印刷できません。

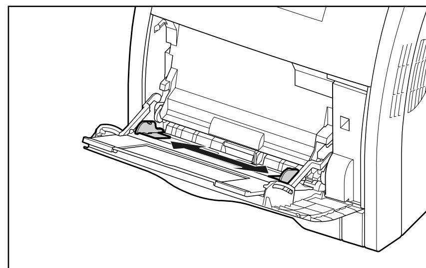
2 補助トレイを引き出します。



長いサイズの用紙をセットするときは、延長トレイを開けます。



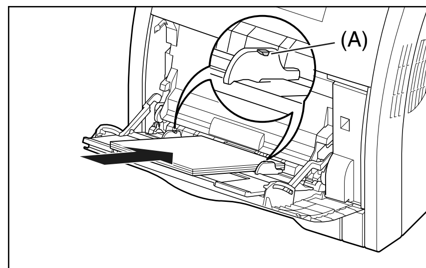
3 用紙ガイドの幅を紙幅より少し広めにセットします。



4 用紙の印刷面を下にして、奥に当たるまでゆっくりと差し込みます。

用紙束は積載制限ガイド（A）の下を通してください。

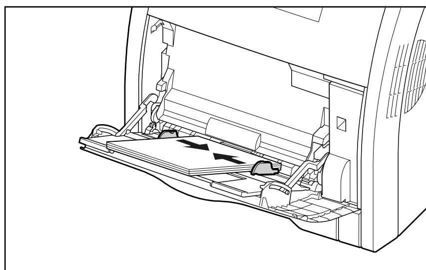
セットする用紙の向きについては、「用紙のセット向きについて」（→ P.2-29）を参照してください。



Point

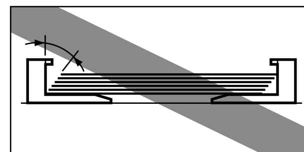
ユーザ設定用紙を印刷する場合に、LIPS LXプリンタドライバから印刷するときは、縦置き、横置きにセットすることが可能です。ただし、「手差しトレイ用紙サイズ」を「フリー」に設定している場合に、長辺が 215.9mm以下のユーザ設定用紙を印刷するときは、横置きにセットしてください。また、LIPS LXプリンタドライバから印刷しない場合は、縦置きにセットしてください。

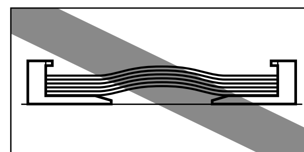
5 用紙ガイドを、用紙の左右にぴったりと合わせます。

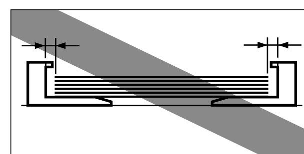


Point

必ず用紙ガイドを用紙の幅に合わせてください。ゆるすぎたりきつすぎたりすると、正しく送られなかったり、紙づまりの原因になります。







6 セットした用紙の置きかたと用紙タイプの設定を操作パネルで行います。

[セットアップ]（セットアップ）を押します。

セットアップメニューが表示されます。

セットアップ゜
カクチョウ キノウ →

▼

[ユーティリティ] または [セットアップ] で「キュウシ」を選択します。

キュウシ →

▼

[OK] を押します。

テサ゛シトレイ ヨウシサイス゛→

▼

[ユーティリティ] または [セットアップ] で「テザシトレイ　ヨウシサイズ」を選択します。

テサ゛シトレイ ヨウシサイス゛→

▼

[OK] を押します。

=A4 →

▼

[ユーティリティ] または [セットアップ] で手差しトレイにセットした用紙サイズを選択します。

横置きにセットした場合（LIPS LX プリンタドライバ使用時のみ）は、「ユーザセッテイサイズ」、縦置きにセットした場合は「ユーザセッテイサイズR」を選択します。

ユーサ゛セッテイサイス゛R →

▼

OK を押します。

=ユーザ゛セッテイサイズ゛R →

用紙サイズの左に「=」が表示され、手差しトレイの用紙サイズが設定されます。

ユーティリティ ◁ または ▷ セットアップ で「テザシトレイ　ヨウシタイプ」を選択します。

テザ゛シトレイ ヨウシタイプ゜→

OK を押します。

=フツウシ →

ユーティリティ ◁ または ▷ セットアップ で用紙タイプを選択します。

アツガ゛ミ →

OK を押します。

=アツガ゛ミ →

用紙タイプの左に「=」が表示され、手差しトレイの用紙タイプが設定されます。

引き続きプリンタドライバの設定を行います（→ P.2-25）。

プリンタドライバの設定方法

ユーザ設定用紙を印刷するときは、次の手順でプリンタドライバを設定します。

Point

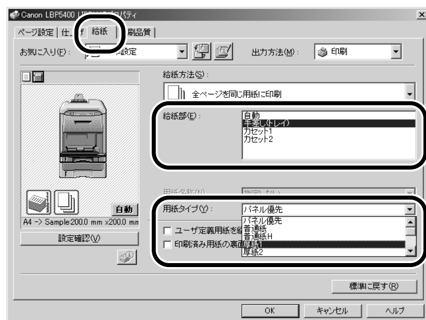
プリンタドライバの設定は、お使いの OS、プリンタドライバの種類およびバージョンによって画面が異なることがあります。
ここでは Windows を例に説明しています。Macintosh の設定方法については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

1 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。次に［名前］または［プリンタ名］で本プリンタを選択し、［プロパティ］をクリックします。

2 ［ページ設定］ページをクリックし、［原稿サイズ］でアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズ、［出力用紙サイズ］でセットしたサイズのユーザ設定サイズの用紙を選択します。



3 ［給紙］ページをクリックして、［給紙部］でセットした給紙部を選択し、［用紙タイプ］でセットした用紙のタイプを選択します。



給紙カセットにユーザ設定用紙をセットした場合、［用紙タイプ］は以下のように設定します。

普通紙（60 ～ 105g/m^2）	［普通紙］
	［普通紙 H］ *1
	［ラフ紙］ *2

*1 普通紙（75 ～ 105g/m^2）を印刷するとき、光沢感を出したい場合に設定します。

*2 表面の粗い用紙（75 ～ 105g/m^2）を［普通紙］に設定して印刷した結果、紙づまりが起こったときや定着性をより改善したいときに設定します。

手差しトレイにユーザ設定用紙をセットした場合、［用紙タイプ］は以下のように設定します。

普通紙	60 ～ 105g/m^2	［普通紙］
		［普通紙 H］ *1
		［ラフ紙］ *2
厚紙	106 ～ 120g/m^2	［厚紙 1］
	121 ～ 176g/m^2	［厚紙 2］
	177 ～ 220g/m^2 *3	［厚紙 3］
ラベル用紙		［ラベル用紙］
コート紙	105 ～ 120g/m^2	［コート紙］ *4

*1 普通紙（75 ～ 105g/m^2）を印刷するとき、光沢感を出したい場合に設定します。

*2 表面の粗い用紙（75 ～ 105g/m^2）を［普通紙］に設定して印刷した結果、紙づまりが起こったときや定着性をより改善したいときに設定します。

*3 177 ～ 220 g /m^2 の厚紙（郵便はがき、郵便往復はがき、郵便 4 面はがき以外）への印刷はおすすめしませんが、やむを得ず印刷しなければならない場合は、［厚紙 3］に設定して印刷してください。

*4 121 ～ 160g/m^2 のコート紙を印刷するときは、［用紙タイプ］の設定を［コート紙］にしてから、［仕上げ］ページの［仕上げ詳細］ボタンをクリックして、［仕上げ詳細］ダイアログボックスの［処理オプション］ボタンをクリックし、［処理オプション］ダイアログボックスにある［特殊印字処理］の設定を［する］にします。

4 ［OK］をクリックして、プロパティダイアログボックスを閉じます。



5 ［OK］をクリックして、印刷を実行します。



手動で両面に印刷する

本プリンタは、裏面に印刷済みの用紙にも対応しており、自動両面印刷できない用紙にも両面印刷することが可能です。印刷済み用紙の裏面に印刷するときは、プリンタドライバや操作パネルで設定してください。

セットする用紙の向きについては、「用紙のセット向きについて」（→ P.2-29）を参照してください。

● プリンタドライバの設定は、お使いの OS、プリンタドライバの種類およびバージョンによって画面が異なることがあります。
ここでは Windows を例に説明しています。Macintoshの設定方法については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。
BMLinkS プリンタドライバをお使いの場合については、BMLinkS プリンタドライバに添付されている「ユーザーズマニュアル」を参照してください。
DOS や UNIX など、プリンタドライバが使用できない OS から印刷する方法についてはユーザーズガイド「第 3 章 手動で両面に印刷する」を参照してください。

1 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。次に［名前］または［プリンタ名］で本プリンタを選択し、［プロパティ］をクリックします。



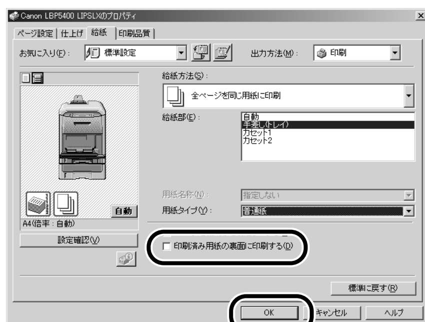
2 ［ページ設定］ページをクリックし、［原稿サイズ］でアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズ、［出力用紙サイズ］でセットした用紙のサイズを選択します。



3 ［給紙］ページをクリックして、［給紙部］で［手差し（トレイ）］、［用紙タイプ］でセットした用紙のタイプを選択します。



4 ［印刷済み用紙の裏側に印刷する］をチェックし、［ＯＫ］をクリックして、プロパティダイアログボックスを閉じます。



5 ［OK］をクリックして、印刷を実行します。



用紙のセット向きについて

レターヘッドやロゴ付きの用紙などに印刷する場合は、以下のように正しい向きに用紙をセットしてください。表中の➡は給紙方向を表しています。

	縦レイアウト	横レイアウト
カセット1、2（片面印刷）		
カセット1、2（自動両面印刷）		
手差しトレイ（片面印刷）		
手差しトレイ（自動両面印刷）		
手差しトレイ（手動両面印刷）		

・ 封筒、はがきの用紙セットの方向については「手差しトレイに用紙をセットして印刷する」（→P.2-11）を参照してください。

・ LIPS LX プリンタドライバから印刷する場合は、縦置き、横置きにセットすることが可能ですが、長辺が215.9mm 以下の定形外の用紙を印刷する場合は、横置きにセットしてください。LIPS LX プリンタドライバから印刷しない場合は、縦置きにセットしてください。

・ 手差し両面印刷をする場合は、端を伸ばしてカールをなおしてから、1 枚ずつ手差しトレイにセットしてください。

トナーカートリッジを交換する

メッセージが表示されたときには

トナーカートリッジは消耗品です。プリンタの使用中にトナーが少なくなると、ディスプレイにメッセージが表示されます。

メッセージ	表示される時期	内容および対処
16 X ﾄﾅｰ ﾖｳｲ (X は K、Y、M、C)	トナーカートリッジの交換時期が近づいたとき	・印刷は継続できます ・表示された色の新品のトナーカートリッジを用意してください ・大量の印刷をするときは、トナーカートリッジを交換することをおすすめします
16 X ﾄﾅｰ ｺｳｶﾝ (X は K、Y、M、C)	トナーカートリッジの交換時期が近づいたとき	・プリンタは停止します ・［オンライン］を押すと印刷は継続できます ・表示された色の新品のトナーカートリッジを用意してください ・大量の印刷をするときは、トナーカートリッジを交換することをおすすめします
9G X ﾄﾅｰ ｶｸﾆﾝ (X は K、Y、M、C)	トナーカートリッジが寿命になった可能性があるとき	・印刷は継続できます ・プリンタ本体の故障の原因となることがありますので、新しいトナーカートリッジに交換することをおすすめします
1G X ﾄﾅｰ ｺｳｶﾝ (X は K、Y、M、C)	トナーカートリッジが寿命になったとき	・「1G　K　トナー　コウカン」が表示された場合は、プリンタは停止し、継続して印刷することはできません。 ・「1G　X　トナー　コウカン」(X=Y、M、C）が表示された場合は、モノクロ印刷のみ行うことが可能です。 ・表示された色のトナーカートリッジを新品のトナーカートリッジに交換してください

* トナーが少なくなったときに「16　X　トナー　ヨウイ」と「16　X　トナー　コウカン」のどちらが表示されるかは、セットアップメニューの「警告処理」の設定によります。本プリンタの工場出荷時の状態では、「16　X　トナー　ヨウイ」が表示されるように設定されています。「警告処理」の設定については、LIPS 機能ガイド「第３章 共通セットアップメニューの設定項目」を参照してください。

* メッセージの“K”はブラック、“Y”はイエロー、“M”はマゼンタ、“C”はシアンの各トナーカートリッジを表しています。

● トナーカートリッジの寿命について

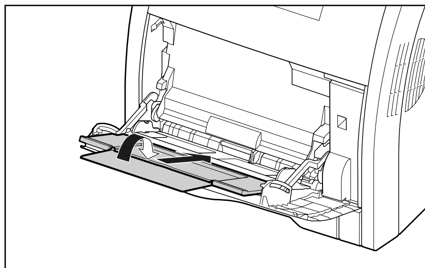
- 本プリンタ用トナーカートリッジ（キヤノン純正品）の寿命は、次のようになっています。このページ数は下記の条件でのページ数です。
  印字比率：5%、印字濃度：工場出荷初期設定値、用紙サイズ：A4 またはレター、用紙タイプ：普通紙
  ・Canon Cartridge 311 Black（キヤノン　トナーカートリッジ　３１１　ブラック）：　約6,000ページ
  ・Canon Cartridge 311 Yellow（キヤノン　トナーカートリッジ　３１１　イエロー）：　約6,000ページ
  ・Canon Cartridge 311 Magenta（キヤノン　トナーカートリッジ　３１１　マゼンタ）：約6,000ページ
  ・Canon Cartridge 311 Cyan（キヤノン　トナーカートリッジ　３１１　シアン）：　約6,000ページ
- 間欠プリント（間隔をおいたプリント）、用紙サイズ、用紙タイプなど、印刷条件や印刷環境によっては、半分程度の枚数になることがあります。
- 印字比率が低くトナー消費量が少ない場合には、期待した印字可能枚数を実現できない場合があります。また、カラープリントの場合は、複数色のカートリッジが同時に寿命になることもあります。
- モノクロプリントした場合でも、プリンタの構造上、マゼンタ、イエロー、シアンのカートリッジの寿命に影響することがあります。

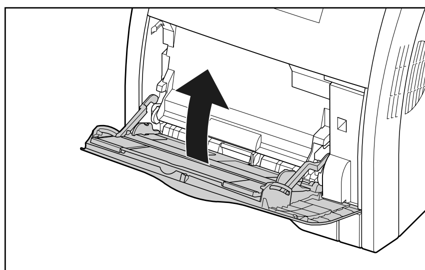
トナーカートリッジの交換

次の手順で新品のトナーカートリッジに交換してください。

* 梱包材は予告なく位置・形状が変更されたり、追加や削除されることがあります。

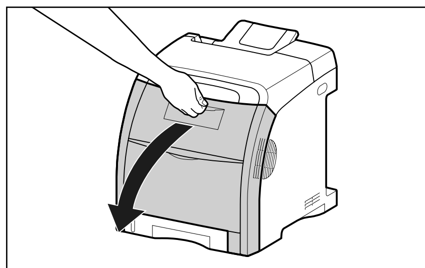
1 手差しトレイを使用している場合は、手差しトレイを閉めます。



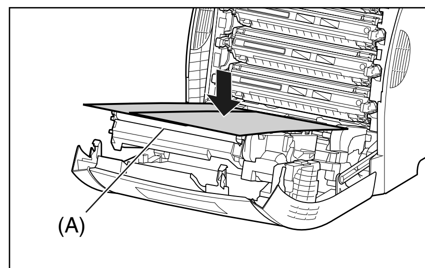


2 前カバーを開けます。

前カバーは前面の取っ手を持って、ゆっくりと開けます。

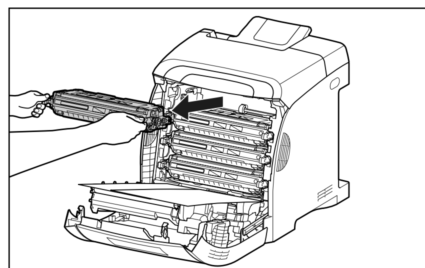


3 ETB ユニット（A）の搬送ベルトの上に、図のようにご使用の用紙（A4 サイズの用紙を推奨）をずれないように置きます。



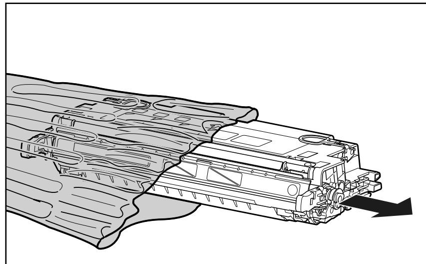
4 交換する色のトナーカートリッジの左右にある青色の取っ手を持ち、水平に引き抜きます。

トナーカートリッジはしっかりと両手で持って、ETB ユニットの搬送ベルトに触れないように引き抜きます。

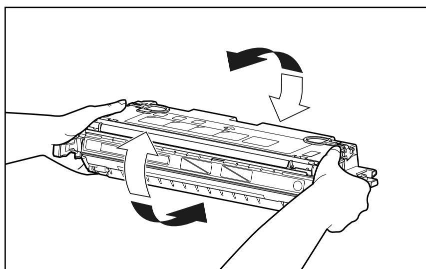


5 新しいトナーカートリッジを箱から取り出したあと、保護袋から取り出します。

保護袋は矢印付近に切り込みがありますので、手で切り取って開けることができます。ただし、手で切り取れない場合は、トナーカートリッジを傷つけないように、はさみなどで切って開けてください。

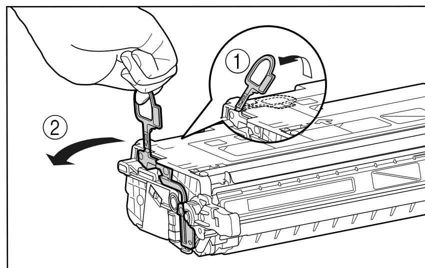


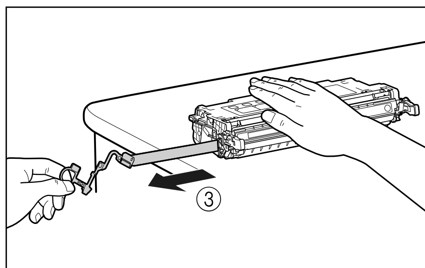
6 トナーカートリッジを図のように持ち、ゆっくりと５～６回振って、内部のトナーを均一にならします。

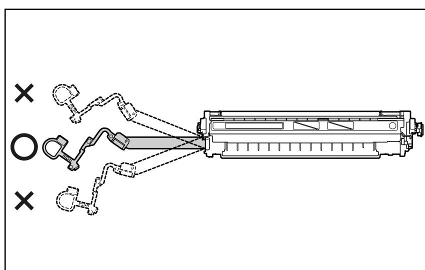


7 トナーカートリッジを平らな場所に置き、トナーカートリッジを押さえながら、図のようにタブを取り外し①②、シーリングテープ（約48cm）をゆっくりと引き抜きます③。

シーリングテープは、タブに指をかけ、矢印の方向にまっすぐ引き抜きます。

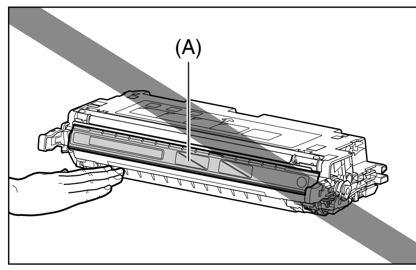




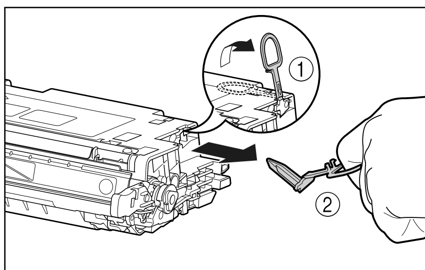


Point

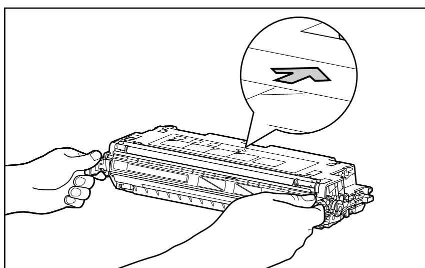
シーリングテープを引き抜くときは、ドラム保護シャッター（A）を手で押さえつけないように気を付けて作業を行ってください。



8 図のようにタブに指をかけ、梱包材を取り外します。

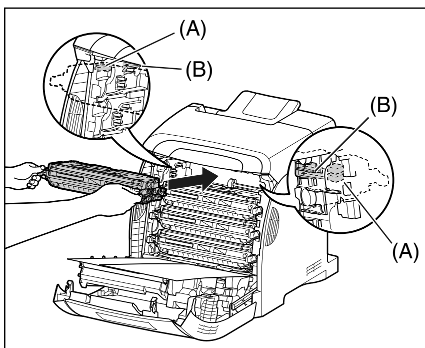


9 図のように矢印のついている面を上にして、トナーカートリッジを正しく持ちます。

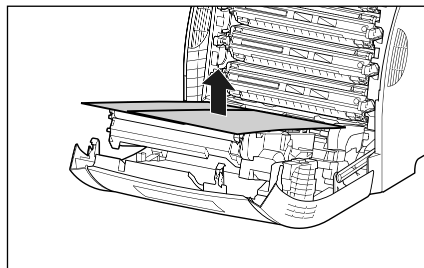


10 トナーカートリッジを両手で持ち、本体に取り付けます。

交換する色のトナーカートリッジの（A）を同じ色のラベルが貼られているスロット（B）に合わせて止まるまで差し込みます。

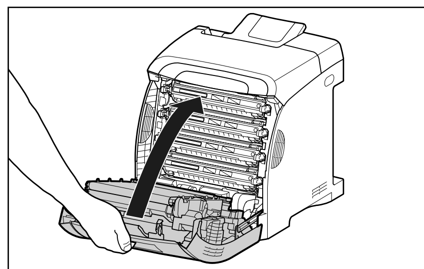


11 用紙を取り除きます。



12 前カバーを閉めます。

前カバーは前面の取っ手を持って、ゆっくりと閉めます。



Point

前カバーが閉まらないときは、トナーカートリッジの取り付け状態を確認してください。無理に前カバーを閉めると故障の原因になります。

定着ローラを清掃する

印刷した用紙の表面や裏面に黒点状の汚れが付着するような場合は、次の手順で定着ローラを清掃してください。清掃することで、画像不良の発生を防止します。

クリーニングの実行には、約 25 秒かかります。

クリーニングは中止することができません。完了するまでお待ちください。

A4 ／レターサイズの用紙以外に、クリーニングページを出力することはできません。A4 ／レターサイズの用紙をご用意ください。

プリンタがオンライン状態になっていることを確認します。

オンライン状態になっていない場合、［オンライン］を押します。

［ユーティリティ］（ユーティリティ）を押します。

ﾕｰﾃｨﾘﾃｨ
ｽﾃｰﾀｽﾌﾟﾘﾝﾄ →

［ユーティリティ］または［セットアップ］で「クリーニング」を選択し、［OK］を押します。

ディスプレイに「クリーニング　ジッコウ」と表示され、クリーニング用紙の印刷待ちになります。

ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ →
ｼﾞｯｺｳﾁｭｳ
ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ ｼﾞｯｺｳ

手差しトレイに A4 ／レターサイズの白紙用紙（普通紙）をセットし、［オンライン］を押します。

ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ ｼﾞｯｺｳ
00 ｼｮﾘﾁｭｳ A4
ﾘｮｳﾒﾝｲﾝｻﾂﾁｭｳ

Check!

用紙は排紙トレイに完全に排紙されるまで触れないでください。用紙は表面を印刷したあと一度途中まで排紙され、裏面を印刷するために再度給紙されます。

カラーバランスを調整したいときには

印刷結果が全体に赤っぽかったり、青っぽかったり、カラーバランスが適切でないときは、C（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）、K（ブラック）のトナー濃度をそれぞれ調節し、補正することができます。トナー濃度は、1 ～ 16 の範囲で設定でき、工場出荷時には標準的な濃度（8）に設定されています。

操作パネルのキーで設定するときは、次の手順で操作します。

セットアップ（セットアップ）を押します。

セットアップメニューが表示されます。

セットアップ
カクチョウ キノウ →

ユーティリティ または セットアップ で「インジ　チョウセイ」を選択します。

インジ゛ チョウセイ →

OK を押します。

印字調整グループの設定項目が表示されます。

カイチョウショリ →

ユーティリティ または セットアップ で目的の色の「トナー　ノウド」を選択します。

トナー ノウド゛ K →

OK を押します。

トナー濃度の設定値が表示されます。

=8 →

ユーティリティ または セットアップ で濃度を選択します。

1 にすると一番薄い濃度、16 にすると一番濃い濃度になります。

6 →

OK を押します。

設定値の左に「=」が表示され、濃度が設定されます。

=6 →

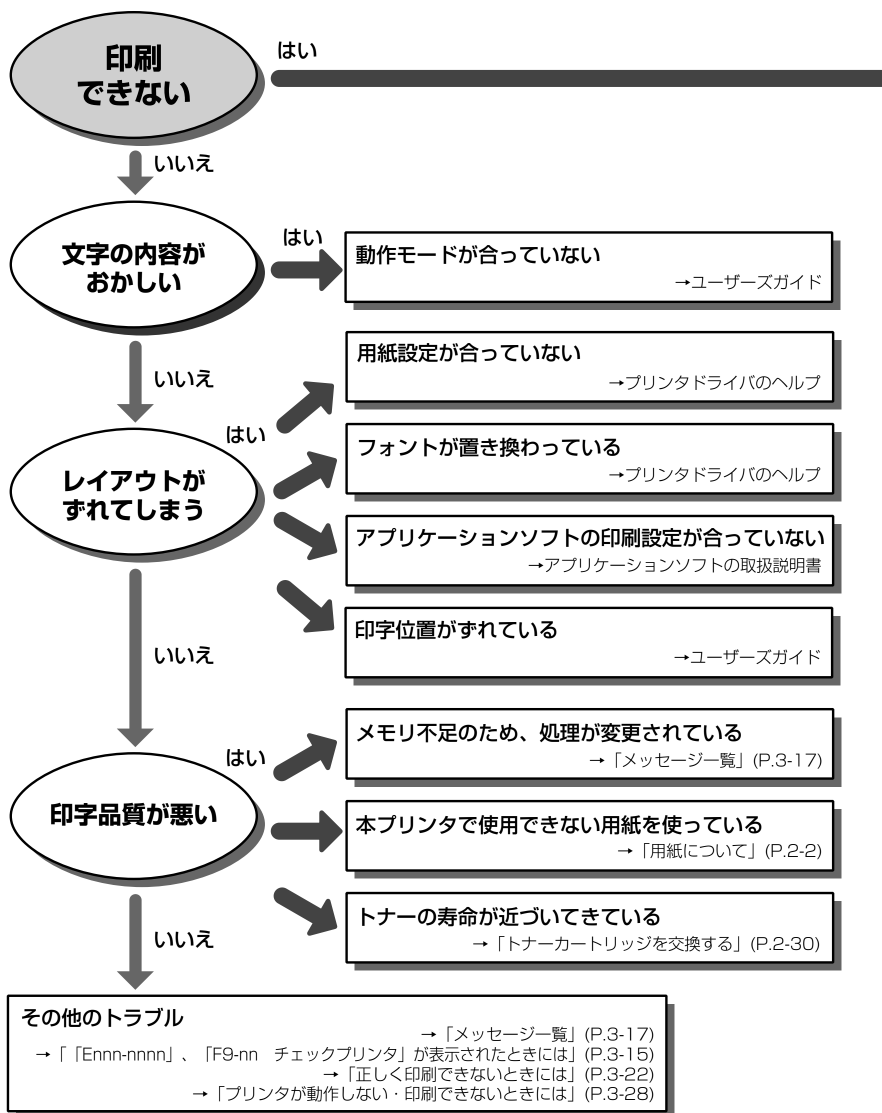
トラブルの対処法

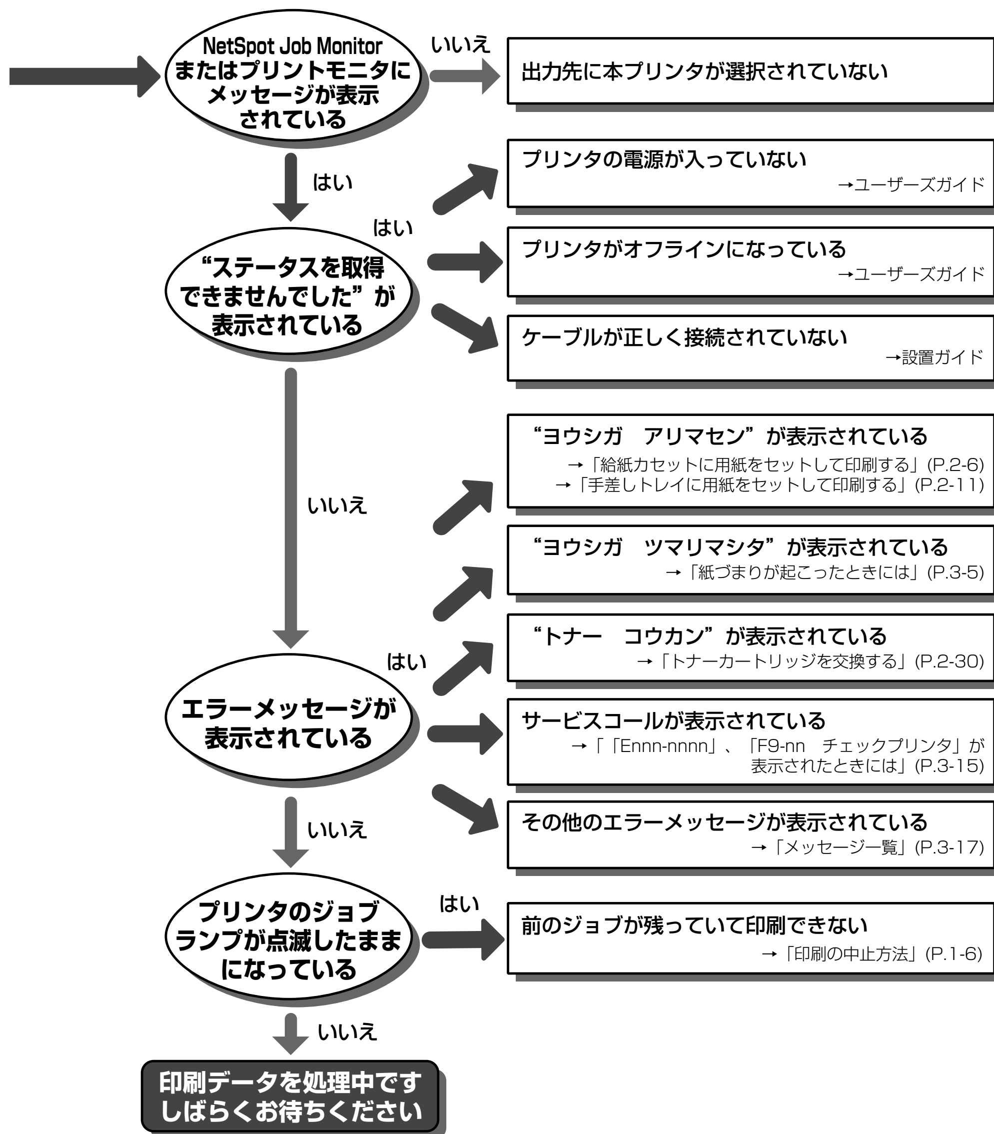
Chapter

3

トラブル解決マップ

本プリンタを使用中に異常が発生したときは、次の手順にしたがってチェックしてください。




NetSpot Job Monitor またはプリントモニタにメッセージが表示されている
いいえ
出力先に本プリンタが選択されていない
はい
プリンタの電源が入っていない
→ユーザーズガイド
はい
“ステータスを取得できませんでした”が表示されている
プリンタがオフラインになっている
→ユーザーズガイド
ケーブルが正しく接続されていない
→設置ガイド
いいえ
“ヨウシガ　アリマセン”が表示されている
→「給紙カセットに用紙をセットして印刷する」(P.2-6)
→「手差しトレイに用紙をセットして印刷する」(P.2-11)
“ヨウシガ　ツマリマシタ”が表示されている
→「紙づまりが起こったときには」(P.3-5)
“トナー　コウカン”が表示されている
→「トナーカートリッジを交換する」(P.2-30)
はい
エラーメッセージが表示されている
サービスコールが表示されている
→「「Ennn-nnnn」、「F9-nn　チェックプリンタ」が表示されたときには」(P.3-15)
その他のエラーメッセージが表示されている
→「メッセージ一覧」(P.3-17)
いいえ
プリンタのジョブランプが点滅したままになっている
はい
前のジョブが残っていて印刷できない
→「印刷の中止方法」(P.1-6)
いいえ
印刷データを処理中です しばらくお待ちください

色ずれの調整や濃度の制御をしたいときには

色ずれの調整や濃度の制御（色味の調整）は、ユーティリティメニューの「キャリブレーション」で行うことができます。キャリブレーションには以下の種類があります。必要に応じた「キャリブレーション」を行ってください。

キャリブレーションの種類	内容
「イロズレ　チョウセイ」 * 実行には約 80 秒かかります。	各色の印字開始位置のずれを制御して色ずれを調整します。色ずれが起こっているときに実行してください。
「ノウド　セイギョ」 * 実行には約 37 秒かかります。	最大濃度および中間濃度を制御します。色味が変わり正しい色（指定した色）で印刷されないときなどに実行してください。
「チュウカン　ノウドセイギョ」 * 実行には約 37 秒かかります。	中間濃度を制御します。中間濃度の色味が変わり正しい色（指定した色）で印刷されないときなどに実行してください。
「フル　キャリブレーション」 * 実行には約 133 秒かかります。	「イロズレ　チョウセイ」と「ノウド　セイギョ」を行います。色ずれの調整と濃度の制御（色味の調整）をまとめて行いたいときなどに実行してください。

プリンタがオンライン状態になっていることを確認します。

オンライン状態になっていない場合、［オンライン］を押します。

［ユーティリティ◁］を押します。

ユーティリティ
ステータスプリント →

［ユーティリティ◁］または［▷セットアップ］で「キャリブレーション」を選択します。

キャリフ゛レーション →

［OK］を押します。

イロス゛レ チョウセイ →

［ユーティリティ◁］または［▷セットアップ］で必要に応じたキャリブレーションを選択します。

ノウト゛ セイキ゛ョ →

［OK］を押します。

ノウト゛ セイキ゛ョ →
シ゛ッコウ チュウ
02 キャリフ゛レーションチュウ

紙づまりが起こったときには

印刷中に、何らかの理由で紙づまりが起こると、ピーという警告音が鳴り、ディスプレイに「13　ヨウシガ　ツマリマシタ」というメッセージが表示されます。紙づまりが起こったときは、次の手順でつまった用紙を取り除き、印刷を再開します。手順通り用紙を取り除いても紙づまりのメッセージが消えないときは、まだ用紙の断片などが内部に残っている可能性があります。再度プリンタの各部を点検し、つまっている用紙を完全に取り除いてください。

13 ヨウシカ゛ ツマリマシタ



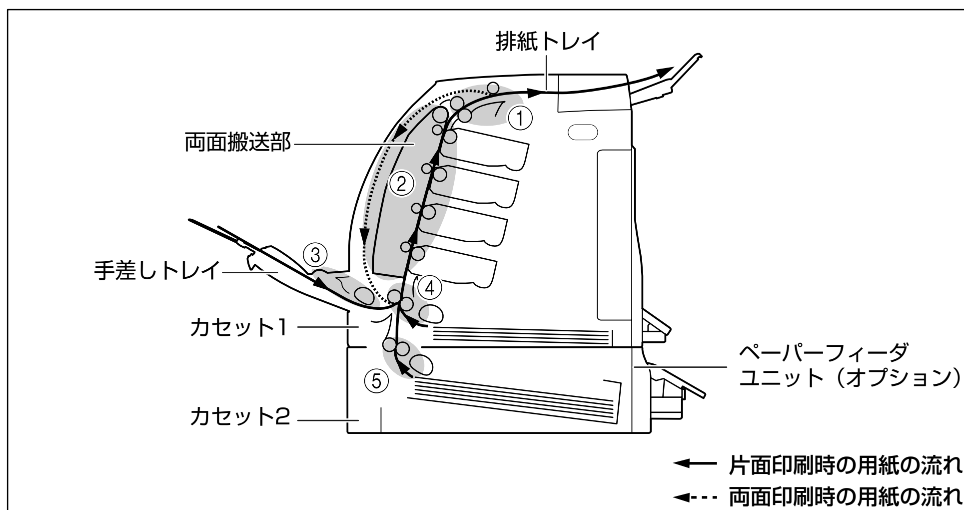
マエカハ゛ー エリア

メッセージが 1 つずつ順に表示されますので、すべてを確認してください。

メッセージはカバーを開けると表示されなくなりますので、必要に応じてメモに書きとめておいてください。

紙づまりの位置

ディスプレイに表示されているメッセージは、紙づまりが起きた場所を示しており、次の種類があります。



紙づまりの位置		ディスプレイメッセージ
①	上カバー内部、排紙トレイ	ウエカバー　エリア
②	前カバー内部、両面搬送部	マエカバー　エリア
③	手差しトレイ	テザシトレイ　エリア
④	カセット 1	カセット 1　エリア
⑤	カセット 2（ペーパーフィーダ装着時のみ）	カセット 2　エリア

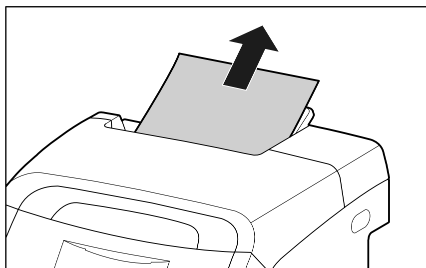
紙づまりの除去手順

次の手順にしたがって、つまっている用紙を取り除きます。

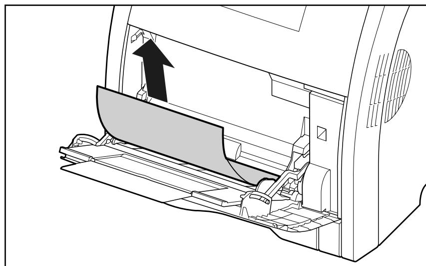
Point

つまった用紙が簡単に取り除けない場合は、無理に引っぱらずに次の手順に進んでください。

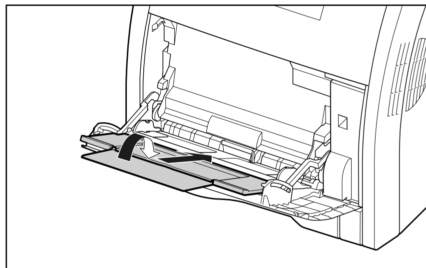
1 排紙トレイをチェックし、用紙がつまっていたら、取り除きます。

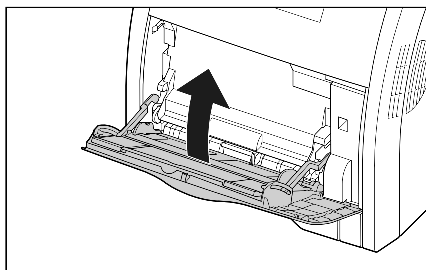


2 手差しトレイを使用している場合は、手差しトレイにつまっている用紙を取り除きます。



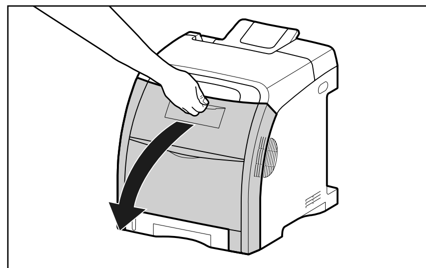
3 手差しトレイを使用している場合は、手差しトレイを閉めます。





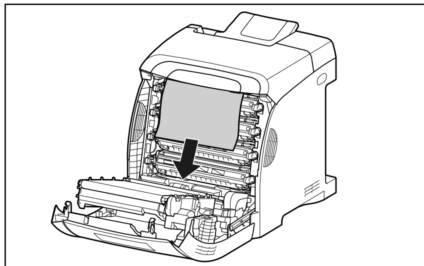
4 前カバーを開けます。

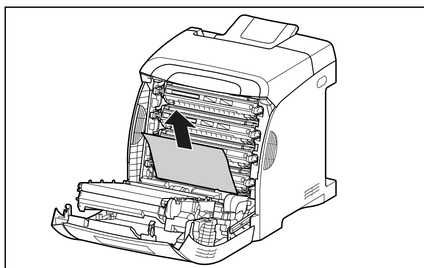
前カバーは前面の取っ手を持って、ゆっくりと開けます。

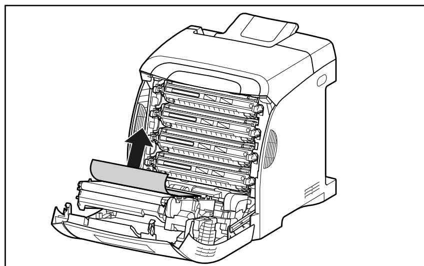


5 つまっている用紙を矢印の方向に引っぱって取り除きます。

定着していないトナーをこぼさないようにゆっくりと矢印の方向に取り除いてください。また、ETB ユニットの搬送ベルトやトナーカートリッジに触れないように、気を付けて用紙を取り除いてください。



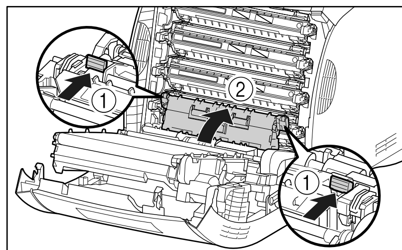


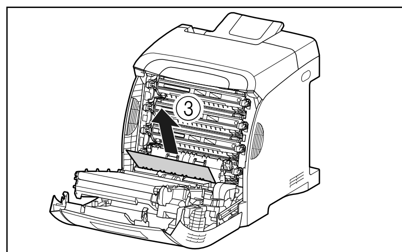


6 両面印刷して紙づまりが起こった場合は、以下の手順を行ってください。

両面印刷をしていない場合は、次の手順に進みます。

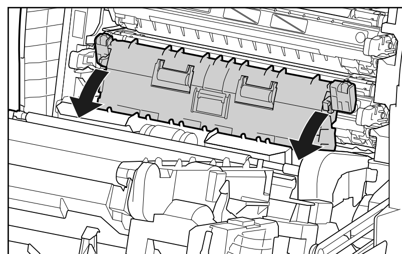
a 両面搬送ガイドのロック解除ボタンを押して①、両面搬送ガイドを上げながら②、つまっている用紙を取り除きます③。





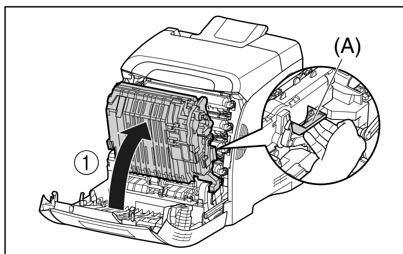
b 両面搬送ガイドを閉めます。

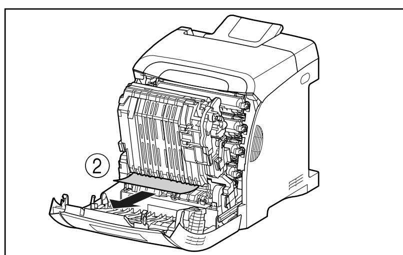
両面搬送ガイドは左右をしっかり閉めます。



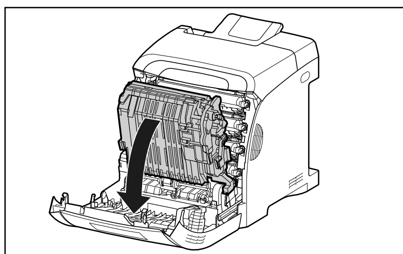
c 図のように両面ユニットの取っ手（A）を右手で持ち上げながら①、つまっている用紙を矢印の方向に引っぱって取り除きます②。

両面ユニットが外れてしまった場合は、「両面ユニットが正しくセットされていないときには」(→ P.3-13) を参照してください。

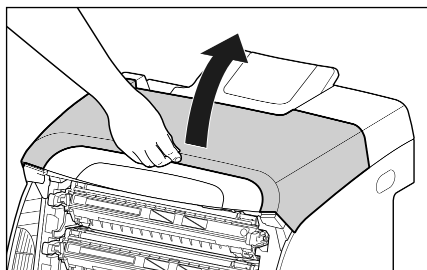




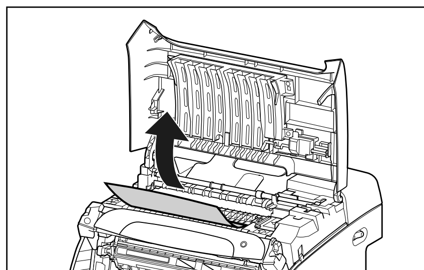
d 両面ユニットを元の位置に戻します。



7 上カバーを開けます。

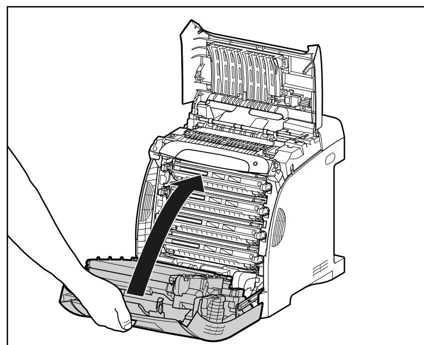


8 つまっている用紙を矢印の方向に引っぱって取り除きます。



9 前カバーを閉めます。

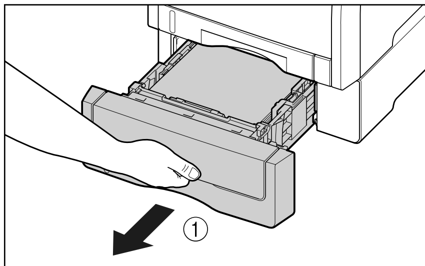
前カバーは前面の取っ手を持って、ゆっくりと閉めます。



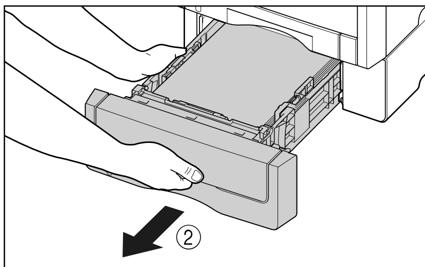
10 以降の作業は上カバーを開けた状態で行います。上カバーが閉まらないように気をつけて作業を行ってください。

11 オプションのペーパーフィーダが装着されている場合は、ペーパーフィーダの給紙カセットを引き出します。

給紙カセットをゆっくりと引き出します①。

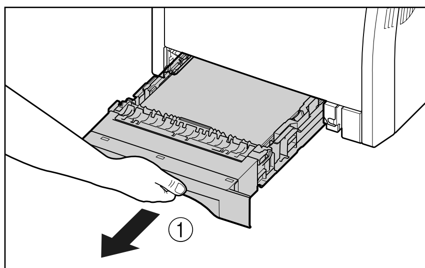


図のように両手で持って、ペーパーフィーダから取り外します②。

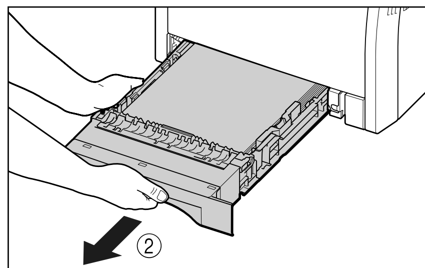


12 プリンタの給紙カセットを引き出します。

給紙カセットをゆっくりと引き出します①。

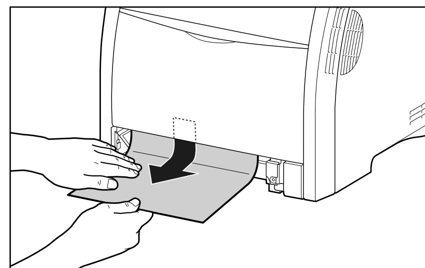


図のように両手で持って、プリンタ本体から取り外します②。

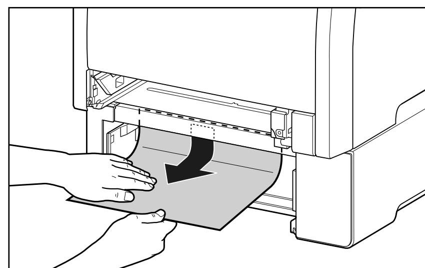


13 用紙を押し下げるように、つまっている用紙を取り除きます。

プリンタ本体の場合



ペーパーフィーダの場合

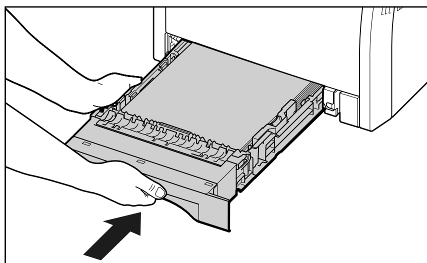


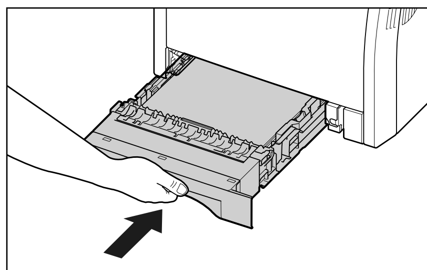
Point

つまった用紙が簡単に取り除けない場合は、無理に引っぱらずに前カバーを開けて、手順5 を参照してつまっている用紙を取り除いてください。無理に引っぱると給紙ローラが外れることがあります。

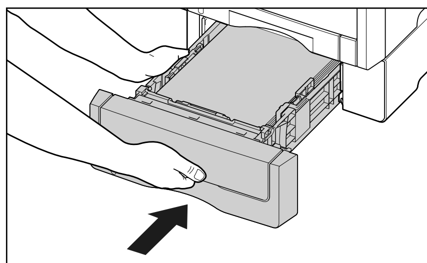
14 給紙カセットをプリンタにセットします。

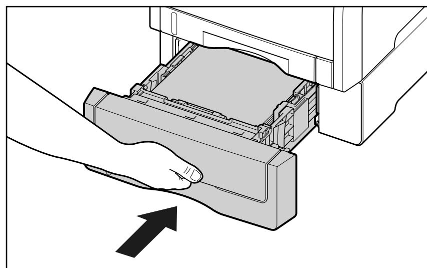
給紙カセット前面が、プリンタの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます。



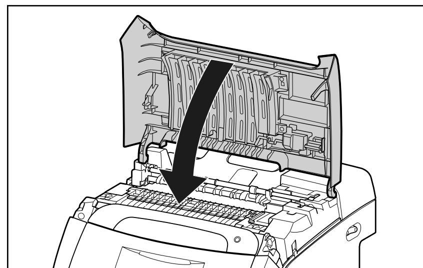


ペーパーフィーダが装着されている場合は、ペーパーフィーダの給紙カセットもセットします。





15 上カバーを閉めます。



Check!

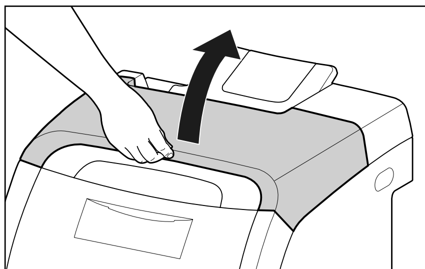
上カバーを閉めても、ディスプレイに上カバー内部で紙づまりが起こっていることを示すメッセージが消えないときは、定着器に用紙が残っている可能性があります。「紙づまりのメッセージが消えないときには」（→P.3-11）の手順にしたがって、つまっている用紙を取り除いてください。また、給紙カセットがしっかりと奥まで押し込まれているかも確認してください。

紙づまりのメッセージが消えないときには

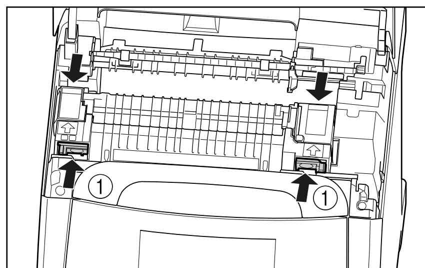
紙づまりの処理を行っても、ディスプレイに上カバー内部で紙づまりが起こっていることを示すメッセージが表示されているときは、定着器に用紙が残っていることを表わしています。次の手順で定着器を取り外し、つまっている用紙を取り除いてください。

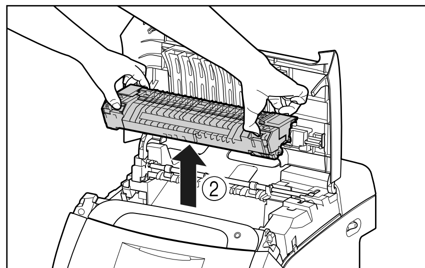
1 プリンタの電源をオフにします。

2 上カバーを開けます。



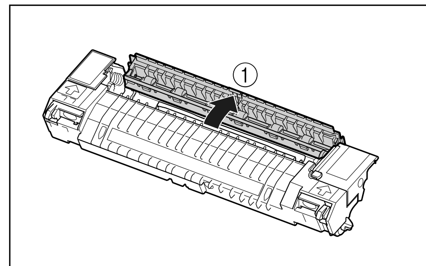
3 図のように矢印の部分をつまんで①、定着器をゆっくりと取り外します②。

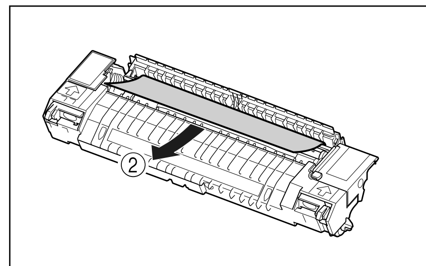




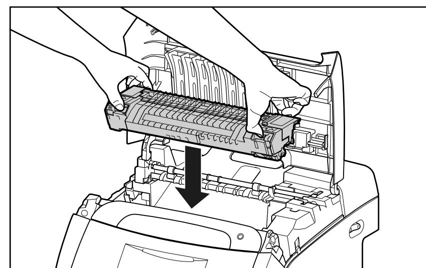
4 図のように定着器のカバーを開けて①、つまっている用紙を矢印の方向に引っぱって取り除きます②。

定着していないトナーをこぼさないようにゆっくりと矢印の方向に取り除いてください。

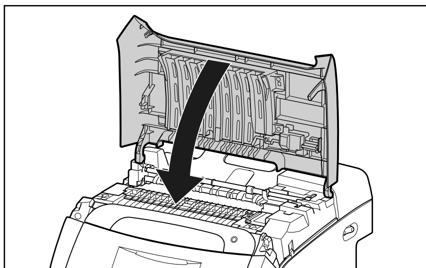




5 定着器を取り付けます。



6 上カバーを閉めます。



7 電源をオンにします。

両面ユニットが正しくセットされていないときには

本プリンタに標準の両面ユニットが正しく取り付けられていない場合は、ディスプレイに「OF　オプション　カクニン」というメッセージが表示されます。

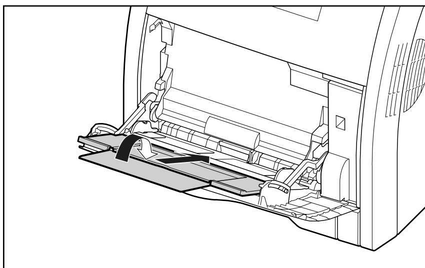
次の手順で両面ユニットを正しく取り付けます。

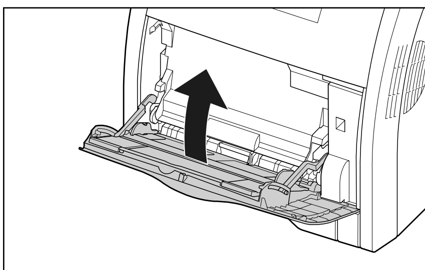
Check!

両面ユニットを正しく取り付けるため、一度両面ユニットを取り外します。両面ユニットを取り外す場合は、プリンタの電源をオフにするため、印刷中のデータが消去されてしまいます。両面ユニットを正しく取り付けたあとに、再度印刷しなおしてください。

1 プリンタの電源をオフにします。

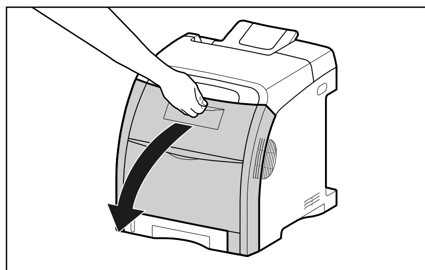
2 手差しトレイを使用している場合は、手差しトレイを閉めます。





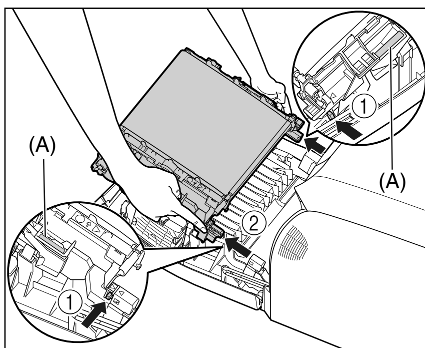
3 前カバーを開けます。

前カバーは前面の取っ手を持って、ゆっくりと開けます。



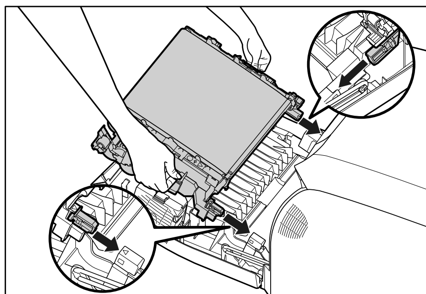
4 両面ユニットをゆっくりと取り外します。

図のように両面ユニットの両端にあるレバーを押して①、取っ手（A）を持ってゆっくりと取り外します②。

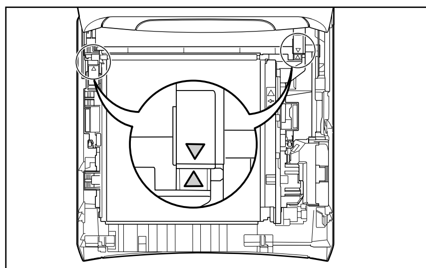


5 両面ユニットを取り付けます。

図のように両面ユニットの突起をプリンタに差し込み、カチッと音がするまでしっかりと取り付けます。

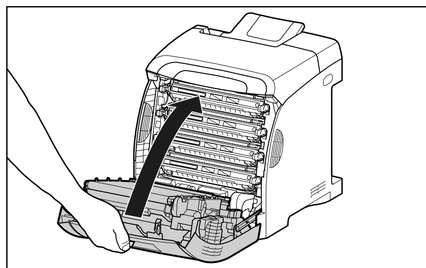


図のようにプリンタの三角マークと両面ユニットの三角マークが合っていることを確認します。



6 前カバーを閉めます。

前カバーは前面の取っ手を持って、ゆっくりと閉めます。



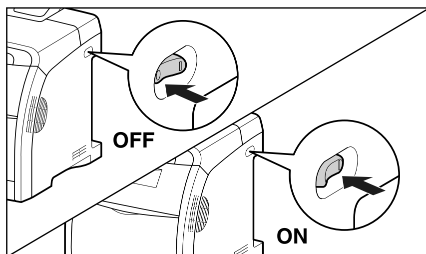
こんなメッセージが表示されたら

「Ennn-nnnn」、「F9-nn　チェックプリンタ」が表示されたときには

本プリンタの内部機構や印刷データ処理中にトラブルが発生した場合、次のようなサービスコールが表示されます。

メッセージ	原因	処置
Ennn-nnn （n は英数字）	プリンタの内部機構にトラブルが発生した。	次の手順にしたがって、電源を入れなおしてください。 数回電源を入れなおしてもメッセージが消えない場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。
E001-nnnn E003-nnnn （n は英数字）	定着器にトラブルが発生した。	次の手順 2 以降にしたがって、お買い求めの販売店にご連絡ください。
F9-nn ﾁｪｯｸﾌﾟﾘﾝﾀ （n は英数字）	印刷データ処理中にトラブルが発生した。	次の手順にしたがって、電源を入れなおしてください。

1 電源をいったんオフにし、10 秒以上待ってから電源をオンにしなおしてください。

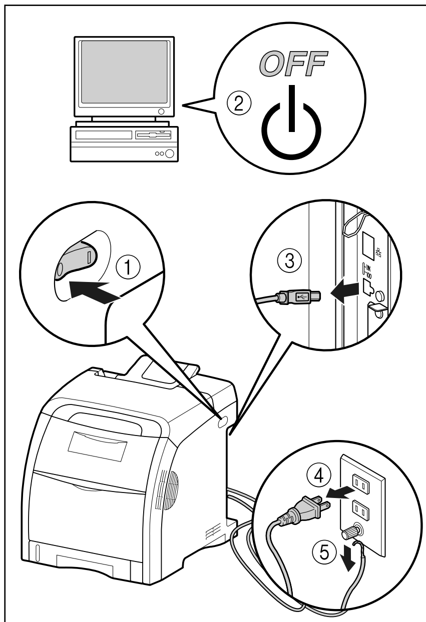


メッセージが表示されない場合は、そのままご使用になれます。再度メッセージが表示された場合は、次の手順に進んでください。

2 ディスプレイに表示されている英数字とメッセージを書きとめます。

3 次の操作を行います。

プリンタの電源をオフにします①。
USB ケーブルを接続している場合は、コンピュータの電源をオフにして②、USB ケーブルを抜きます③。
電源プラグを電源コンセントから抜きます④。
アース線を専用のアース線端子から取り外します⑤。



4 お買い求めの販売店にご連絡ください。

ご連絡の際には、症状および書きとめたコードナンバーをお知らせください。

不明な点がありましたら、「お客様相談センター」（→裏表紙）にお問い合わせください。

メッセージ一覧

プリンタの使用中に、何らかの理由で印刷が不可能な状態（エラー状態）になると、ブザーが鳴り、メッセージランプが点灯してディスプレイにトラブル内容を示すエラーメッセージを表示します。

また、印刷に支障はないが何らかの処置が必要な状態（警告状態）になると、ディスプレイに警告メッセージを表示します。

これらのメッセージが表示されたときは、メッセージに応じて次のような処置を行ってください。

- 警告メッセージ の付いているメッセージは、メッセージが表示されている場合（警告状態が発生している場合）でも、プリンタは停止しません。
- 自動エラースキップ可 のマークが付いているメッセージは、［オンライン］を押すとエラーを回避（エラースキップ）して印刷を継続できますが、印刷データが欠落したり、正しく印刷されなかったりします。処理を中止したいときは、ソフトリセットの操作を行い、原因を取り除いてから、［オンライン］を押して再度印刷しなおしてください。また、このマークが付いているメッセージは、共通セットアップメニューの「自動エラースキップ」を「スル」に設定すると自動的にエラースキップさせることもできます。

● ユーザーズガイドにはメッセージごとの詳細な解決法が記載されています。メッセージが本書に記載されていなかったり、メッセージの詳細を知りたいときには、ユーザーズガイド「第5章 メッセージ一覧」をお読みください。

メッセージ	原因と処置
02　レイキャクチュウ	原因：連続印刷（特に幅の狭い用紙）によって定着器の温度が一定の温度を超えた 処置：そのまましばらくお待ちください。プリンタが自動的に定着器の冷却を行います。冷却が終了すると印刷を再開します。
0F　オプション　カクニン	原因：両面ユニットが正しく取り付けられていない 処置：電源をいったんオフにし、両面ユニットを正しく取り付けてから電源をオンにしなおしてください。（→両面ユニットが正しくセットされていないときには：P.3-13）
11　XXX ヨウシガアリマセン （XXX は用紙サイズ略号）	原因：給紙元にアプリケーションソフトから指定したサイズの用紙がセットされていない（給紙モードが「ジドウ」のときはすべての給紙元、固定のときは設定されている給紙元） 処置：用紙を補給またはセットしてください。
12　カバーガ　アイテイマス	原因：前カバーまたは上カバーが開いている 処置：前カバーまたは上カバーをしっかりと閉めます。オンライン状態になっていないときは、［オンライン］を押してください。
13　ヨウシガ　ツマリマシタ	原因：内部で紙づまりを起こしている 処置：紙づまりを除去し、給紙カセットやカバーを元に戻してください。オンライン状態になっていないときは、［オンライン］を押してください。（→紙づまりが起こったときには：P.3-5）
14　X　トナー　ミソウチャク （X は K または Y、M、C）	原因：Y（イエロー）またはM（マゼンタ）、C（シアン）、K（ブラック）のトナーカートリッジがセットされていない 処置：表示された色のトナーカートリッジをセットしてください。（→トナーカートリッジを交換する：P.2-30）
16　Xセット　カクニン （X は K または Y、M、C）	原因：Y（イエロー）またはM（マゼンタ）、C（シアン）、K（ブラック）のトナーカートリッジが正しくセットされていない 処置：表示された色のトナーカートリッジを正しくセットしてください。（→トナーカートリッジを交換する：P.2-30）
16　X　トナー　ヨウイ （X は K または Y、M、C） 警告メッセージ	原因：K（ブラック）またはY（イエロー）、M（マゼンタ）、C（シアン）のトナーカートリッジの寿命が近づいている 処置：少しの間はそのまま印刷を継続できますが、新しいトナーカートリッジを準備してください。大量に印刷するときは、表示された色のトナーカートリッジを取り出し、新しいトナーカートリッジに交換してください。（→トナーカートリッジを交換する：P.2-30）

16　X　トナー　コウカン （X は K または Y、M、C）	原因：K（ブラック）または Y（イエロー）、M（マゼンタ）、C（シアン）のトナーカートリッジの寿命がきた 処置：［オンライン］を押します。少しの間はそのまま印刷を継続できますが、新しいトナーカートリッジを準備してください。大量に印刷するときは、表示された色のトナーカートリッジを取り出し、新しいトナーカートリッジに交換してください。（→トナーカートリッジを交換する：P.2-30）
18　キュウシ　エラー	原因：手差しトレイや給紙カセットから給紙できない用紙サイズまたは用紙タイプの用紙が指定されている 処置：給紙元を指定している場合は、［給紙選択］を押して、「給紙モード」を「ジドウ」に設定してください。
18　カセット１　ナシ	原因：カセット 1 がセットされていない 処置：カセット 1 をセットしてください。（→給紙カセットに用紙をセットして印刷する：P.2-6）
1F　ハイシトレイ　フル	原因：排紙トレイが満載になった 処置：排紙トレイの用紙を取り除いてください。
1G　X　トナー　コウカン （X は K または Y、M、C）	原因：K（ブラック）または Y（イエロー）、M（マゼンタ）、C（シアン）のトナーカートリッジの寿命がきた 処置：表示された色のトナーカートリッジを取り出し、新しいトナーカートリッジと交換します。（→トナーカートリッジを交換する：P.2-30）
1H　X　セツゾクカクニン （X は K または Y、M、C）	原因：Y（イエロー）または M（マゼンタ）、C（シアン）、K（ブラック）のトナーカートリッジが正しく取り付けられていない可能性がある 処置：表示された色のトナーカートリッジを取り出し、正しくセットしなおしてください。
23　ダウンロードメモリフル 自動エラースキップ可	原因：オーバレイフォームや外字などを登録するメモリが不足してオーバーフローした 処置：リセットメニューでソフトリセットしたあと､次のような方法で RAMの空き容量を増加し、データを登録しなおして印刷します。 ・ハードリセットをするか、プリンタの電源を入れなおす（メモリ内のデータはすべて消去されますので気を付けてください)。 ・オプションの拡張RAM を取り付ける。（→RAM/ROM：P.4-6）
26　システムメモリ　フル 自動エラースキップ可	原因：システムのデータ処理（主に図形処理や文字処理）時に、処理に必要なワークメモリが不足した 処置：リセットメニューでソフトリセットしたあと､次のような方法で RAMの空き容量を増加します。 ・ハードリセットするか、プリンタの電源を入れなおす（メモリ内のデータはすべて消去されますので気を付けてください)。 ・オプションの拡張RAM を取り付ける。（→RAM/ROM：P.4-6）
27　ジョブカイシ　エラー 自動エラースキップ可	原因：指定したエミュレーションが存在しない 処置：本プリンタに内蔵のエミュレーションを指定します。
30　メモリ　フル 自動エラースキップ可	原因：システムのデータ処理で、ワークメモリが不足した 処置：［オンライン］を押し、印刷を継続します。ただし、エラーが発生したデータは正しく印刷されないことがあります。
32　リョウメンインサツ　エラー 自動エラースキップ可	原因：自動両面印刷できない用紙サイズ（向きを含む）または用紙タイプの両面データを受信した 処置：リセットメニューでソフトリセットしたあと、自動両面印刷可能な用紙サイズあるいは用紙タイプに変更して、印刷しなおします。
33　ワークメモリ　フル 自動エラースキップ可	原因：各動作モード専用のワークメモリが確保できない 処置：リセットメニューでソフトリセットしたあと､次のような方法で RAMの空き容量を増加し、印刷しなおします。 ・ハードリセットをするか、プリンタの電源を入れなおす（プリンタが受信したメモリ内のデータは､すべて消去されますので気を付けてください)。 ・LIPS LX プリンタドライバをご使用の場合は､オプションの拡張 RAM を取り付ける。ただし、拡張 RAM を取り付けても問題が解決しない場合があります。（→ RAM/ROM：P.4-6）
35　トウロクテーブル　フル 自動エラースキップ可	原因：1 つのジョブの中にあるドキュメント数が 16 を超えた 処置：［オンライン］を押し、印刷を継続します。ただし、エラーが発生したジョブは印刷されません。

37　ヨウシタイプ　カクニン 自動エラースキップ可	原因：使用できない用紙タイプを指定した 処置：「手差しトレイ用紙タイプ」や「カセットN　用紙タイプ（N=1、2）」で適切な用紙タイプに設定し、印刷しなおします。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」） 原因：OHP フィルムに印刷する場合に、カラー印刷を行った（OHP フィルムは、モノクロ印刷時のみ使用可能です。） 処置：カラーモードを「モノクロ」に設定し、モノクロで印刷しなおします。
38　ガシツ　テイカ 自動エラースキップ可	原因：データが複雑すぎて処理できない 処置：リセットメニューでソフトリセットしたあと、セットアップメニューの印字調整グループグループで「階調処理」を「コウカイチョウ　1」に設定し、印刷しなおします。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）
39　スプールメモリフル 自動エラースキップ可	原因：スプールメモリが不足したため、印刷できない 処置：［オンライン］を押し、印刷を継続します。ただし、エラーが発生したページは印刷されません。
41　ヨウシサイズ　カクニン	原因：実際に手差しトレイや給紙カセットにセットした用紙サイズと、コンピュータまたは操作パネルから設定した「手差しトレイ用紙サイズ」や「カセット 1 用紙サイズ」、「カセット 2 用紙サイズ」の設定が違っている 処置：「手差しトレイ用紙サイズ」や「カセット 1 用紙サイズ」、「カセット 2 用紙サイズ」とセットした用紙のサイズを合わせ［オンライン］を押してください。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」） 原因：LIPS LX プリンタドライバを使用して、「手差しトレイ用紙サイズ」、「カセット 1 用紙サイズ」、「カセット 2 用紙サイズ」が「フリー」のときに、長辺が 215.9mm以下のユーザ設定用紙を縦置きにセットして印刷した 処置：横置きにセットして印刷しなおします。
52　イメージモード　エラー 自動エラースキップ可	原因：イメージモードで印刷中に、対応していない形式のデータを受信した 処置：イメージデータ形式に対応したプリンタドライバで印刷しなおします。
53　セキュアプリント　エラー 自動エラースキップ可	原因：LBP5400用でないプリンタドライバからセキュアプリントの設定をしたデータが送られてきた 処置：［オンライン］を押して印刷をキャンセルします。
53　ホゾン　エラー 自動エラースキップ可	原因：LBP5400用でないプリンタドライバから保存ジョブプリントの設定をしたデータが送られてきた 処置：［オンライン］を押して印刷をキャンセルします。
55 ハードディスク　エラー 自動エラースキップ可	原因：ハードディスクにエラーが発生した 処置：自動的に再フォーマットされます。
56　ハードディスク　エラー	原因：ハードディスクにエラーが発生した 処置：セットアップメニューのユーザメンテナンスグループの「HDD メンテナンス」でフォーマットを実行してください。同様のエラーが発生する場合は、ハードディスクの交換が必要になります。お買い求めの販売店に修理をご依頼ください。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）
57　RIP　Once　エラー 自動エラースキップ可	原因：ハードディスクの容量が不足して、RIP Once（リップワンス）による複数部数印刷を継続できなくなった 処置：複数のジョブに分割して印刷しなおします。
58　ジョブメモリ　フル 自動エラースキップ可	原因：ジョブを処理するためのRAM の空き容量が不足している 処置：一度に複数のジョブを処理していた場合は、［オンライン］を押して印刷をキャンセルしたあと、他のジョブが終了するのを待って印刷しなおします。
59　ジョブジュシンエラー 自動エラースキップ可	原因：ジョブ受信中に解析不可能なデータを受信したかタイムアウトが発生した 処置：［オンライン］を押して印刷をキャンセルしたあと、印刷しなおします。
60　カギカンリ　エラー1	原因：鍵管理関係のファイルが壊れている 処置：セットアップメニューのインタフェースグループで「標準ネットワーク」→「リモート UI 設定」→「SSL」を選択し、「オフ」であることを確認してください。 その後プリンタを再起動し、リモート UI から鍵と証明書の再生成およびSSL の設定を行ってください。鍵管理および SSL の設定を行ったあと、再度プリンタを再起動してください。（→リモート UI ガイド「第 3 章 リモートUI のいろいろな機能」）
60　デコード　エラー	原因：暗号化セキュアプリントのデータを解析できなかった 処置：リセットメニューでソフトリセットしたあと、印刷しなおします。

9E　X トナー　イチカクニン （X は K または Y、M、C）	原因： Y（イエロー）または M（マゼンタ）、C（シアン）、K（ブラック）のトナーカートリッジが正しい位置にセットされていない 処置： 各色のトナーカートリッジの取り付け位置は、上からブラック、イエロー、シアン、マゼンタの順になっています。表示された色のトナーカートリッジを正しい位置にセットしなおしてください。（→トナーカートリッジを交換する：P.2-30）
9G　X　トナー　カクニン （X は K または Y、M、C） 警告メッセージ	原因： 一度寿命に到達した使用済みのトナーカートリッジがセットされている可能性がある 処置： 表示された色のトナーカートリッジに問題がないか確認してください。
A4　nn　ERROR （nn は 2 桁の英数字）	原因： プリンタに何らかの異常が起こり、正常に動かなくなった 処置： 電源を入れなおしてください。電源を入れなおしても再度メッセージが表示された場合は、ディスプレイに表示されているメッセージを書きとめお買い求めの販売店にご連絡ください。
A5　nn　ERROR （nn は 2 桁の英数字）	原因： プリンタに何らかの異常が起こり、正常に動かなくなった 処置： 電源を入れなおしてください。電源を入れなおしても再度メッセージが表示された場合は、ディスプレイに表示されているメッセージを書きとめお買い求めの販売店にご連絡ください。
A7　nn　ERROR （nn は 2 桁の英数字）	原因： プリンタに何らかの異常が起こり、正常に動かなくなった 処置： 電源を入れなおしてください。電源を入れなおしても再度メッセージが表示された場合は、ディスプレイに表示されているメッセージを書きとめお買い求めの販売店にご連絡ください。
D0　nn　ERROR （nn は 2 桁の英数字）	原因： プリンタに何らかの異常が起こり、正常に動かなくなった 処置： 電源を入れなおしてください。電源を入れなおしても再度メッセージが表示された場合は、ディスプレイに表示されているメッセージを書きとめお買い求めの販売店にご連絡ください。
D1　ブンカツメモリ　フル	原因： 分割印刷モード時に分割印刷用バッファがオーバーフローした 処置： リセットメニューでソフトリセットをしたあと、HP-GL セットアップメニューの「分割印刷」を「シナイ」、「拡大／縮小」を「ジドウ」に設定し、出力用紙サイズを指定して印刷しなおします。ただし、作図データは拡大／縮小されて印刷されます。（→ HP-GL ユーザーズガイド）
D1　リプロットバッファフル	原因： リプロットバッファがオーバーフローした 処置： リセットメニューでソフトリセットをしたあと、HP-GL　のリプロットバッファに保存するデータ数を 54206 バイト以内に設定し、印刷しなおします。（→ HP-GL ユーザーズガイド）
D1　ポリゴンバッファフル	原因： ポリゴンバッファがオーバーフローした 処置： リセットメニューでソフトリセットをしたあと、HP-GL のポリゴンバッファに保存するデータ数を 40882 バイト以内に設定し、印刷しなおします。（→ HP-GL ユーザーズガイド）
D8　レイアウト　エラー	原因： メモリ不足によりページをレイアウトできない 処置： LIPS LX ドライバの［グラフィックモード］の設定を「イメージモード」にして印刷しなおしてください。（→ LIPS LX プリンタドライバのヘルプ）
D8　バージョン　エラー	原因： LBP5400 用でないプリンタドライバから印刷した 処置： LBP5400 用のプリンタドライバから印刷しなおしてください。
D8　シンタックス　エラー	原因： LIPS LX プリンタドライバを使用して印刷したときに、不正なデータが送られた 処置： ［オンライン］を押して、次の印刷を継続します。ただし、エラーが発生したページ以降は印刷されません。
D8　nn　ERROR （nn は 2 桁の英数字）	原因： プリンタに何らかの異常が起こり、正常に動かなくなった 処置： 電源を入れなおしてください。電源を入れなおしても再度メッセージが表示された場合は、ディスプレイに表示されているメッセージを書きとめお買い求めの販売店にご連絡ください。
D9　IMG　データ　エラー	原因： TIFF または JPEG データの中に、本プリンタでは処理できないデータが含まれている 処置： 本プリンタでは印刷できないデータです。［オンライン］を押して、印刷をキャンセルします。
D9　IMG　サンショウ　エラー	原因： TIFF データの中に、本プリンタでは処理できないデータが含まれている 処置： 本プリンタでは印刷できないデータです。［オンライン］を押して、印刷をキャンセルします。

D9　nn　ERROR （nn は 2 桁の英数字）	**原因：** プリンタに何らかの異常が起こり、正常に動かなくなった **処置：** 電源を入れなおしてください。電源を入れなおしても再度メッセージが表示された場合は、ディスプレイに表示されているメッセージを書きとめお買い求めの販売店にご連絡ください。
E7　テイチャクキ　カクニン	**原因：** 定着器が取り付けられていない、または正しく取り付けられていない **処置：** 定着器を取り付ける、または正しく取り付けてください。（→紙づまりのメッセージが消えないときには：P.3-11）
EM　サーバセッテイ　エラー 警告メッセージ	**原因：** E メール印刷時、POP3 サーバに接続できなかった、あるいは POP3 サーバの設定が正しくない **処置：** リモートUI もしくは N/W ステータスプリントでエラーの詳細を確認してください。（→ユーザーズガイド「第 2 章 プリンタの使いかた」）
EM　E メールアクセス　エラー 警告メッセージ	**原因：** POP3 サーバのハードディスクにエラーがあるため、POP3 サーバに接続できなかった **処置：** POP3 サーバのハードディスクのエラーを解消してください。
F2　フォント　ミジッソウ 自動エラースキップ可	**原因：** オーバレイフォームの作成に使用した登録フォントが、印刷時に消去されていた **処置：** メモリに再度フォントを登録しなおすか、使用可能な登録フォントを使ってフォームを作り、印刷しなおします。
F9-nn　チェック　プリンタ （nn は 2 桁の英数字）	**原因：** 印刷データ処理中にトラブルが発生した **処置：** 電源を入れなおしてください。電源を入れなおしても再度メッセージが表示された場合は、ディスプレイに表示されているメッセージを書きとめお買い求めの販売店にご連絡ください。
FF　フォント　フル 自動エラースキップ可	**原因：** 登録するフォントの数が多すぎてフォントの情報を登録するための領域（フォントテーブル）がオーバーフローした **処置：**［オンライン］を押し、印刷を継続します。ただし、エラーが発生したページは正しく印刷されません。
FM　サイズ　エラー 自動エラースキップ可	**原因：** 擬似スケーラブル可能な大きさを超えた文字がある **処置：**「オンライン」を押して、印刷を継続します。ただし、エラーが発生した文字は正しく印刷されません。
FM　ザヒョウテン　エラー 自動エラースキップ可	**原因：** 擬似スケーラブルの輪郭座標点の点数が最大値を越えた文字がある **処置：**「オンライン」を押して、印刷を継続します。ただし、エラーが発生した文字は正しく印刷されません。
HF　ハードディスク　フル 自動エラースキップ可	**原因：** ハードディスクの空き容量が足りなくなった **処置：** ハードディスクに保存してあるデータのうち、不要なデータを削除してください。
PC　XXX　ヨウシニ　コウカン （XXX は用紙サイズ略号）	**原因：** アプリケーションソフトで設定したサイズの用紙が、プリンタの給紙カセットや手差しトレイにセットされていない、もしくは、違う用紙サイズの給紙元が選択されている **処置：** 選択されている給紙カセットにアプリケーションソフト（または拡大／縮小）で設定したサイズの用紙をセットしてください。（→給紙カセットに用紙をセットして印刷する：P.2-6）
SL　トナー　カクニン	**原因：** Y（イエロー）またはM（マゼンタ）、C（シアン）、K（ブラック）のトナーカートリッジに梱包材が付いている **処置：** トナーカートリッジの梱包材を取り外してください。（→トナーカートリッジを交換する：P.2-30）

正しく印刷できないときには

本プリンタの使用中に、トラブルと思われるような症状が起こったら、症状に応じて次のような処置をします。

印刷を行う前に、アプリケーションソフトの印刷プレビュー機能で、印刷データが画面に正常に表示されているかを確認してください。印刷プレビューの表示方法は、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

症状	原因	処置
意味不明の半角文字が印刷される	動作モードの自動切り替えがうまく働かなかった	動作モードを目的のエミュレーションに固定して印刷しなおしてください。(→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」)
	LIPS 専用セットアップメニューの漢字コードの設定が違っている	LIPS専用セットアップメニューの漢字コードの設定をコンピュータで使用している漢字コードに正しく合わせてください。(→ LIPS 機能ガイド「第 4 章 LIPS 専用セットアップメニューの設定項目」)
	付属のWindows 用 LIPS プリンタドライバをインストールせずにWindowsから印刷した	付属の Windows 用 LIPS プリンタドライバをインストールし、印刷しなおしてください。
	DOS アプリケーションソフトのプリンタ設定が適切でない	DOS アプリケーションソフトのプリンタ設定を、本プリンタと互換性のあるプリンタに再設定します。
	コントロールROMをセットして使用中に、動作モードの自動切り替えができなかった	動作モードを、プリンタ本体にセットしたコントロール ROM のエミュレーションに固定し、インタフェースの設定を、コンピュータと接続しているインタフェースに固定して印刷しなおしてください。(→LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」)
指定した書体と違う書体で印字される	Windows用LIPS IVプリンタドライバで TrueType フォントの置き換えが設定されている	Windows 用 LIPS IV プリンタドライバで TrueType フォントの置き換えを正しく設定しなおし、印刷しなおしてください。(→プリンタドライバのヘルプ)
白紙のページが印刷されない	LIPS4 セットアップメニューまたは LIPS LX セットアップメニューの「白紙節約」が「スル」になっている	白紙のページを印刷するときは、「白紙節約」を「シナイ」に設定します。(→ LIPS 機能ガイド「第 4 章 LIPS 専用セットアップメニューの設定項目」)
最後のページが印刷できない	コンピュータからデータの終わりを表すコマンドが送られて来ない(ジョブランプが点灯している)	[オンライン]を押してオフラインの状態にし、リセットメニューで「ハイシュツ」を選択します(印刷機能のないアプリケーションソフトで印刷した場合、最後のページのデータが 1 ページに満たないと、そのままメモリ内に残ってしまいます)。(→印刷の中止方法:P.1-6)

症状	原因	処置
データが用紙をはみだした	LIPS LX プリンタドライバを使用して、「手差しトレイ用紙サイズ」、「カセット 1 用紙サイズ」、「カセット 2 用紙サイズ」が「フリー」のときに、長辺が 215.9mm 以下のユーザ設定用紙を縦置きにセットして印刷した	横置きにセットして印刷しなおします。
	LIPS LX プリンタドライバを使用せずに、ユーザ設定用紙を横置きにセットして印刷した	縦置きにセットして印刷しなおします。
	データのサイズより小さな用紙をセットした	データのサイズに合った用紙をセットするか、用紙サイズに合わせた縮小率で縮小印刷をしてください。(→LIPS 機能ガイド「第 4 章 LIPS 専用セットアップメニューの設定項目」)
	用紙をセットする位置が合っていない	用紙を正しくセットし、印刷しなおしてください。(→給紙カセットに用紙をセットして印刷する : P.2-6、手差しトレイに用紙をセットして印刷する : P.2-11)
	余白なしで、用紙いっぱいのデータを印刷した	本プリンタの有効印字領域は用紙の周囲 5mm(封筒は 10mm)の範囲を除いた領域です。データの周囲に余白を取ってください。
		LIPS プリンタドライバの[仕上げ詳細]ダイアログで「印字領域を広げて印刷する」にチェックすると、印字領域を広げて印刷します。
	ESC/P モードの「ページフォーマット」の設定が合っていない	ESC/P モードの「ページフォーマット」を正しく設定し、印刷しなおしてください。(→ LIPS 機能ガイド)
	セットアップメニューのユーザメンテナンスグループの「印字位置調整」で印字位置が調整されている	セットアップメニューのユーザメンテナンスグループの「印字位置調整」で適切な値に調整してください。(→ユーザーズガイド「第 4 章 日常のメンテナンス」)
印字位置がずれてしまう	セットアップメニューのレイアウトグループの「とじしろ」、「縦位置補正」、「横位置補正」が設定されている	セットアップメニューのレイアウトグループの「とじしろ」、「縦位置補正」、「横位置補正」の設定を「0」に設定し、印刷しなおします。(→LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」)
	アプリケーションソフトの「上余白」や「用紙位置」の設定が合っていない	アプリケーションソフトの「上余白」や「用紙位置」を正しく設定し、印刷しなおしてください。(→アプリケーションソフトの取扱説明書)
	ESC/P モードの「上余白」や「用紙位置微調整」の設定が合っていない	ESC/P モードの「上余白」や「用紙位置微調整」を正しく設定し、印刷しなおしてください。(→ LIPS 機能ガイド)
	セットアップメニューのユーザメンテナンスグループの「印字位置調整」で印字位置が調整されている	セットアップメニューのユーザメンテナンスグループの「印字位置調整」で適切な値に調整してください。(→ユーザーズガイド「第 4 章 日常のメンテナンス」)
印字位置がだんだんずれていく	ESC/P モードを使用しているときに、ページフォーマットの設定とアプリケーションソフトで設定した用紙の種類が合っていない	アプリケーションソフトの用紙の種類とページフォーマットの設定を合わせて印刷しなおします。(→ユーザーズガイド「第 2 章 プリンタの使いかた」)
ページの途中から次ページに分かれて印刷される	アプリケーションソフトの「行間」や「1 ページの行数」の設定が合っていない	1 ページに収まるように、アプリケーションソフトの印刷指定で「行間」や「1 ページの行数」を変更してから印刷しなおします。(→アプリケーションソフトの 取扱説明書)
	セットアップメニューの動作モードグループで「動作モード選択」が「ジドウセンタク」に設定されているときに、セットアップメニューのインタフェースグループの「タイムアウト」の設定秒数が短すぎる	セットアップメニューの動作モードグループで「動作モード選択」を「ジドウセンタク」以外に設定するか、「タイムアウト」の設定秒数を十分に長くします。(→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」)

症状	原因	処置
縮小されて印刷される	縮小印刷の設定がされている	LIPS セットアップメニューの「拡大／縮小」を「シナイ」にしてください。（→ LIPS 機能ガイド「第４章 LIPS 専用セットアップメニューの設定項目」）
		プリンタドライバの「拡縮率」の設定を確認してください。
	ESC/P モードで使用しているときに、ページフォーマットが「B4 → A4 タテ」「B4 → A4 ヨコ」に設定されている	ESC/P モードの「ページフォーマット」を正しく設定し、印刷しなおしてください。（→LIPS 機能ガイド「第 5 章 ESC/P 専用セットアップメニューの設定項目」）
用紙にしわがよる	給紙カセットや手差しトレイに用紙が正しくセットされていない	給紙カセットや手差しトレイに用紙を正しくセットしてください。（→給紙カセットに用紙をセットして印刷する：P.2-6、手差しトレイに用紙をセットして印刷する：P.2-11）
	用紙が吸湿している	未開封の新しい用紙と交換してください。
用紙がカールする	用紙の保管状態が悪く、吸湿している	新しい用紙に交換し、印刷しなおしてください。（→用紙について：P.2-2）
	用紙が適切でない	本プリンタで使用できる用紙と交換してください。（→用紙について：P.2-2）
用紙が真っ白で何も印刷されない	用紙が重なって送られた	給紙カセットや手差しトレイの用紙を、よく揃えてからセットしなおしてください。OHP フィルム、コート紙、ラベル用紙の場合は、よくさばいてセットしなおしてください。（→給紙カセットに用紙をセットして印刷する：P.2-6、手差しトレイに用紙をセットして印刷する：P.2-11）
	プリンタ内部でトラブルが発生している	ディスプレイに「Ennn-nnnn」が表示されているときは、電源をいったんオフにし、10 秒以上待ってから電源をオンにしなおしてください。メッセージが消えることがあります。
		上記 の操作をしてもメッセージが消えないときは、お買い求めの販売店に連絡し、修理を依頼してください。
用紙が特定の色で塗られて何も印刷されない	トナーカートリッジ内のドラムが劣化している	新しいトナーカートリッジに交換してください。（→トナーカートリッジを交換する：P.2-30）
	プリンタ内部でトラブルが発生している	ディスプレイに「Ennn-nnnn」が表示されているときは、電源をいったんオフにし、10 秒以上待ってから電源をオンにしなおしてください。 メッセージが消えることがあります。
		上記の操作をしてもメッセージが消えないときは、お買い求めの販売店に連絡し、修理を依頼してください。
白いすじが入る	トナーカートリッジ内のドラムが劣化している	新しいトナーカートリッジに交換してください。（→トナーカートリッジを交換する：P.2-30）
部分的に白く抜ける	適切な用紙を使用していない	使用できる用紙に交換し、印刷しなおしてください。（→用紙について：P.2-2）
	用紙の保管状態が悪く、吸湿している	新しい用紙に交換し、印刷しなおしてください。（→用紙について：P.2-2）
	トナーカートリッジ内のドラムが劣化している	新しいトナーカートリッジに交換してください。（→トナーカートリッジを交換する：P.2-30）
印刷しない部分に残像が現れる	印刷する用紙が適当でない	用紙を取り替えて印刷してください。（→用紙について：P.2-2）
	トナーカートリッジ内のドラムが劣化している	新しいトナーカートリッジに交換してください。（→トナーカートリッジを交換する：P.2-30）
印字が全体的にうすい	トナー濃度の設定が適当でない	セットアップメニューの印字調整グループで、「トナー濃度」を調節してください。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）
	セットアップメニューの印字調整グループで、「ドラフトモード」が「ツカウ」に設定されている	セットアップメニューの印字調整グループで、「ドラフトモード」を「ツカワナイ」に設定してください。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）
印字が全体的に黒ずむ	トナー濃度の設定が適当でない	セットアップメニューの印字調整グループで、「トナー濃度」を調節してください。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）
	プリンタが直射日光または強い光が当たる場所に設置されている	プリンタを直射日光または強い光が当たらない場所に移動してください。あるいは、強い光を出す光源をプリンタから離してください。

症状	原因	処置
印字ムラが出る	用紙が湿っている、あるいは乾燥している	適切な用紙に交換し、印刷しなおしてください。(→用紙について:P.2-2)
	トナーがなくなった、またはトナーカートリッジが劣化、あるいは損傷している	新しいトナーカートリッジに交換してください。(→トナーカートリッジを交換する：P.2-30)
印刷した用紙の表面や裏面に黒点状の汚れが付着する	定着ローラが汚れている	定着ローラを清掃してください。(→定着ローラを清掃する：P.2-34)
ページの一部が印刷されない	拡大／縮小率の設定が適当でない	プリンタドライバで［倍率を指定する］のチェックマークを消します。チェックマークを消すと、［原稿サイズ］と［出力用紙サイズ］に応じて拡大／縮小率が自動的に設定されます。 ［倍率を指定する］の設定は、［ページ設定］ページで行います。
		プリンタドライバで［倍率を指定する］のチェックマークを付け、使用する用紙サイズに適した倍率を設定します。 ［倍率を指定する］の設定は、［ページ設定］ページで行います。
	用紙をセットする位置が合っていない	用紙を正しくセットしてください。(→給紙カセットに用紙をセットして印刷する：P.2-6、手差しトレイに用紙をセットして印刷する：P.2-11)
	余白なしで、用紙いっぱいのデータを印刷した	本プリンタの有効印字領域は用紙の周囲5mm（封筒は10mm）の範囲を除いた領域です。データの周囲に余白を取ってください。
		LIPSプリンタドライバの［仕上げ詳細］ダイアログボックスで［印字領域を広げて印刷する］にチェックすると、印字領域を広げて印刷します。
定着性が悪い	適切な用紙を使用していない	本プリンタで使用できる用紙と交換してください。(→用紙について：P.2-2)
	用紙の種類により、定着性が悪い場合がある	プリンタドライバで［グレー補償］を以下のいずれかに設定します。 ［グレー補償］の設定は、［印刷品質］ページの［印刷品質］で［ユーザ設定］を選択して、［設定］をクリックし、［ユーザ設定］ダイアログボックスの［処理オプション］をクリックして、［処理オプション］ダイアログボックスで行います。 ・イメージのみ ・テキストとイメージ ・グラフィックスとイメージ ・すべて
	プリンタ内部でトラブルが発生している	ディスプレイに「Ennn-nnnn」が表示されているときは、電源をいったんオフにし、10 秒以上待ってから電源をオンにしなおしてください。メッセージが消えることがあります。
		上記の操作をしてもメッセージが消えないときは、お買い求めの販売店に連絡し、修理を依頼してください。
同時に使用している他のLBP5400と色が合わない	工場出荷時のK(ブラック)またはY（イエロー)、M（マゼンタ）、C（シアン）のトナー濃度に若干のバラツキがある	K（ブラック）またはY（イエロー）、M（マゼンタ）、C（シアン）のトナー濃度を微調整します。(→カラーバランスを調整したいときには：P.2-35)
色ずれにより正しい色(指定した色)で印刷されない､カラーの文字がぼけて見える	トナーカートリッジが正しくセットされていない	トナーカートリッジが正しくセットされているか確認してください。(→トナーカートリッジを交換する：P.2-30)
	4色のトナーカートリッジのいずれかのトナー残量が少ない、またはトナーカートリッジ内のドラムが劣化している	ユーティリティメニューの「キャリブレーション」で色ずれを調整してください。(→色ずれの調整や濃度の制御をしたいときには：P.3-4)
		「トナー　ヨウイ」または「トナー　コウカン」のメッセージが表示されている色のトナーカートリッジを新品に交換します。(→トナーカートリッジを交換する：P.2-30)
	適切な用紙を使用していない	使用できる用紙に交換し､印刷しなおします。(→用紙について：P.2-2)
	電源投入時など、キャリブレーション終了前にデータを送った	ディスプレイに「00　インサツ　カノウ」や「00　LIPS」、「00　ESC/P」と表示されていることを確認して、印刷しなおします。

症状	原因	処置
細い線や塗りつぶしパターンの色が指定した色で印刷されない、または消えてしまう	色やパターンの組み合わせにより、再現されない場合がある	アプリケーションソフトで色を調整して、印刷しなおします。
		アプリケーションソフトでパターンを変更して、印刷しなおします。
	網点のパターンにより、色が違って見える	濃い色に変更して、印刷しなおします。
		用紙の送り方向を変えてセットし、印刷しなおします。
網かけパターンが正しい色（指定した色）で印刷されない	印刷データの網かけパターンとプリンタのディザパターンが干渉している	アプリケーションソフトで網かけパターンの設定をしないで、印刷しなおします。
		プリンタドライバで［カラー中間調］または［モノクロ中間調］の設定を［階調］や［色調］に変更します。 ［カラー中間調］または［モノクロ中間調］の設定は、［印刷品質］ページの［印刷品質］で［ユーザ設定］を選択し、［設定］をクリックして［ユーザ設定］ダイアログボックスで行います。
		プリンタドライバで［カラー中間調］または［モノクロ中間調］の設定を［誤差拡散］に変更します。 ［カラー中間調］または［モノクロ中間調］の設定は、［印刷品質］ページの［印刷品質］で［ユーザ設定］を選択し、［設定］をクリックして［ユーザ設定］ダイアログボックスで行います。
写真などの印刷でディスプレイの色と印刷の色が異なる	画面（RGB）とプリンタ（YMC）で色の調整方法が異なるため、印刷では、画面の色が忠実に再現できない場合がある	プリンタドライバで［イメージ］の［マッチング方法］を［モニタの色に合わせる］に設定します。 ［マッチング方法］の設定は、［印刷品質］ページの［色の設定を行う］にチェックマークを付け、［色設定］をクリックして［マッチング］ページで行います。
		プリンタドライバで［ガンマ補正］を調整します。 ［ガンマ補正］の設定は、［印刷品質］ページの［色の設定を行う］にチェックマークを付け、［色設定］をクリックして［マッチング］ページで行います。
グラデーションのかかった図形を印刷した場合に、グラデーションにすじが入る	図形の「すじ」のグレーの色の部分に、［グレー補償］が効いている	プリンタドライバで［グレー補償］を［使わない］に設定すると、印字不良（色ずれ）が軽減されることがあります。 ［グレー補償］の設定は、［印刷品質］ページの［印刷品質］で、［ユーザ設定］を選択して［設定］をクリックし、［ユーザ設定］ダイアログボックスにある［処理オプション］をクリックして、［処理オプション］ダイアログボックスで行います。
塗りつぶしパターンとパターンの枠線を同じ色に指定しても、正しい色（指定した色）で印刷されない	細い線をきれいに印刷するために、枠線の線幅によって特殊処理が行なわれることがある	プリンタドライバで［テキスト］と［グラフィックス］の［マッチング方法］の設定を同じにします。 ［マッチング方法］の設定は、［印刷品質］ページの［色の設定を行う］にチェックマークを付け、［色設定］ボタンをクリックして［マッチング］ページで行います。
		プリンタドライバで［ガンマ補正］の設定を調整します。 ［ガンマ補正］の設定は、［印刷品質］ページの［色の設定を行う］にチェックマークを付け、［色設定］ボタンをクリックして［マッチング］ページで行います。
Windowsからの出力で「すじ」が入ったり、部分的に色味が異なる図形が印刷される、または塗りつぶしなしの図形が透過されずに正しい色で印刷されない	拡大／縮小印刷により重ね合わせた部分がずれた、あるいはアプリケーションで複雑な重ね合わせを指定した	プリンタドライバで以下の設定を行います。 ［印刷品質］ページで［お気に入り］から［ビットマップ展開］を選択し、［印刷品質］の［設定］をクリックして、［モード詳細］を［高品質］に設定します。
カラーの文字がぼけて見える	カラーの文字に太いフォントを使用している	プリンタドライバで［マッチング方法］を［モニタの色に合わせる］に設定します。 ［マッチング方法］の設定は、［印刷品質］ページの［色の設定を行う］にチェックマークを付け、［色設定］をクリックして［マッチング］ページで行います。

症状	原因	処置
印刷する色によって印字位置がわずかにずれる	レーザプリンタは非常に精度の高い技術で作られていますが、印刷画像によっては、ごくわずかに色ずれが目立つ場合があります。これは、レーザプリンタの構造によるもので、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。	ユーティリティメニューの「キャリブレーション」で色ずれを調整してください。 （→色ずれの調整や濃度の制御をしたいときには：P.3-4）
		プリンタドライバで［グレー補償］を［使わない］に設定すると、印字不良（色ずれ）が軽減されることがあります。 ［グレー補償］の設定は、［印刷品質］ページの［印刷品質］で、［ユーザ設定］を選択して［設定］をクリックし、［ユーザ設定］ダイアログボックスにある［処理オプション］をクリックして、［処理オプション］ダイアログボックスで行います。
印刷した用紙の裏が汚れる	セットされている用紙サイズよりも大きなサイズの印刷データを送った	印刷データがセットされている用紙サイズに合っているか確認してください。
カラー印刷時に用紙の端がにじむ	［印字領域を広げて印刷する］にチェックマークが付いている	プリンタドライバで［印字領域を広げて印刷する］のチェックマークを消して、印刷します。 ［印字領域を広げて印刷する］の設定は、［仕上げ］ページの［仕上げ詳細］をクリックして［仕上げ詳細］ダイアログボックスで行います。
文字や線のまわりにコンピュータのディスプレイ上にはない四角い領域が現れて、他と異なる色で印字される	OS やアプリケーションソフトによっては、設定した中間調処理や色処理と異なる処理が行われる場合がある	プリンタドライバで［グレー補償］の設定を［すべて］または［使わない］に設定します。 ［グレー補償］の設定は、［印刷品質］ページの［印刷品質］で、［ユーザ設定］を選択して［設定］をクリックし、［ユーザ設定］ダイアログボックスにある［処理オプション］をクリックして、［処理オプション］ダイアログボックスで行います。
		プリンタドライバで［カラー中間調］または［モノクロ中間調］の設定を［高解像度］、［解像度］、［階調］、［色調］のいずれかに設定します。 ［カラー中間調］または［モノクロ中間調］の設定は、［印刷品質］ページの［印刷品質］で［ユーザ設定］を選択し、［設定］をクリックして［ユーザ設定］ダイアログボックスで行います。
		プリンタドライバで［テキスト］、［グラフィックス］、［イメージ］の［マッチング方法］を同じ設定にします。 ［マッチング方法］の設定は、［印刷品質］ページの［色の設定を行う］にチェックマークを付け、［色設定］ボタンをクリックして［マッチング］ページで行います。
カラーの線や文字がかすれる	細い線や文字を使用している	プリンタドライバで［色付きの線や文字を優先して印刷する］にチェックマークを付けます。 ［色付きの線や文字を優先して印刷する］の設定は、［印刷品質］ページの［印刷品質］で、［ユーザ設定］を選択して［設定］をクリックし、［ユーザ設定］ダイアログボックスにある［処理オプション］をクリックして、［処理オプション］ダイアログボックスで行います。

プリンタが動作しない・印刷できないときには

本プリンタが動作しない、キー操作ができない、データ送信できないなど正常に動作しないときは、以下の確認を行ってください。

症状	原因	処置
電源が入らない	電源プラグが電源コンセントから抜けている	電源プラグを電源コンセントに差し込みます。
	延長コードを使用したりタコ足配線をしている	壁の電源コンセントに直接電源プラグを差し込みます。
	ブレーカが落ちている	配電盤のブレーカをオンにします。
	電源コード内部で断線している	同じタイプの他の装置に使用している電源コードに交換してみて、電源が入るようであれば電源コード内部の断線です。新しい電源コードを購入の上交換してください。
プリンタが動かない	オフラインになっている	［オンライン］を押し、オンラインランプを点灯します。（→ユーザーズガイド「第 2 章 プリンタの使いかた」）
	メモリ内にデータが残っている（ジョブランプが点灯している）	［オンライン］を押してオフラインにし、リセットメニューで「ハイシュツ」を選択してメモリ内に残っているデータを出力します。（→印刷の中止方法：P.1-6）
	インタフェースケーブルが外れている	インタフェースケーブルをコンピュータおよびプリンタ本体のインタフェース接続部にしっかりと接続します。（→設置ガイド「第 2 章 プリンタの設置」）
	本プリンタやオプション品に故障がある	ディスプレイのメッセージを見て、処置します。（→こんなメッセージが表示されたら：P.3-15）
プリントサーバのランプがすべて消灯している	LAN ケーブルが正しく取り付けられていない、または断線している	LAN ケーブルを一度取り外し、接続しなおします。
		他の LAN ケーブルに交換し、接続しなおします。
	ハブの UP-LINK（カスケード）ポートに接続している	ハブの“X”マークのあるポートに接続しなおします。
		ハブに UP-LINK（カスケード）スイッチがある場合は、“X”側に切り替えます。
	クロスタイプの LAN ケーブルを使っている	ストレートタイプの LAN ケーブルと交換します。
		クロスタイプの LAN ケーブルをハブの UP-LINK（カスケード）ポートに接続します。ハブに UP-LINK（カスケード）スイッチがある場合は“=”側にします。
	ハブと通信できない	ハブの電源がオンになっていることを確認します。
		接続したハブの通信速度に合わせてプリントサーバの通信設定をします。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）
		ハブを交換します。
	プリントサーバのハードウェアに異常がある	お買い求めの販売店に状況を連絡してください。
印刷が途中で止まってしまった	メモリ内にデータが残っている（ジョブランプが点灯している）	［オンライン］を押してオフラインにし、リセットメニューで「ハイシュツ」を選択してメモリ内に残っているデータを出力します。（→印刷の中止方法：P.1-6）
操作パネルのランプがつかない	電源がオンになっていない	電源をオンにしてください。
	スリープモードになっている	印刷データを送るか、操作パネルのキーをどれか押すと印刷可能な状態に戻ります。
操作パネルのキーが機能しない	メモリ内にデータが残っている（ジョブランプが点灯している）	［オンライン］を押してオフラインにし、リセットメニューで「ハイシュツ」を選択します。（→印刷の中止方法：P.1-6）
	キーロック機能が働いている（キーを押すとピーという警告音が鳴り、ディスプレイに「キー　ロック　チュウ」と表示される）	リモート UI からキーロック機能を解除します。プリンタの管理者にご連絡ください。

症状	原因	処置
印刷するたびに紙づまりが起こる	給紙カセットや手差しトレイにセットした用紙が積載制限を超えている	用紙を積載制限の範囲内まで減らし、印刷しなおしてください。（→給紙カセットに用紙をセットして印刷する：P.2-6、手差しトレイに用紙をセットして印刷する：P.2-11）
	給紙カセットや手差しトレイに用紙が正しくセットされていない	用紙を正しくセットしなおし、印刷しなおしてください。（→給紙カセットに用紙をセットして印刷する：P.2-6、手差しトレイに用紙をセットして印刷する：P.2-11）
	給紙カセットや手差しトレイに使用できない用紙がセットされている	使用できる用紙に交換し、印刷しなおしてください。（→用紙について：P.2-2）
	LIPS LX プリンタドライバを使用して、「手差しトレイ用紙サイズ」、「カセット 1 用紙サイズ」、「カセット 2 用紙サイズ」が「フリー」のときに、長辺が 215.9mm 以下のユーザ設定用紙を縦置きにセットして印刷した	横置きにセットして印刷しなおします。
	LIPS LX プリンタドライバを使用せずに、ユーザ設定用紙を横置きにセットして印刷した	縦置きにセットして印刷しなおします。
	紙づまり処理が不完全である	紙づまりを除去し、印刷しなおしてください。（→紙づまりが起こったときには：P.3-5）
ハードディスクが使えない	セットアップメニューの拡張機能グループの「ハードディスク」が「ツカワナイ」に設定されている	「ハードディスク」を「ツカウ」に設定してからハードリセットしてください。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）
	ハードディスクエラーが発生した	セットアップメニューのユーザメンテナンスグループの「HDD　メンテナンス」でフォーマットを実行してください。同様のエラーが発生する場合は、ハードディスクを交換してください。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）
	ハードディスクが正しく装着されていない	電源をオフにし、ハードディスクが正しく取り付けられているか確認してください。（→ハードディスク：P.4-9）
	ハードディスクの空き容量が足りず、ハードディスクに保存できない	ハードディスクに保存してあるジョブのうち、不要なジョブを削除してください。
ジョブが保存できない	ハードディスクの空き容量が足りず、ハードディスクに保存できない	［オンライン］を押すと、印刷データを無視して印刷可能な状態に戻ります。合計 2GB を超えるデータを保存することはできません。
	保存できるジョブ数を超えた	［オンライン］を押すと、印刷データを無視して、印刷可能な状態に戻ります。同時に保存できるのは、100 個までです。
		ハードディスクに保存してあるジョブのうち、不要なジョブを削除してください。
	保存できるジョブの容量を超えた	［オンライン］キーを押すと、印刷データを無視して、印刷可能な状態に戻ります。2GB を超える印刷を保存することはできません。
		ハードディスクに保存してあるジョブのうち、不要なジョブを削除してください。

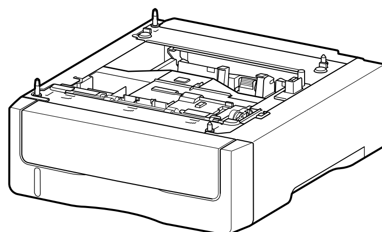
オプションの設置

Chapter

4

ペーパーフィーダ

ペーパーフィーダは、プリンタ本体の底面に取り付けて使用します。



ペーパーフィーダユニットPF-93

プリンタ本体を移動する

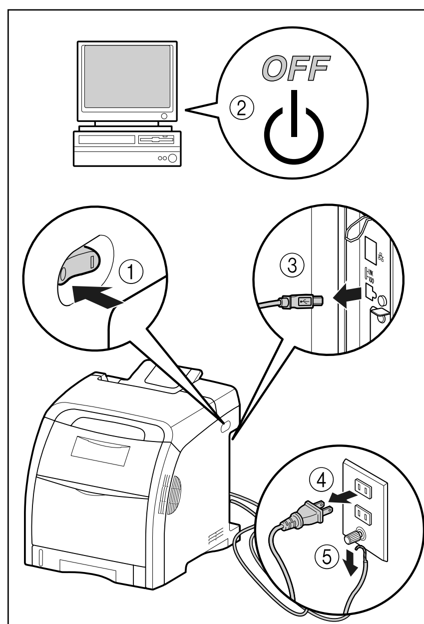
プリンタ設置後に、ペーパーフィーダを取り付けるときは、次の手順でプリンタをいったん適切な場所に移動させます。

1 次の操作を行います。

プリンタの電源をオフにします①。
USB ケーブルを接続している場合は、コンピュータの電源をオフにして②、USB ケーブルを抜きます③。
電源プラグを電源コンセントから抜きます④。
アース線を専用のアース線端子から取り外します⑤。

ハードディスクを使用している場合は、リセットメニューでシャットダウンを行ってから電源をオフにしてください。

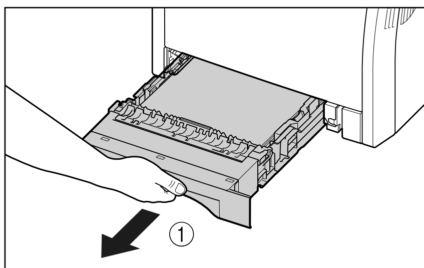
ハードディスクを使用していない場合は、ジョブランプが消灯していることや、ディスプレイを見て印刷中でないことを確認してください。



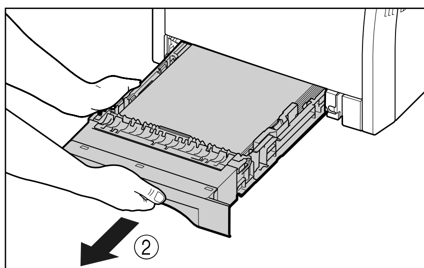
2 すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外します。

3 給紙カセットを引き出します。

給紙カセットをゆっくりと引き出します①。

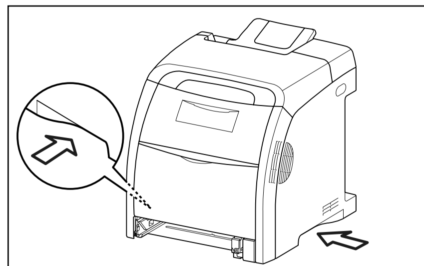


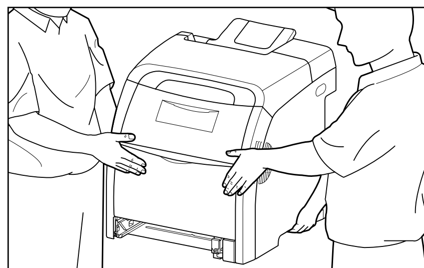
図のように両手で持って、プリンタ本体から取り外します②。



4 プリンタ本体を設置場所から移動します。

プリンタ本体下部にある運搬用取っ手の中央部に 2 人以上で手を掛け、同時に持ち上げて運びます。



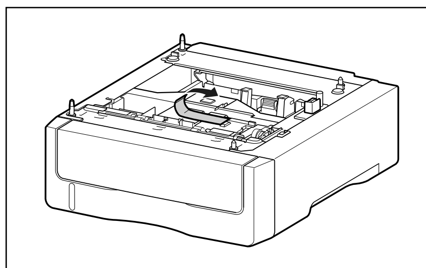


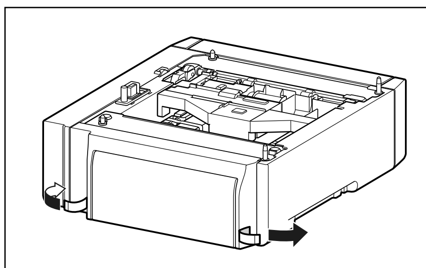
梱包材を取り外し、ペーパーフィーダを取り付ける

ペーパーフィーダは、プリンタ本体の底面に取り付けます。

* 梱包材は予告なく位置・形状が変更されたり、追加や削除されることがあります。

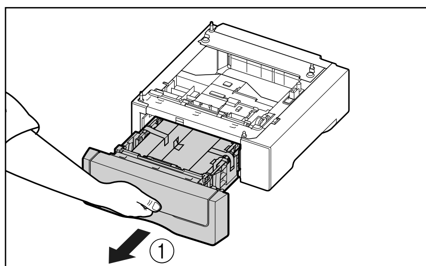
1 ペーパーフィーダに貼られているテープ（3 箇所）を取り外します。



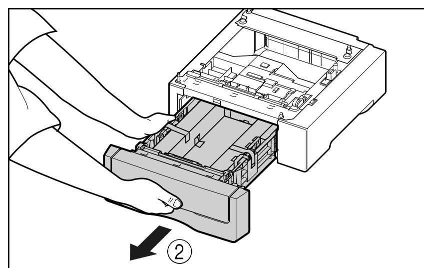


2 ペーパーフィーダから、給紙カセットを引き出します。

給紙カセットをゆっくりと引き出します①。

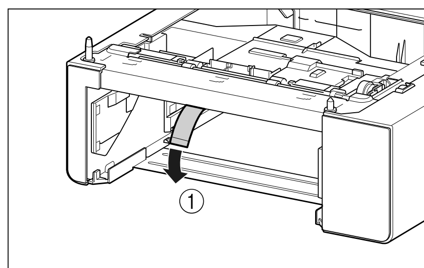


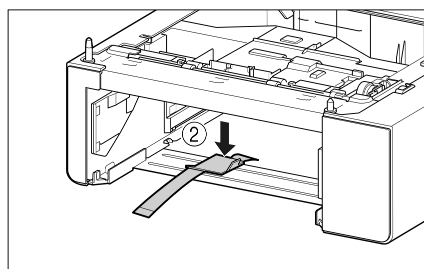
図のように両手で持って、ペーパーフィーダから取り外します②。



3 ペーパーフィーダ内部のテープ付き梱包材を取り外します。

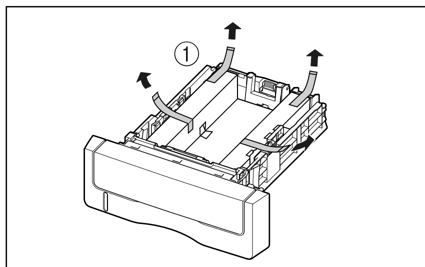
テープをはがし①、テープと 梱包材を同時に取り外します②。

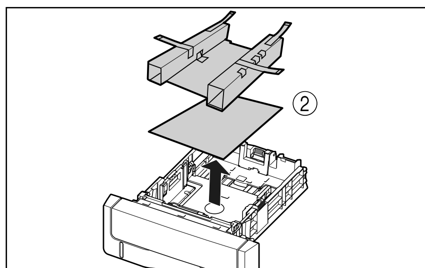




4 給紙カセットのテープ付き梱包材と白紙を取り出します。

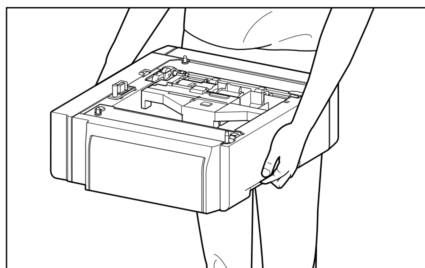
テープをはがし①、テープと梱包材を同時に取り外します②。





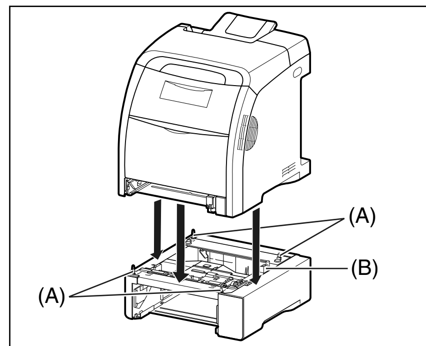
5 ペーパーフィーダを設置場所に置きます。

ペーパーフィーダを持ち運ぶときは、両手で左右の運搬用取っ手を持って運んでください。



6 プリンタ本体をペーパーフィーダの両側面や前面に合わせてゆっくりと載せます。

プリンタ本体を載せるときは、位置決めピン（A）やコネクタ（B）も合わせてください。



7 給紙カセットをプリンタ本体、ペーパーフィーダにセットします。

8 USB ケーブル以外のインタフェースケーブルや電源コード、アース線を接続します。

9 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

10 USB ケーブルを接続します。

Point

ペーパーフィーダを装着した後は、プリンタドライバの［デバイスの設定］ページでオプション機器の設定が必要になります。［デバイスの設定］ページの［デバイス情報取得］をクリックすると、プリンタのオプション情報が自動的に取得できます。

RAM/ROM

拡張 RAM、コントロール ROM は、プリンタ背面のメインボードに取り付けて使用します。
取り付けたあと、必要に応じて RAM や ROM を設定します。

RAM/ROM を取り付ける

RAM/ROM は、次の手順でプリンタ本体のメインボードに取り付けます。取り付け作業には、プラスドライバが必要です。あらかじめネジに合ったサイズのものをご用意ください。

Check!

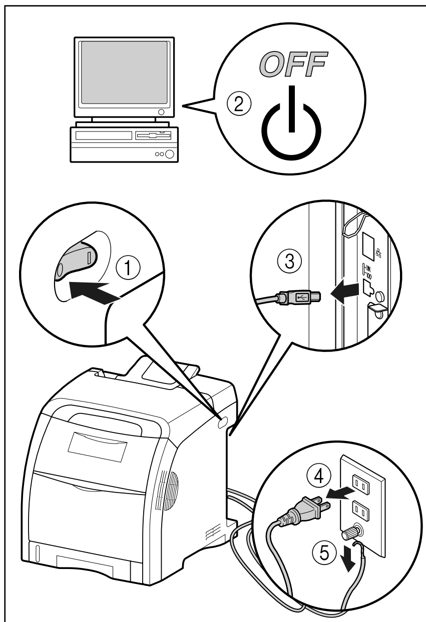
コントロール ROM を取り付けるとハードディスクの機能は使用できません。ハードディスクの機能を使用する場合は、コントロール ROM は取り付けないでください。

1 次の操作を行います。

プリンタの電源をオフにします ①。
USB ケーブルを接続している場合は、コンピュータの電源をオフにして ②、USB ケーブルを抜きます ③。
電源プラグを電源コンセントから抜きます ④。
アース線を専用のアース線端子から取り外します ⑤。

ハードディスクを使用している場合は、リセットメニューでシャットダウンを行ってから電源をオフにしてください。

ハードディスクを使用していない場合は、ジョブランプが消灯していることや、ディスプレイを見て印刷中でないことを確認してください。

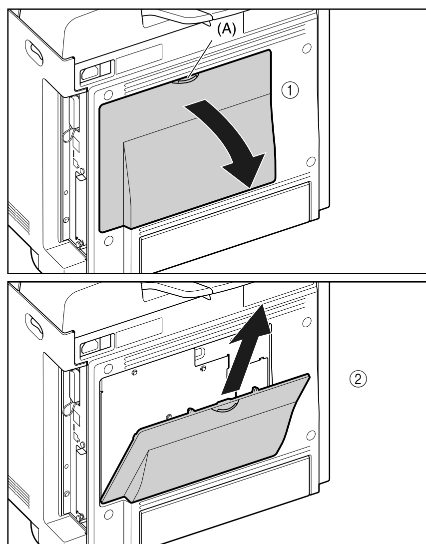


2 すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外します。

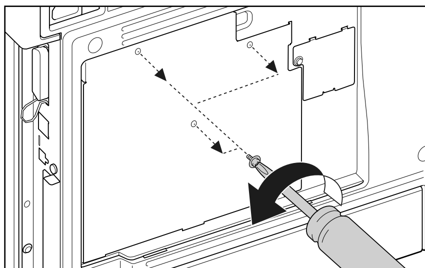
作業用スペースが十分とれない場合は、作業しやすい場所にプリンタを移動します。

3 後カバーを取り外します。

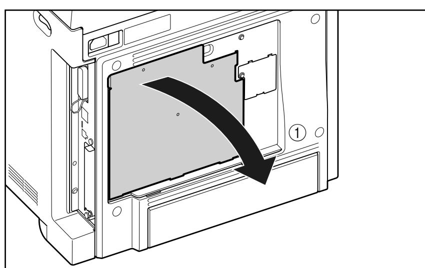
後カバーは取っ手（A）を持って開けてから ①、取り外します ②。

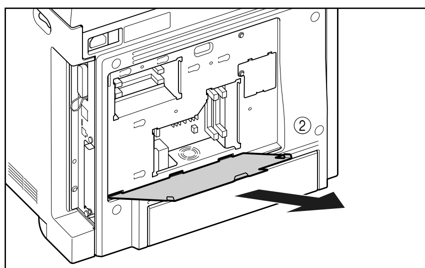


4 3本のネジを取り外します。

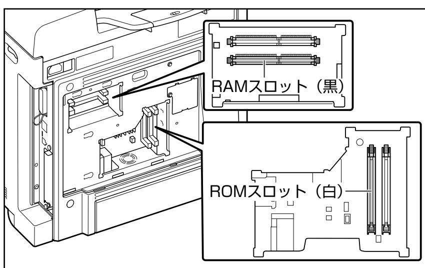


5 スロットカバーを取り外します。





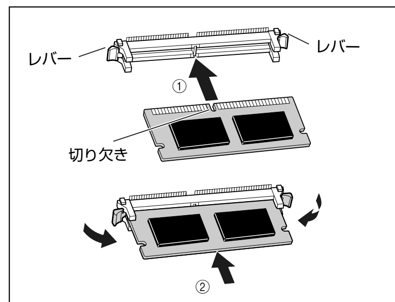
RAM や ROM の取り付ける位置は以下のとおりです。取り付け位置を確認してから RAM や ROM を取り付けてください。



6 RAM や ROM を取り付けます。

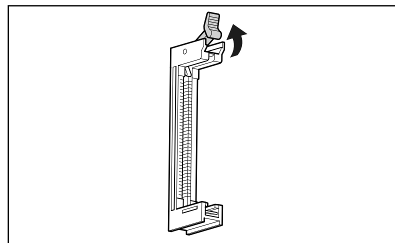
● RAM を取り付ける場合

a 黒色のRAM スロットへ図のように切り欠きに合わせて差し込み ①、奥までしっかりと押し込みます ②。

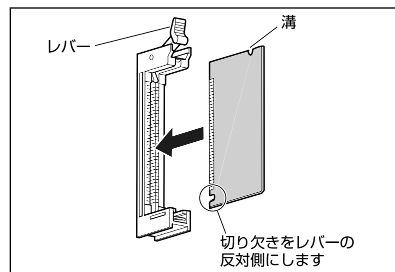


● ROM を取り付ける場合

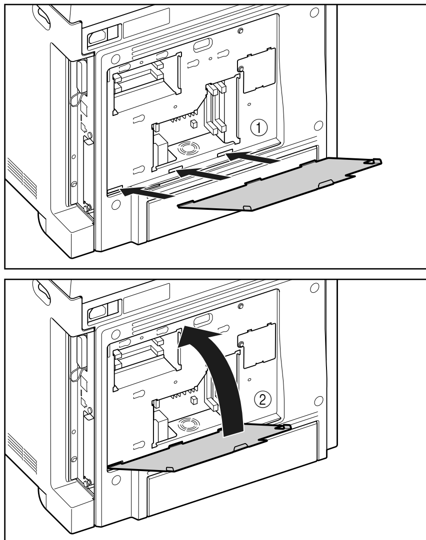
a 白色のROM スロットのレバーを押し下げます。



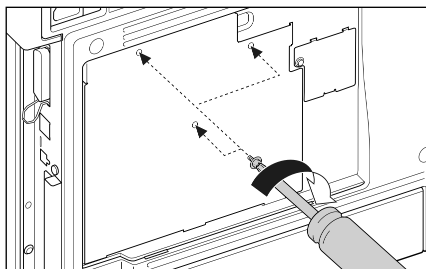
b ROM の切り欠きをレバーの反対側にしてスロットガイドに合わせて差し込み、奥までしっかりと押し込みます。



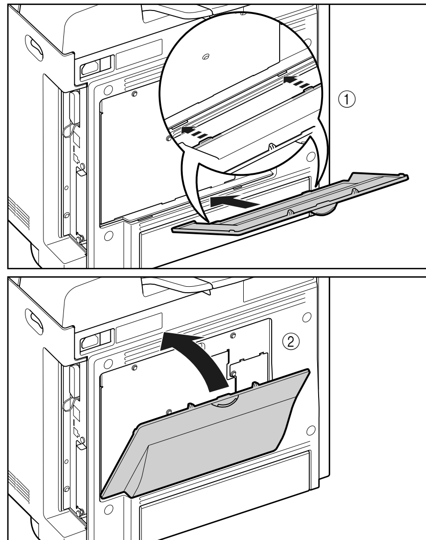
7 スロットカバーの突起をプリンタ背面の溝に差し込んで ①、スロットカバーを取り付けます ②。



8 3 本のネジで固定します。



9 後カバーの突起をプリンタ背面の溝に差し込んで ①、後カバーをカチッと音がするまで取り付けます ②。



10 USB ケーブル以外のインタフェースケーブルや電源コード、アース線を接続します。

11 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

12 USB ケーブルを接続します。

RAM/ROM の設定について

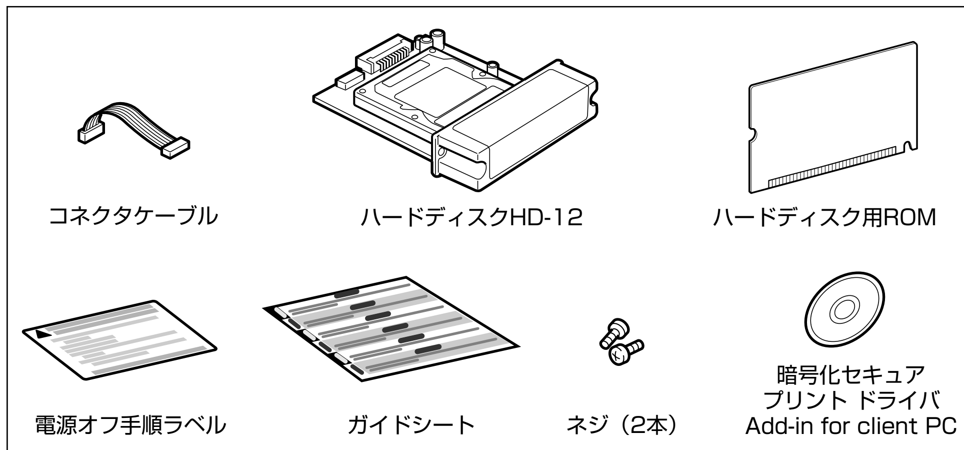
RAM や ROM を取り付けたあとは、必要に応じて次の設定を行ってください。

拡張 RAM → 必要に応じてメニューの印字調整グループの設定を行ってください。

コントロール ROM → メニュー機能で設定します。

ハードディスク

ハードディスクは、プリンタ背面の拡張ボードスロットに取り付けます。取り付け作業を始める前に、パッケージに以下のものがすべて揃っているか確認してください。万一、不足しているものや破損しているものがあった場合は、お買い求めの販売店までご連絡ください。



Check!

コントロール ROM を取り付けている場合は、ハードディスクの機能は使用できません。ハードディスクの機能を使用する場合は、コントロール ROM を取り外してください。

ハードディスクを取り付ける

ハードディスクとハードディスク用 ROM は、次の手順でプリンタ本体のメインボードに取り付けます。ハードディスクとハードディスク用 ROM の取り付け作業には、プラスドライバが必要です。あらかじめネジに合ったサイズのものをご用意ください。

Point

ハードディスクの取り付け後には「パネル設定初期化」を行いますので、プリンタの設定を変更している場合は、ハードディスクの取り付け作業を行う前に、ステータスプリントを出力してプリンタの設定状況を確認・保存しておいてください。ステータスプリントの出力方法は、設置ガイド「第４章 プリンタの動作を確認する」を参照してください。

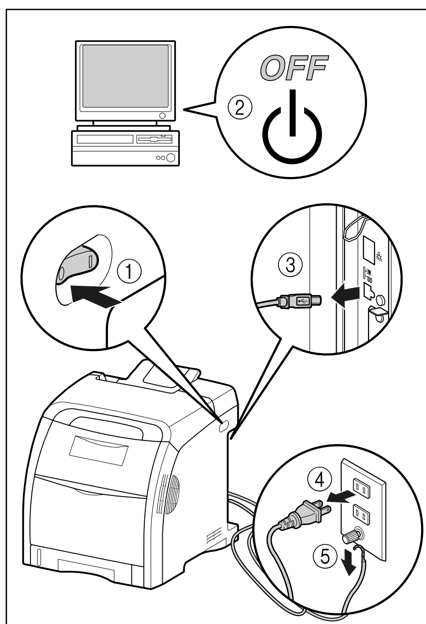
1 次の操作を行います。

プリンタの電源をオフにします ①。

USB ケーブルを接続している場合は、コンピュータの電源をオフにして ②、USB ケーブルを抜きます ③。

電源プラグを電源コンセントから抜きます ④。

アース線を専用のアース線端子から取り外します ⑤。

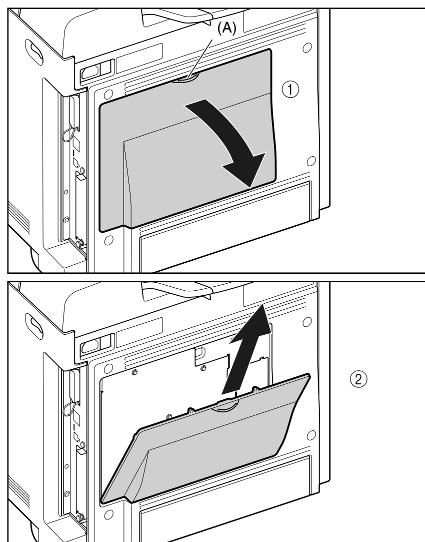


2 すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外します。

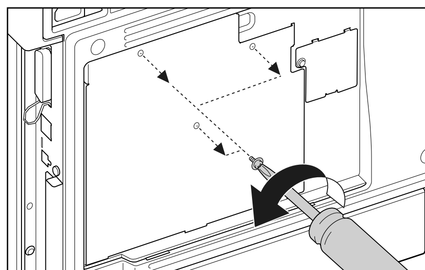
作業用スペースが十分とれない場合は、作業しやすい場所にプリンタを移動します。

3 後カバーを取り外します。

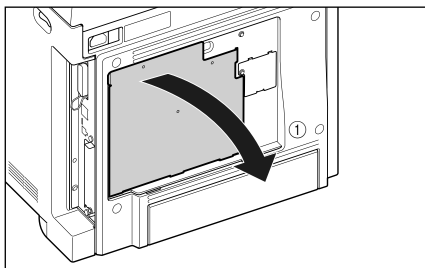
後カバーは取っ手（A）を持って開けてから ①、取り外します ②。

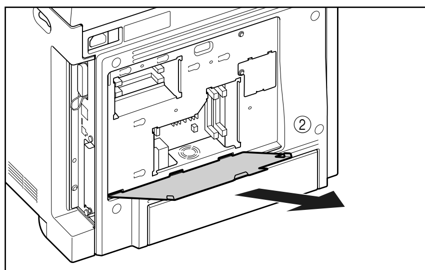


4 ３本のネジを取り外します。

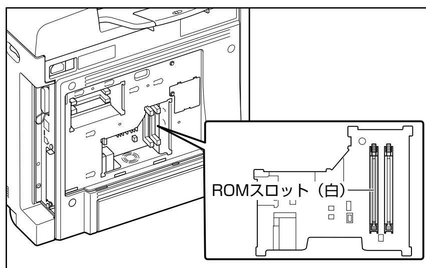


5 スロットカバーを取り外します。

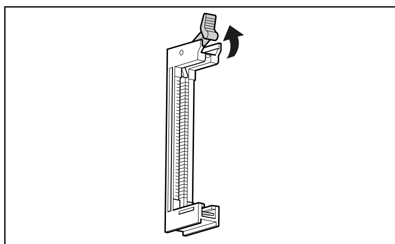




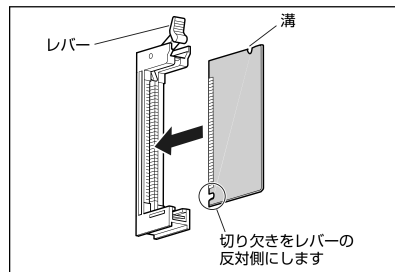
ハードディスク用 ROM の取り付ける位置は以下のとおりです。取り付け位置を確認してからハードディスク用 ROM を取り付けてください。



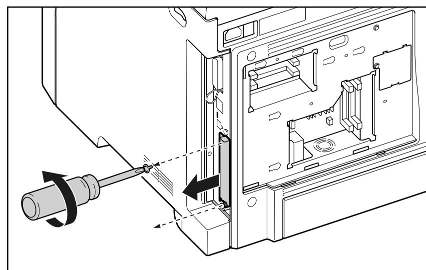
6 白色のハードディスク用 ROM スロットのレバーを押し下げます。



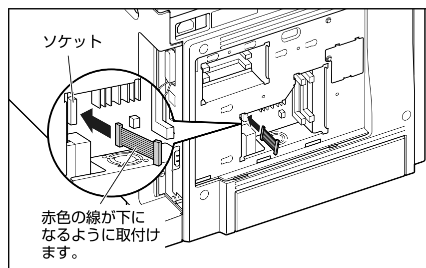
7 ROM の切り欠きをレバーの反対側にしてスロットガイドに合わせて差し込み、奥までしっかりと押し込みます。



8 ネジを外して、拡張ボードスロットの保護板を取り外します。

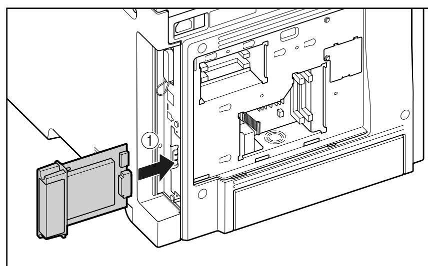


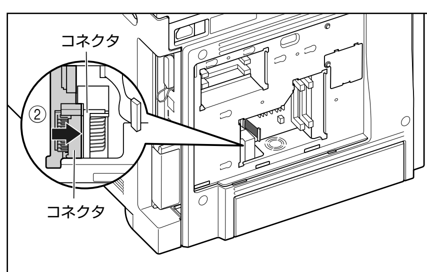
9 ハードディスクに付属のコネクタケーブルをメインボードのソケットへ差し込みます。



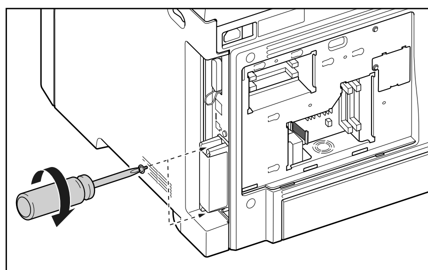
10 ハードディスクを拡張ボードスロットに差し込み ①、コネクタが合うようにしっかりと差し込みます ②。

ハードディスクは、金属製のカバー部分を持ち、拡張ボードスロット内部のスロットガイドに合わせて差し込みます。

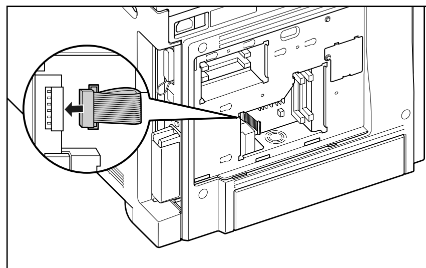




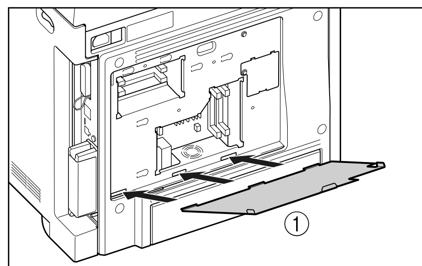
11 ハードディスクの上下を、付属の2本のネジで固定します。

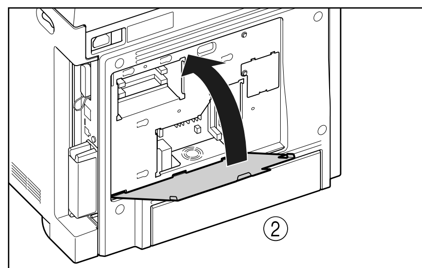


12 コネクタケーブルの青色のコネクタをハードディスクの青色のソケットへ差し込みます。

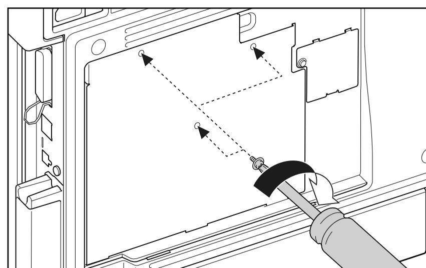


13 スロットカバーの突起をプリンタ背面の溝に差し込んで ①、スロットカバーを取り付けます ②。

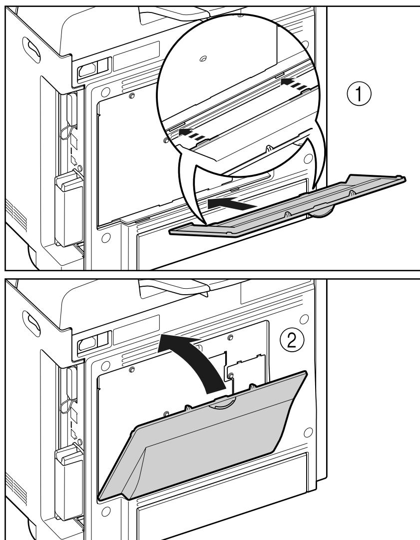




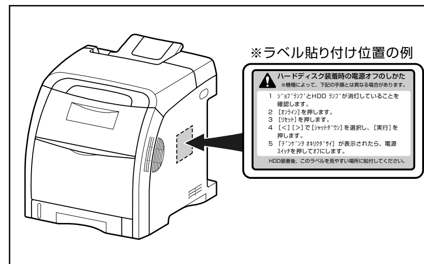
14 3 本のネジで固定します。



15 後カバーの突起をプリンタ背面の溝に差し込んで ①、後カバーをカチッと音がするまで取り付けます ②。



16 ハードディスクに同梱されている「電源オフ手順ラベル」をプリンタ本体の見やすい場所に貼り付けます。



17 電源コード、アース線を接続します。

18 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

19 電源スイッチの“I”側を押して、プリンタの電源をオンにします。

20 以降の手順で「パネル設定初期化」を行います。

[セットアップ] を押します。

ｾｯﾄｱｯﾌﾟ
↓
ｶｸﾁｮｳ ｷﾉｳ →

▼

[ユーティリティ] または [セットアップ] で「パネル　セッテイ　ショキカ」を選択し、[OK] を押します。

ﾊﾟﾈﾙ ｾｯﾃｲ ｼｮｷｶ →
↓
ｼﾞｯｺｳｼﾏｽｶ?

▼

[OK] を押します。

ｼｮｷｶ ﾁｭｳ
↓
ｼｮｷｶ ｼｭｳﾘｮｳ

パネル設定初期化の実行時に、「ショキカ デキマセンデシタ」と表示された場合は、初期化は行われていません。

21 初期化終了後、ハードリセットまたはプリンタの電源を入れなおします。

プリンタの起動後、ハードディスクのフォーマットが行われます。

ハードディスクのフォーマット中は、ディスプレイに「FORMATTING」と表示されます。フォーマットが終了するまで、しばらくお待ちください。
ハードディスクのフォーマットが終了したら、すべてのインタフェースケーブルを接続します。

Point

ハードディスクを装着した後は、プリンタドライバの［デバイスの設定］ページでオプション機器の設定が必要になります。［デバイスの設定］ページの［デバイス情報取得］をクリックすると、プリンタのオプション情報が自動的に取得できます。

お役立ち情報

Chapter

5

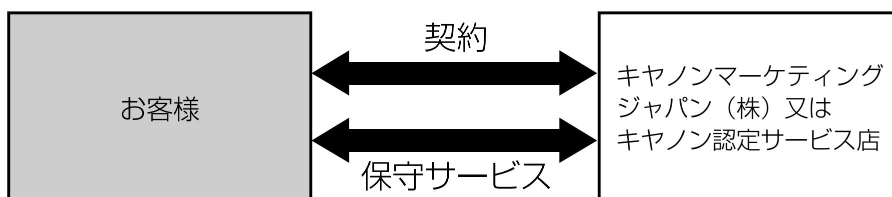
保守サービスのご案内

●ご購入製品をいつまでもベストの状態でご使用いただくために

このたびはレーザビームプリンタをご購入いただき誠にありがとうございます。さて、毎日ご愛用いただくレーザビームプリンタの保守サービスとして、「キヤノン保守契約制度」と「キヤノンサービスパック」を用意しています。これらはキヤノン製品を、いつも最高の状態で快適に、ご使用いただけますように充実した内容となっており、キヤノン認定の「サービスエンジニア」が責任をもって機能の維持管理等、万全の処置を行います。お客様と、キヤノンをしっかりとつなぐ保守サービスで、キヤノン製品を末永くご愛用賜りますようお願い申しあげます。

キヤノン保守契約制度とは

キヤノン製品をご購入後、定められた無償修理保証期間中に万一発生したトラブルは無償でサービスを実施します。保守契約制度とは、この無償保証期間の経過後の保守サービスを所定の料金で実施するシステムです。（製品により無償修理保証期間が異なります。また、一部無償修理保証期間を設けていない製品もあります。）



キヤノン保守契約制度のメリット

●都度の修理料金は不要

保守契約料金には、訪問料、技術料、部品代が含まれています。

万一のトラブル時も予期せぬ出費が発生することがありません。

●保守点検の実施

お客様のご要望により、機器の保守点検を追加できます。（別途、有料となります。）

キヤノンサービスパックとは

キヤノン製品を長期間にわたって、安心してご使用いただくための保守サービスを、お手軽にご購入できるようパッケージ化した新しいタイプのサービス商品です。対象のキヤノン製品をご購入後、3 年間、4 年間、5 年間のタイプを用意しています。（無償修理保証期間を含みます）

キヤノンサービスパックのメリット

●簡単登録

従来の保守契約とは違い、面倒な手続きは一切不要。キヤノンサービスパックを購入後、登録カードをご送付いただくだけで手続きは完了します。

●電話一本

万一のトラブルが発生したときは、キヤノンサービスコールセンターにお電話にてお客様 ID とトラブルの内容をお知らせいただくだけで、迅速に対応します。

●固定料金

キヤノンサービスパックのご購入料金が、期間中のサービス料金に相当します。予期せぬ出費が防げるため、予算計画も立てやすくなります。

キヤノンサービスパックのサービス範囲

故障時の修理・調整：	故障が発生した場合、その修理・調整をおこないます。
修理料：	修理時に発生する訪問料金・技術料・部品代はキヤノンサービスパック料金に含まれます。（消耗品およびキヤノン指定の部品は対象外となります）
保守期間：	対象製品購入後、3年間、4年間、5年間です。（保証期間を含みます）

なお、天災、火災、第三者の改造等に起因するトラブルや消耗品代、キヤノン指定の部品代は、「キヤノン保守契約制度」と「キヤノンサービスパック」ともに対象外となります。

「キヤノン保守契約制度」と「キヤノンサービスパック」に関するお申し込み、お問合せはお買い上げの販売店もしくはキヤノンマーケティングジャパン（株）までお願いいたします。

キヤノンサービスパックの登録有効期間は、本体ご購入後 90 日以内となります。

補修用性能部品

本機の補修用性能部品の最低保有期間は、本機製造打ち切り後 7 年間です。

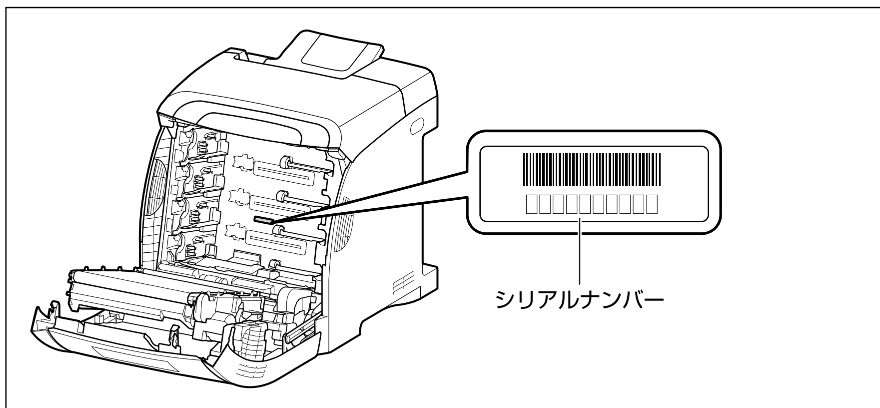
無償保証について

- 本製品の無償保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。
- 無償保証の保守サービスをお受けになるためには、本製品に同梱の保証書が必要です。あらかじめ保証書の記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

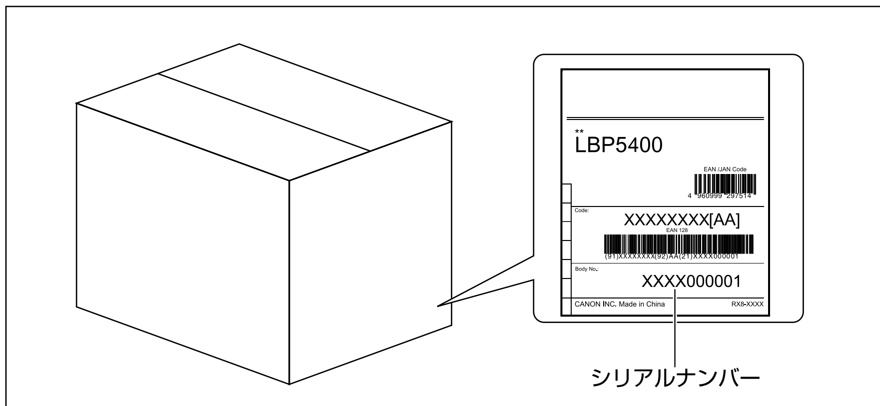
シリアルナンバーの表示位置について

本プリンタの保守サービスをお受けになるときは、シリアルナンバー (Serial No.) が必要になります。本プリンタのシリアルナンバーは、下図の位置に表示されています。

●本体内部



●梱包箱外側



ソフトウェアのバージョンアップについて

プリンタドライバなどのソフトウェアに関しては、今後、機能アップなどのためのバージョンアップが行われることがあります。バージョンアップ情報およびソフトウェアの入手窓口は次のとおりです。ソフトウェアのご使用にあたっては、各使用許諾契約の内容について了解いただいたものとさせていただきます。

情報の入手方法

インターネットを利用して、バージョンアップなど、製品に関する情報を引き出すことができます。通信料金はお客様のご負担になります。

●キヤノンホームページ (http://canon.jp/)

商品のご紹介や各種イベント情報など、さまざまな情報をご覧いただけます。

ソフトウェアの入手方法

ダウンロードにより、プリンタドライバなどの最新のソフトウェアを入手することができます。通信料金はお客様のご負担になります。

●キヤノンホームページ (http://canon.jp/)

キヤノンホームページにアクセス後、ダウンロードをクリックしてください。

消耗品

本プリンタでは、消耗品として以下のものが用意されています。消耗品は、本プリンタをお買い求めの販売店などでお買い求めください。

消耗品は、以下の表の記載を目安に交換してください。ただし、プリンタの設置環境や印刷する用紙サイズにより、記載の寿命より早く交換が必要になる場合があります。

消耗品	交換の目安	用途
トナーカートリッジ	• Canon Cartridge 311 Black （キヤノン　トナーカートリッジ　３１１　ブラック）：約 6,000 ページ • Canon Cartridge 311 Yellow （キヤノン　トナーカートリッジ　３１１　イエロー）：約 6,000 ページ • Canon Cartridge 311 Magenta （キヤノン　トナーカートリッジ　３１１　マゼンタ）：約 6,000 ページ • Canon Cartridge 311 Cyan （キヤノン　トナーカートリッジ　３１１　シアン）：約 6,000 ページ	印刷するデータを現像して転写するための部品です。（→ トナーカートリッジを交換する：P.2-30）

設置場所について

本プリンタを安全かつ快適にご使用いただくために、「設置環境」に記載されている「温度／湿度条件」、「電源条件」、「設置条件」を満たした場所に設置してください。

設置環境

本プリンタの設置場所は、次の環境条件を考慮の上、お選びください。

温度／湿度条件

温度、湿度が次の範囲内の場所でご使用ください。

- 周囲温度：10 ～ 30 ℃
- 周囲湿度：10 ～ 80%RH（結露のないこと）

●超音波加湿器をご使用のお客様へ

超音波加湿器をご使用の際に、水道水や井戸水をご使用になりますと、水中の不純物が大気中に放出され、プリンタの内部に付着して画像不良の原因となります。ご使用の際には、純水など不純物を含まない水のご使用をおすすめします。

電源条件

本プリンタの最大消費電力は 1010W* 以下です（AC100V ± 10%、50/60Hz ± 2Hz)。電気的なノイズや許容範囲を超える電源電圧の降下は、本プリンタだけでなく、コンピュータ本体の誤作動やデータ消失の原因になることがあります。

＊この値は、フルオプション装着状態の値で、起動時の瞬間的なピークを除いた値です。

電源を接続するときは、次の事項をお守りください。

- 必ず 15A 以上の電源コンセントに、プリンタの電源を接続してください。
- アース線を接続してください。

お使いの電源について不明な点があれば、ご契約の電力会社またはお近くの電気店などにご相談ください。

設置条件

本プリンタは、次のような場所に設置してください。

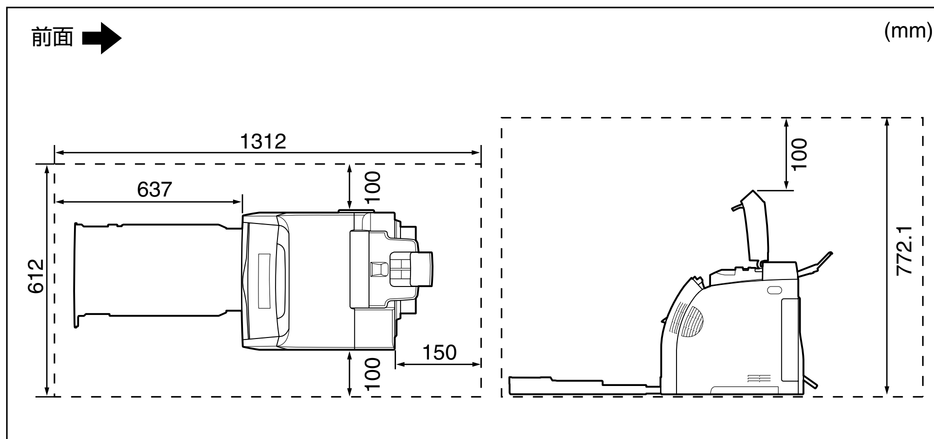
- 十分なスペースが確保できる場所
- 風通しがよい場所
- 平坦で水平な場所
- 本プリンタおよびオプション品の質量に耐えられる十分な強度のある場所

設置スペース

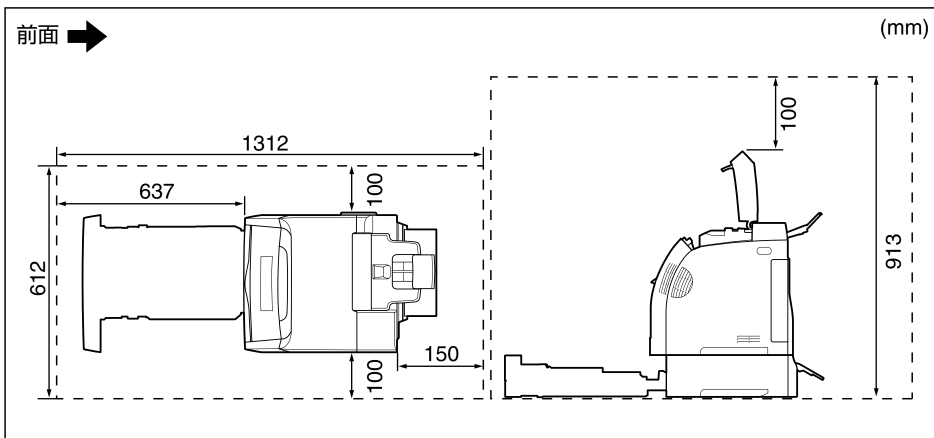
本プリンタの周囲には、次のような空間を確保し、本プリンタの質量に耐えられる場所を選んで設置してください。周囲に必要な寸法、足の位置は次のようになっています。

周囲に必要なスペース

●標準状態

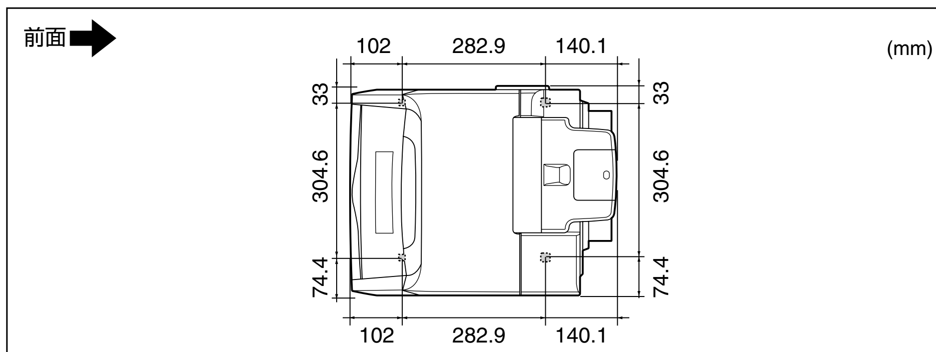


●ペーパーフィーダ装着状態

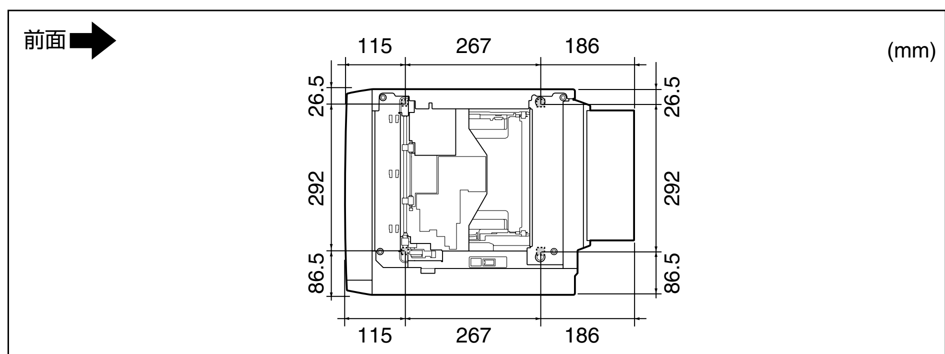


足の位置

●プリンタ本体



●ペーパーフィーダユニット PF-93



メニュースタートアップ

ジョブキャンセルメニュー

現在データ受信中およびデータ処理中のジョブをキャンセルします。

※ジョブキャンセルメニューの詳細については、取扱説明書CD-ROMに収められているLIPS機能ガイド 第2章「メニューの機能と操作」を参照してください。

ジョブメニュー MAP D

セキュアプリントやボックスに保存したジョブの操作、各種の履歴リストを印刷します。

セットアップメニュー MAP A MAP B MAP C

レイアウトの調整や、拡大／縮小など、印刷するときの環境を設定します。

オンライン ジョブキャンセル 給紙選択 印刷可 メッセージ HDD ジョブ ユーティリティ OK セットアップ リセット

給紙選択メニュー MAP D

給紙カセットと手差しトレイのどちらから印刷するのかや、用紙のサイズを設定します。

ユーティリティメニュー MAP D

プリンタの現在の設定内容などの内部情報を印刷します。

リセットメニュー MAP D

プリンタのリセット操作や印刷データの排出、シャットダウン操作を行います。

各メニューを表示したあとのメニュー項目（内容）については、該当する MAP A から MAP D を参照してください。

ルートマップの見かた

拡張機能 ←キー操作
←「グループ」の階層をあらわしています。
スリープモード ←「設定項目」の階層をあらわしています。
P.3-10 ←取扱説明書CD-ROMに収められているLIPS機能ガイドのページ数をあらわしています。
使う 使わない パネルオフ ←「設定値」の階層をあらわしています。アミがかかっている設定値は、工場出荷時の値をあらわしています。

●ルートマップ中の「▪▪▪▪」は、設定値を省略していることをあらわしています。

●「＊」印の設定項目や設定値は、オプションの有無や他の設定項目の内容によって表示されるときと、表示されないときがあります。詳しくは取扱説明書CD-ROMに収められているLIPS機能ガイドを参照してください。

●キー操作について
メニュー項目の指定は、操作パネルの
ⓐⓥⓛⓡ と［OK］の5つのキーを使って操作します。
ⓐ 上の項目に戻る。
ⓥ 下の項目に進む。または項目を決定する。
［OK］でも同様の操作が行えます。
ⓛ 左の項目を選択する。
ⓡ 右の項目を選択する。

MAP A MAP B 共通セットアップメニューを表示する

1.［セットアップ］を押します。
セットアップメニューが表示されます。

セットアップ
カクチョウ キノウ →

※共通セットアップメニューはオンライン状態／オフライン状態のどちらでも表示することができます。ただし、オンライン状態では、「ユーザメンテナンス」グループの設定はできません。

MAP C LIPS専用セットアップメニュー（LIPS4セットアップ、LIPS LXセットアップ）を表示する

1.［セットアップ］を押します。
セットアップメニューが表示されます。

セットアップ
カクチョウ キノウ →

※LIPS専用セットアップメニューはオンライン状態／オフライン状態のどちらでも表示することができます。

2.「LIPS4セットアップ」または「LIPS LXセットアップ」を表示します。
［◄］または［►］を押します。

LIPS4セットアップ →

3. 下の階層へ進みます。
［OK］を押します。
LIPS専用セットアップメニューが表示されます。

カクダイ/シュクショウ →

MAP C ESC/P専用セットアップメニューを表示する

1.［セットアップ］を押します。
セットアップメニューが表示されます。

セットアップ
カクチョウ キノウ →

※ESC/P専用セットアップメニューはオンライン状態／オフライン状態のどちらでも表示することができます。

2.「ESC/P セットアップ」を表示します。
［◄］または［►］を押します。

ESC/P セットアップ →

3. 下の階層へ進みます。
［OK］を押します。
ESC/P専用セットアップメニューが表示されます。

ページレイアウト →

MAP C IMAGING専用セットアップメニューを表示する

1.［セットアップ］を押します。
セットアップメニューが表示されます。

セットアップ
カクチョウ キノウ →

※IMAGING専用セットアップメニューはオンライン状態／オフライン状態のどちらでも表示するこができます。

2.「IMAGING セットアップ」を表示します。
［◄］または［►］を押します。

IMAGING セットアップ →

3. 下の階層へ進みます。
［OK］を押します。
IMAGING専用セットアップメニューが表示されます。

ガゾウノムキ →

MAP D 給紙選択メニューを表示する

1.［給紙選択］を押します。
給紙選択メニューが表示されます。

キュウシ センタク
キュウシ モード →

※給紙選択メニューはオンライン状態／オフライン状態のどちらでも表示することができます。

MAP D ジョブメニューを表示する

1.オンライン状態になっていることを確認します。
オンライン状態になっていない場合、［オンライン］を押します。

2.［ジョブ］を押します。
ジョブメニューが表示されます。

ジョブ
ジョブリレキリスト →

MAP D ユーティリティメニューを表示する

1.オンライン状態になっていることを確認します。
オンライン状態になっていない場合、［オンライン］を押します。

2.［ユーティリティ］を押します。
ユーティリティメニューが表示されます。

ユーティリティ
ステータスプリント →

MAP D リセットメニューを表示する

1.［ユーティリティ］を押します。
ユーティリティメニューが表示されます。

リセット
ソフト リセット →

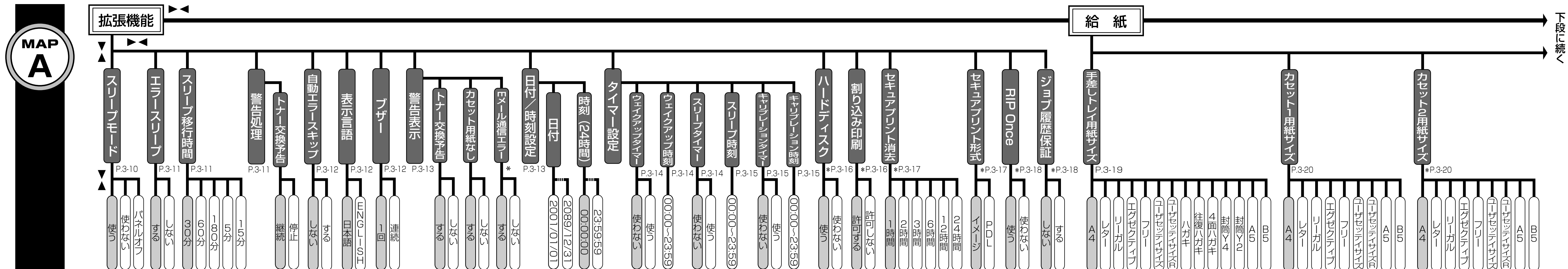
※リセットメニューはオンライン状態／オフライン状態のどちらでも表示することができます。ただし、プリンタにエラーが発生しているときは、「排出」をすることはできません。

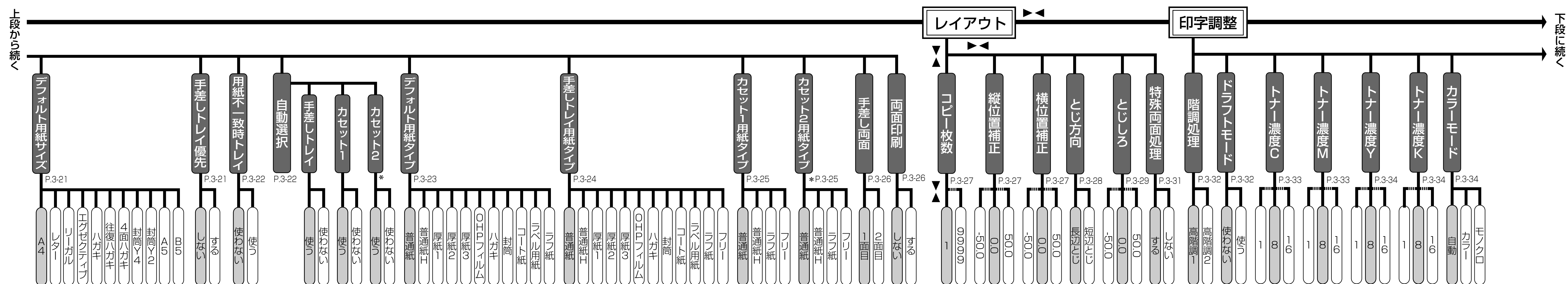
メニュールートマップでは、本プリンタで設定できる各機能のメニューが一目で理解できるように記載してあります。
各メニューの設定項目や内容を知りたいときにご活用ください。
詳しくは、取扱説明書CD-ROMに収められている「LIPS機能ガイド」を参照してください。

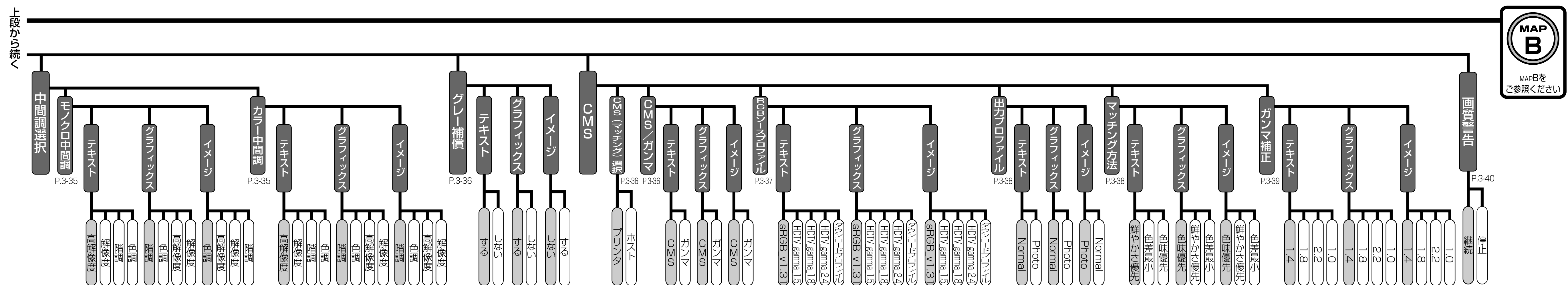
メニュールートマップ

MAP A

共通セットアップ編



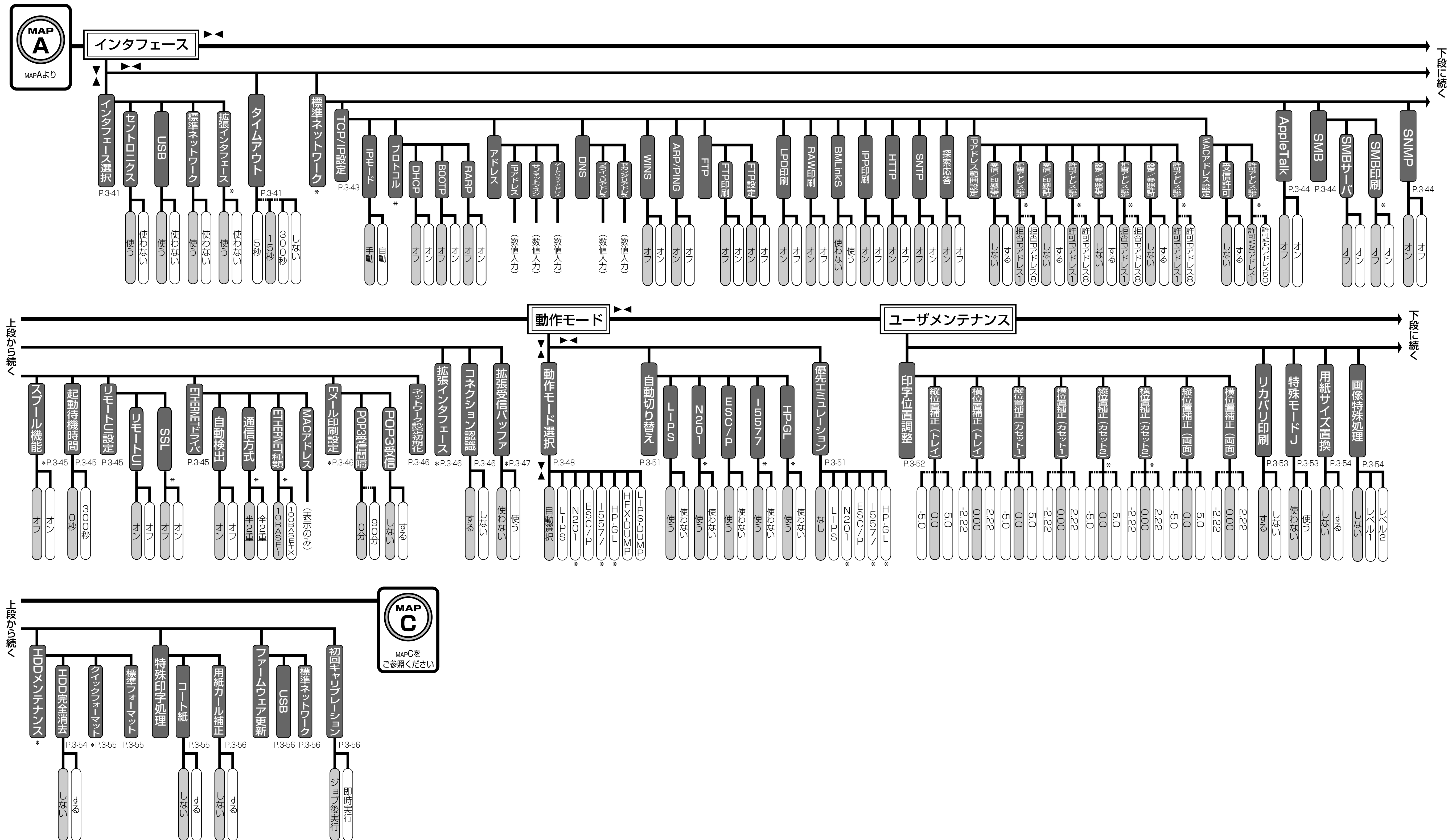




MAP B

メニュールートマップ

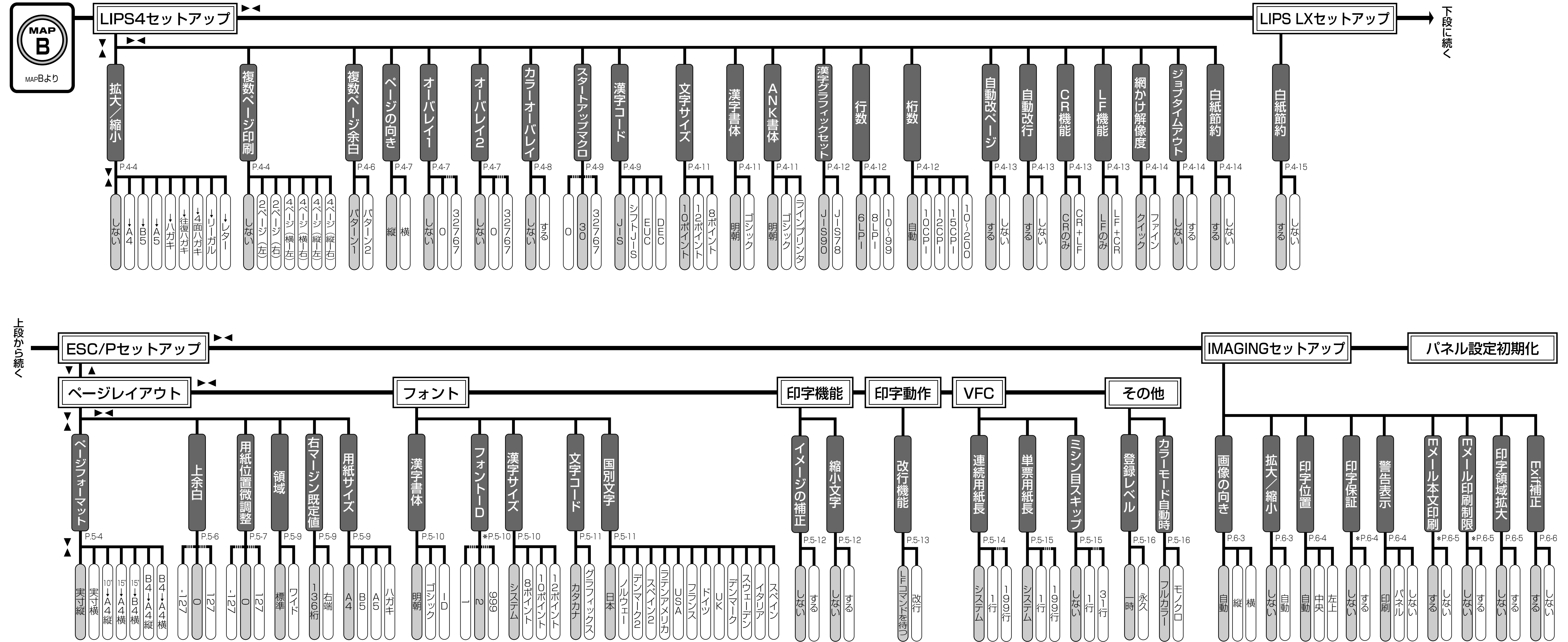
共通セットアップ編

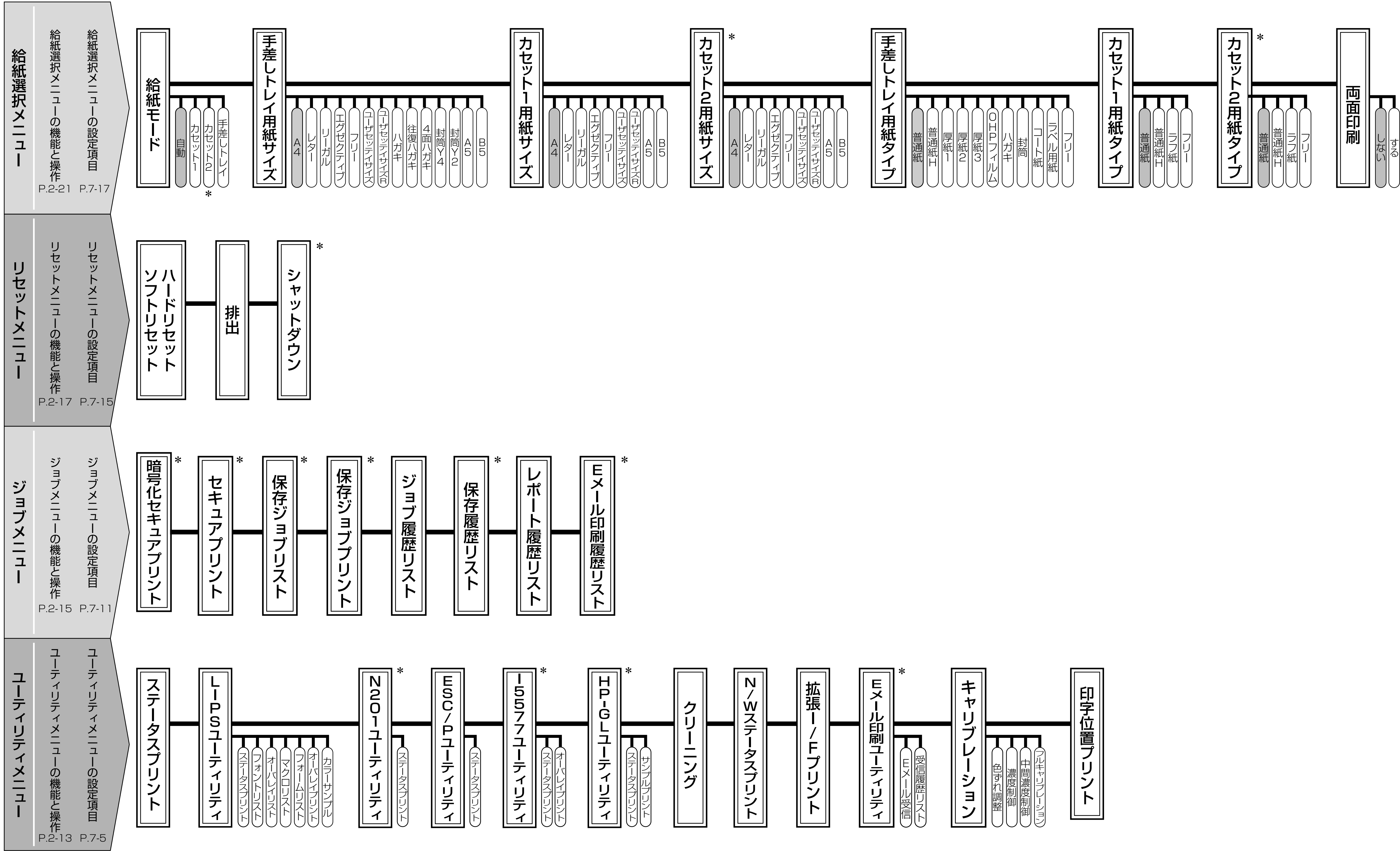


MAP C

メニュールートマップ

ESC/P・IMAGING LIPS4・LIPSLX セットアップ編




給紙選択メニュー
給紙選択メニューの設定項目 P.7-17
給紙選択メニューの機能と操作 P.2-21
給紙モード
自動
カセット1
カセット2 *
手差しトレイ
手差しトレイ用紙サイズ
A4
レター
リーガル
エグゼクティブ
フリー
ユーザセッティイサイズ
ユーザセッティイサイズR
ハガキ
往復ハガキ
4面ハガキ
封筒Y4
封筒Y2
A5
B5
カセット1用紙サイズ
A4
レター
リーガル
エグゼクティブ
フリー
ユーザセッティイサイズ
ユーザセッティイサイズR
A5
B5
カセット2用紙サイズ *
A4
レター
リーガル
エグゼクティブ
フリー
ユーザセッティイサイズ
ユーザセッティイサイズR
A5
B5
手差しトレイ用紙タイプ
普通紙
普通紙H
厚紙1
厚紙2
厚紙3
OHPフィルム
ハガキ
封筒
コート紙
ラベル用紙
フリー
カセット1用紙タイプ
普通紙
普通紙H
ラフ紙
フリー
カセット2用紙タイプ *
普通紙
普通紙H
ラフ紙
フリー
両面印刷
しない
する
リセットメニュー
リセットメニューの設定項目 P.7-15
リセットメニューの機能と操作 P.2-17
ハードリセット
ソフトリセット
排出
シャットダウン *
ジョブメニュー
ジョブメニューの設定項目 P.7-11
ジョブメニューの機能と操作 P.2-15
暗号化セキュアプリント *
セキュアプリント *
保存ジョブリスト *
保存ジョブプリント *
ジョブ履歴リスト
保存履歴リスト *
レポート履歴リスト
Eメール印刷履歴リスト *
ユーティリティメニュー
ユーティリティメニューの設定項目 P.7-5
ユーティリティメニューの機能と操作 P.2-13
ステータスプリント
LIPSユーティリティ
ステータスプリント
フォントリスト
オーバレイリスト
マクロリスト
フォームリスト
オーバレイプリント
カラーサンプル
N201ユーティリティ *
ステータスプリント
ESC/Pユーティリティ
ステータスプリント
I5577ユーティリティ *
ステータスプリント
オーバレイプリント
HP-GLユーティリティ *
ステータスプリント
サンプルプリント
クリーニング
N/Wステータスプリント
拡張I/Fプリント
Eメール印刷ユーティリティ *
Eメール受信
受信履歴リスト
キャリブレーション
色ずれ調整
濃度制御
中間濃度制御
フルキャリブレーション
印字位置プリント

●●● サテラ　ご購入者アンケートご協力のお願い ●●●

この度は、キヤノンサテラシリーズをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。みなさまのご意見を今後の製品開発の参考とさせていただきたく、アンケートへのご協力をお願い申し上げます。
本プリンタに付属の User Software CD-ROM と取扱説明書 CD-ROM のトップ画面に、キヤノンホームページのアンケートページへアクセスするボタンがあります。大変お手数ではございますが、そこからアクセス後、質問事項にご回答ください。ご回答いただきました内容はより良いサービスと今後の製品開発の貴重な資料として活用し、それ以外の目的に使用することはありません。

※ アンケートにご回答いただく際には、商品名称と本体機番を入力していただく必要があります。

例）　商品名称　本体機番

LBP5400　LTCA000001

（保証書および本体内部、梱包箱外側に記載されています。）

お問い合わせ先について

プリンタドライバのバージョンアップやプリンタが故障したときなど、何らかのお問い合わせが必要になったときは、目的に応じて以下のお問い合わせ先にご連絡ください。

お買い上げいただいた販売店

・消耗品やオプション品のご購入について
・故障時の修理について

キヤノンホームページ

・プリンタドライバのバージョンアップ情報およびダウンロード
・トラブル発生時の解決方法
・商品のご紹介や各種イベント情報など

http://canon.jp/

お客様相談センター

・技術的なご質問や本プリンタの取り扱い方法について
・消耗品やオプション品をご購入する際に不明な点がある場合
・故障時の修理について不明な点がある場合

お客様相談センター （全国共通番号）

050-555-90061

［受付時間］　＜平日＞9:00～20:00　＜土日祝日＞10:00～17:00
（1/1～3は休ませていただきます）

※ 上記番号をご利用いただけない方は043-211-9627をご利用ください。
※ IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※ 受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。



PRINTED IN CHINA